京都市内遺跡立会調査報告

平成17年度

2006年3月

京 都 市 文 化 市 民 局

ごあいさつ

京都市は，７９４年の平安京の建都以来，日本独自の華麗で繊細な文化を育て，今も文化的創造力を失わない都市であり，世界に誇る数多くの文化遺産に恵まれた歴史都市であります。市内には多くの埋蔵文化財包蔵地があり，古代から近世までの時代ごとに積み重なった遺跡は，わが国の歴史や文化を教えてくれる国民共有の貴重な財産であり，将来にわたって日本文化を発信していくうえでその基礎を成すものです。

一方，都市機能を維持し，市民生活を向上させるために不可欠である開発行為は増加傾向にあり，埋蔵文化財の保護に重大な影響を与えかねない状況にあります。本市では，現代に生きる私たちの生活の向上を図りつつ，先人が残してくれた貴重な埋蔵文化財を後世に伝える責務があると考え，「保存」と「開発」の調和を図る中で，埋蔵文化財の保護に取り組んでおります。

この度，平成１７年度に本市が文化庁の国庫補助を得て実施した埋蔵文化財調査結果の報告書を作成致しました。試掘調査は京都市埋蔵文化財調査センターが実施し，発掘調査，立会調査及び分布調査は財団法人京都市埋蔵文化財研究所に委託して実施したものです。

各調査の実施に当たり，御理解，御協力を賜りました市民の皆様と御指導，御助言を賜りました関係機関の皆様に深く感謝申し上げますとともに，本報告書が京都の歴史と文化財に対する理解を深めるためにお役に立てば幸いに存じます。

平成１８年３月

文化市民局長　　柴　田　重　徳

例　言

1　本書は、京都市文化市民局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所に委託して実施した文化庁国庫補助事業による平成17年度の京都市内遺跡立会調査報告である。

2　本書の編集は堀内寛昭、吉本健吾が調整・作成・実務を担当した。

3　各報告については文末に執筆者を記した。

4　整理作業および本書の作成には、上記の執筆者の他に以下のものが参加した。

久世康博・柏田有香（遺物実測）、出水みゆき（遺物彩色）、村上　勉（遺物復元）

5　本書に使用した写真の撮影は、主に村井伸也・幸明綾子が担当し、遺構の一部は現場担当者が行った。

6　本書で使用した土壌名は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修の『新版標準土色帖』に準じた。

7　個々の調査地での計測値は、宅地の場合は仮の「水準点」をBM±0mとし、道路の場合には現行道路面を地表面（±0m）としている。Ⅱ-2の測量基準点のみ京都市遺跡発掘調査基準点を使用した。調査における測量基準点の設置は、宮原健吾が行った。本書中で使用した方位及び座標の数値は、日本測地系（改正前）　平面直角座標系Ⅵによる。また、標高はT.P.（東京湾平均海面高度）による。

8　調査一覧表では各時代の「時代」は省略しており、調査日については簡略に記しているものもある。遺跡名は平安宮・平安京跡については重複する遺跡は省略し、官衙・条坊を優先して明記し、官衙・条坊が複数にまたがるものは代表するものを掲載した。長岡京跡については、官衙・条坊を優先し、複数にまたがるものは代表するものを掲載した。

9　本書で使用した地図は京都市発行の都市計画基本図（縮尺1／2,500）を調整し、作成したものである。図25-8のみ都市計画基本図（縮尺1／10,000）京都其七を使用している。

利用した都市計画基本図は、以下のものである。

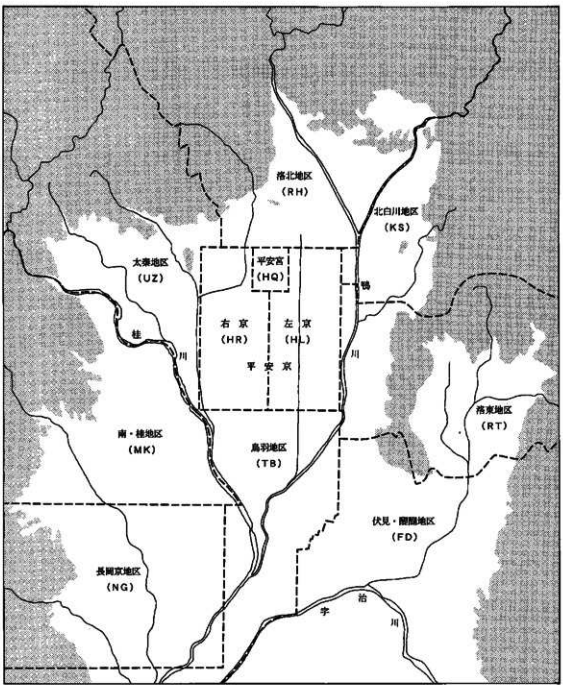
平安宮・京跡　図版1～13　8,000分の1（衣笠山、船岡山、花園、聚楽廻、御所、山ノ内、壬生、三条大橋、西京極、島原、五条大橋、中河原、梅小路、京都駅）

その他の遺跡　図版14～25-1～7　10,000分の1（大原、柊野、岩倉、西賀茂、幡枝、三宅八幡、鷹峯、植物園、松ヶ崎、宇多野、衣笠山、船岡山、相国寺、田中、鳴滝、花園、聚楽廻、御所、吉田、太秦、山ノ内、三条大橋、岡崎、松尾、上桂、五条大橋、清水寺、中河原、梅小路、京都駅、今熊野、山科、小山、中山、川島、吉祥院、上鳥羽、勧進橋、稲荷山、勧修寺、石見、寺戸、久世、城南宮、竹田、大亀谷、醍醐、粟生、向日町、久我、下鳥羽、丹波橋、桃山、長岡、羽束師、横大路、中書島、木幡池、納所、向島）

各報告の「調査位置図」 5,000分の1

図1（壬生）　　図9（西京極）　　図25（植物園）

図30（聚楽廻）



地区設定概念図

本 文 目 次

Ⅰ　調査概要 …… 1

Ⅱ　平安京跡 …… 3

1　平安京左京四条一坊四町（05HL167） …… 3
2　平安京右京六条四坊三町・西京極遺跡（04HR304） …… 9

Ⅲ　その他の遺跡 …… 25

1　植物園北遺跡（05RH276） …… 25

Ⅳ　主要な出土遺物 …… 27

1　平安宮大蔵省（05HQ31） …… 27
2　平安京左京四条一坊一町（05HL83・100・109） …… 27

調査一覧表 …… 28

報告書抄録 …… 46

図 版 目 次

図版1～25　調査位置図

図版1　平安宮
図版2　平安京左京北辺～三条　一・二坊
図版3　平安京左京北辺～三条　三・四坊
図版4　平安京左京　四～六条　一・二坊
図版5　平安京左京　四～六条　三・四坊
図版6　平安京左京　七～九条　一・二坊
図版7　平安京左京　七～九条　三・四坊
図版8　平安京右京北辺～三条　三・四坊
図版9　平安京右京北辺～三条　一・二坊
図版10　平安京右京　四～六条　三・四坊
図版11　平安京右京　四～六条　一・二坊

図版12　平安京右京　七～九条　三・四坊
図版13　平安京右京　七～九条　一・二坊
図版14　伏見城跡・金森出雲遺跡・御香宮廃寺跡
図版15　伏見城跡
図版16　御土居跡・尊重寺跡・上京遺跡・相国寺旧境内・室町殿跡・一条室町殿跡
図版17　吉田上大路町遺跡・吉田本町遺跡・吉田泉殿町遺跡・吉田二本松町遺跡・岡崎遺跡・得長寿院跡・法勝寺跡・成勝寺跡・円勝寺跡・白河北殿跡・白河南殿跡・白河街区跡・神楽岡城跡
図版18　六波羅政庁跡・法住寺殿跡・妙法院境内・法性寺跡・鳥辺野
図版19　鳥羽離宮跡・竹田城跡・鳥羽遺跡・下鳥羽遺跡
図版20　長岡京跡・東土川遺跡・長黒遺跡
図版21　1　植物園北遺跡・御土居跡　2　常盤柏ノ木古墳群・太秦馬塚町遺跡・常盤仲之町遺跡・常盤東ノ町古墳群・姥塚古墳・多藪町遺跡
図版22　1　中臣遺跡・中臣十三塚　2　山科本願寺跡　3　角社瓦窯跡
4　上賀茂中山町遺跡　5　元稲荷窯跡・南ノ庄田瓦窯跡・幡枝古墳群
6　岩倉忠在地遺跡
図版23　1　御土居跡　2　御土居跡　3　大原延暦寺別院境内　4　一乗寺向畑町遺跡・向畑古墳　5　祇園遺跡・名勝円山公園・知恩院境内
6　北白川廃寺跡・小倉町別当町遺跡　7　山科本願寺南殿跡・大塚遺跡　8　勧修寺境内
図版24　1　梅ヶ畑祭祀遺跡・梅ヶ畑遺跡・御堂ヶ池古墳群　2　北野遺跡
3　唐橋遺跡　4　上鳥羽遺跡　5　松尾十三塚古墳群　6　樫原遺跡
7　福西古墳群　8　下津林遺跡
図版25　1　蔵王堂境内・上久世遺跡　2　久我殿遺跡　3　中久世遺跡
4　長岡京跡　5　長岡京跡・上里北ノ町遺跡　6　長岡京跡
7　向島城跡　8　木津川河床遺跡
図版26～31　写真
図版26　遺構　平安京左京四条一坊四町（05HL167）
図版27　遺物　平安京左京四条一坊四町（05HL167）
平安京左京四条一坊一町（05HL83・100・109）
図版28　遺物　平安京右京六条四坊三町・西京極遺跡（04HR304）
図版29　遺物　平安京右京六条四坊三町・西京極遺跡（04HR304）
図版30　遺物　平安京右京六条四坊三町・西京極遺跡（04HR304）
図版31　遺物　平安京右京六条四坊三町・西京極遺跡（04HR304）

挿 図 目 次

05HL167
図1 調査位置図……3
図2 遺構位置図……3
図3 池南屑洲浜平面・見通し図……4
図4 池南屑洲浜断面図……5
図5 池堰土出土土器実測図……6
図6 須恵器壺実測図……6
図7 軒瓦拓影・実測図……7
図8 人形実測図……8
04HR304
図9 調査位置図……9
図10 遺構位置図……9
図11 土壙……9
図12 溝及び土壙平面・断面図……10
図13 溝状遺構平面・断面図……11
図14 溝状遺構……12
図15 溝状遺構出土土器実測図……13
図16 溝状遺構出土土器拓影・実測図……14
図17 土壙出土土器実測図……16
図18 土壙出土土器実測図……17
図19 土壙出土土器実測図……19
図20 土壙出土土器実測図……20
図21 土壙出土高杯形土器実測図……21
図22 溝出土土器実測図……22
図23 石製品実測図……23
図24 付近調査位置図……23
05RH276
図25 調査位置図……25
図26 遺構位置図……25
図27 No1・2地点遺構断面図……25
図28 No1地点竪穴住居……26
図29 土器実測図……26

05HQ31
図30　調査位置図……27
図31　軒瓦拓影・実測図……27
05HL83・100・109
図32　木製品盤実測図……27

表 目 次

表1　立会調査件数……1
表2　付近調査一覧表……24

Ⅰ 調 査 概 要

(財)京都市埋蔵文化財研究所では京都市の委託を受けて、京都市内の遺跡を対象とした文化庁国庫補助事業による立会調査を実施している。本書では平成17年度調査報告として、2005年1月4日から3月31日までの平成16年度分と、同年4月1日から12月28日までの平成17年度分を合わせて報告する。調査件数は2005年1～3月期の平成16年度下四半期分が112件、4～12月期が326件であった。京都市内を便宜的に地区分けした調査件数は下表のとおりである。

地　区	16年度1~3月	17年度4~12月	小計	地　区	16年度1~3月	17年度4~12月	小計
平安宮（HQ）	20	58	78	洛東地区（RT）	8	31	39
平安京左京（HL）	33	83	116	鳥羽地区（HL）	3	18	21
平安京右京（HR）	18	57	75	伏見・醍醐地区（FD）	8	16	24
洛北地区（RH）	7	18	25	長岡京地区（NG）	3	7	10
太秦地区（UZ）	1	6	7	南・桂地区（MK）	5	7	12
北白川地区（KS）	6	25	31	合　計	112	326	438

表1　立会調査件数

立会調査の件数はここ6年間、増加と減少を繰り返しており、本年度は少し増加して一昨年度と同じ430件となった。以下各地区の概要を述べる。

平安宮(HQ)　宮域では大蔵省（05HQ31）から出土した奈良時代の遺物の概要を報告する。それ以外では、中務省（05HQ212）で古墳時代から飛鳥時代の落込を検出した。豊楽院（04HQ336）では平安時代の瓦溜を検出した。掃部寮（05HQ121・271）では平安時代の包含層を検出している。茶園（05HQ257）では室町時代中期の包含層を検出している。

平安京左京(HL)　左京域では四条一坊一町（05HL83・100・109）の平安時代の出土遺物と四条一坊四町（05HL167）の概要を報告する。それ以外では、二条四坊七町（05HL140）の弥生時代の包含層、三条四坊六町（05HL66）で弥生時代後期から室町時代にかけての土壙、包含層を検出した。五条二坊八町（05HL79）で平安時代後期から室町時代にかけての土器を多量に含むピット、落込、包含層を多数検出した。また時期不明であるが七条三坊一町（05HL89）、七条四坊一町（05HL113）で路面及びそれに伴う整地層を検出した。いずれも近世以降の道路推定地にあたる。

平安京右京(HR)　右京域では六条四坊三町・西京極遺跡（04HR304）の概要を報告する。それ以外では、九条二坊九町（05HR270）で古墳時代の遺物包含層を検出した。三条二坊二町（05HR283）では平安時代中期の柱穴と考えられるピットを検出した。三条二坊十三町（05HR267）では平安時代前～中期の遺物を含んだ佐井川の堆積層を検出した。佐井川に関しては七条二坊十五町（05HR235）でも遺物は検出できなかったが、堆積層を検出した。

洛北地区(RH)　岩倉忠在地遺跡、元稲荷窯跡、幡枝古墳群、南ノ庄田瓦窯跡、上賀茂中山町

遺跡、角社瓦窯跡、植物園北遺跡、御土居跡、尊重寺跡、上京遺跡、相国寺旧境内、室町殿跡、一条室町殿跡、北野遺跡で調査を行った。植物園北遺跡（05RH276）の概要を報告する。それ以外では、相国寺旧境内（05RH９）で室町時代の包含層を検出した。

太秦地区（UZ）　御堂ヶ池古墳群、梅ヶ畑遺跡、梅ヶ畑祭祀遺跡、常盤柏ノ木古墳群、太秦馬塚町遺跡、常盤東ノ町古墳群、常盤仲之町遺跡、蛇塚古墳、多藪町遺跡で調査を行った。顕著な調査成果はなかった。

北白川地区（KS）　大原廷暦寺別院境内、一乗寺向畑町遺跡、向畑古墳、北白川廃寺跡、小倉町別当町遺跡、吉田泉殿町遺跡、吉田二本松町遺跡、吉田上大路町遺跡、吉田本町遺跡、岡崎遺跡、白河街区跡、得長寿院跡、法勝寺跡、円勝寺跡、成勝寺跡、白河北殿跡、白河南殿跡、神楽岡城跡で調査を行った。顕著な調査成果はなかったが、白河南殿跡（05KS321）で鎌倉時代前期のピットを検出した。吉田二本松町遺跡、吉田上大路町遺跡（05KS209）では平安時代後期から鎌倉時代の落込を検出した。

洛東地区（RT）　祇園遺跡、名勝円山公園、知恩院境内、六波羅政庁跡、法住寺殿跡、妙法院境内、法性寺跡、鳥辺野、山科本願寺跡、山科本願寺南殿跡、大塚遺跡、中臣遺跡、中臣十三塚、勧修寺境内で調査を行った。顕著な調査成果はなかったが、祇園遺跡（05RT219）で鎌倉時代前期と中期の包含層を検出した。法性寺跡（05RT310）で鎌倉時代中期の土壙を検出した。名勝円山公園、知恩院境内（05RT169）では鎌倉時代から室町時代の土師器を多量に含んだ層を検出した。また山科本願寺跡（05RT252）では山科本願寺の土塁を検出したが、これは発掘調査後の保存状態を確認する調査である。

鳥羽地区（TB）　唐橋遺跡、上鳥羽遺跡、鳥羽離宮跡、竹田城跡、鳥羽遺跡、下鳥羽遺跡、久我殿遺跡、木津川河床遺跡で調査を行った。顕著な調査成果はなかったが、上鳥羽遺跡（04TB395）で飛鳥時代の土師器甕を含む湿地状堆積層を検出した。下鳥羽遺跡（05TB16）では弥生時代後期の包含層を検出した。

伏見・醍醐地区（FD）　伏見城跡、金森出雲遺跡、御香宮廃寺跡、向島城跡で調査を行った。顕著な調査成果はなかったが、伏見城跡では３箇所（04FD350、05FD231、05FD265）で江戸時代後期から末期にかけての落込、包含層を検出した。

長岡京地区（NG）　長岡京跡、東土川遺跡、長黒遺跡、上里北ノ町遺跡で調査を行った。顕著な調査成果はなかったが、東土川遺跡（05NG275）では弥生時代中期の包含層、（04NG320）で弥生時代後期の包含層を検出した。

南・桂地区（MK）　松尾十三塚古墳群、樫原遺跡、下津林遺跡、福西古墳群、蔵王堂境内、上久世遺跡、中久世遺跡で調査を行った。この地区では概要報告を行うような成果は得られなかった。

以上が本年度の立会調査の主要な調査の概要である。

（吉本　健吾）

Ⅱ 平 安 京 跡

1 平安京左京四条一坊四町（05HL167）

調査経過（図1）

中京区壬生御所ノ内町18-4番地のアパート建築工事に伴う調査である。条坊復元では左京四条一坊四町の北側に位置する。

四町は西を朱雀大路、東を坊城小路、南を四条大路、北を錦小路に囲まれ、平安時代後期には権大納言源国信の邸宅があったとされる。これまでの周辺の調査では、1983年に調査地南東側の発掘調査[註1]で平安時代前期の井戸、平安時代後期の溝を検出している。四町域ではないが調査地の北東側の試掘調査[註2]で平安時代中期の池跡、鎌倉時代の溝を検出している。

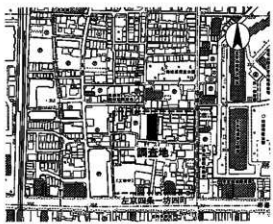


図1 調査位置図（1：5,000）

工事の掘削深は、地表下-0.38mであるが、土壌改良のために掘削深約-1.9mまで土層を攪拌するので立会調査を行うこととなった。調査は平成16年8月23日から25日まで行い、土壌改良の攪拌中に平安時代の遺物を含む湿地状の堆積層を検出したので、調査地の西側に南北約30mのトレンチを入れ平安時代後期から鎌倉時代の遺物を埋土に含む池跡と洲浜を検出した。

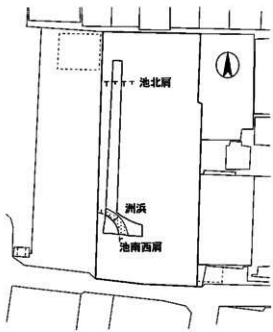


図2 遺構位置図（1：500）

遺 構（図版26、図2～4）

調査地の基本層序は、池跡の中央部分で地表直下から標高29.9mまでが現代盛土、29.65mまでが暗緑灰色砂泥層、29.1mまでが暗青灰色砂泥の氾濫堆積、29.1mから28.7mまでが池の堆積層となり、28.7m以下は褐色砂礫の地山である。

池跡は南北幅20.9mを測り、底部と北肩の高低差は0.8mで全体に起伏の無い池の底部を形成している。池の堆積層は池中央部では2層に分層でき、上層は有機物の腐植土を含む層で、下層は南肩部に平安時代後期から鎌倉時代の多量の土器、瓦類、木製品などを包含する。北側の汀部は池底からなだらかに立ち上っていき29.5mで池の埋土はなくなる。肩部を形成する灰色砂泥の地

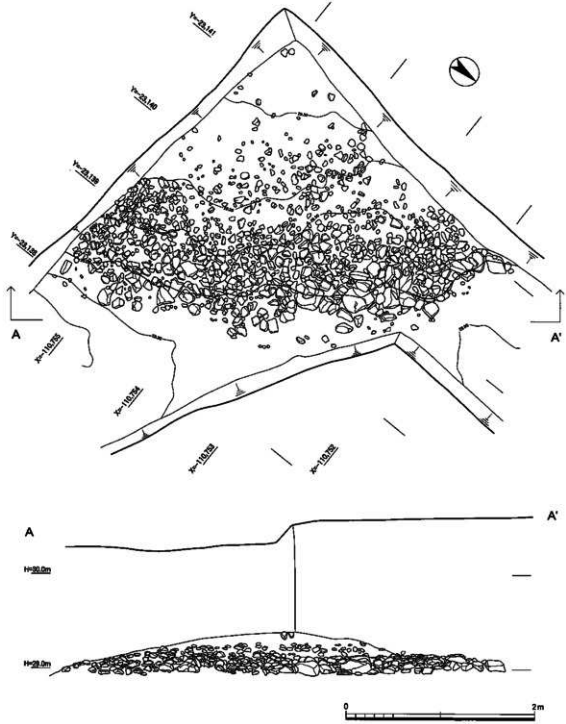


図3　池南屑洲浜平面・見通し図（1：40）

山は更に上昇をみせ、30.0mまで上る。南の汀線は調査地の西から南に曲がり、表面に石を敷き詰め洲浜が形成されている。洲浜は池底から幅約1mのベルト状に人頭大から径約0.4mの石を配している。底部付近に大き目の石を配し、全体の石がずり落ちないようにしていると考えられる。一部には石の代りに瓦が使用されていた。陸部は汀から南へ2.5m程傾斜を持って0.5m程高くなり、それ以降は標高29.4mで平坦となる。一部洲浜を断割ってみたが、地山に直接洲浜の粗砂層を貼

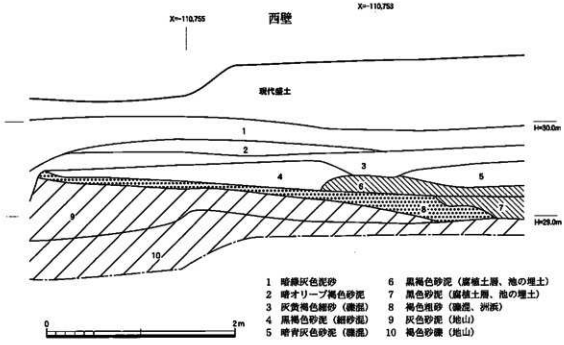


図4　池南屑洲浜断面図（1：40）

り付けて形成していることが確認できた。

遺　物（図版27、図5～8）

出土した遺物は、土師器皿・甕、須恵器杯・壷・甕、緑釉陶器皿・椀、輸入青磁皿、輸入白磁皿、瓦類、木製品等が出土している。また工事業者が工事中に発見した銭貨を納めた須恵器の壷を採集している。

池の埋土から出土した土師器群は、平安京土器編年[註3]のⅤ期新段階からⅥ期中段階に比定でき、11世紀後半から13世紀前半の範囲にわたる。これらは口縁から内面底部にかけては横方向のナデ、内面底部は一方向のナデを施している。ただし外面底部から体部にかけて指圧痕が残るオサエを施す一群（1・3～9・12・16）と、指圧痕のないオサエの一群（2・11・13～15）がある。

（1）は口径10.1cm（復元）、器高1.1cm。口縁を内側に折り返したコースター形の皿である。焼成は良好、胎土は緻密でわずかに砂粒を含む。器表色調はにぶい黄橙色を呈する。底部をやや凹ませている。

（2）は口径9.25cm（復元）、器高1.8cm。焼成は良好、胎土は緻密でわずかに雲母粒を含む。器表色調はにぶい灰黄橙色を呈する。体部は外反しながら浅く立ち上がり、口縁端部は丸く仕上げているが、やや長目の三角形を呈する箇所もある。

（3）は口径10.2cm（復元）、器高1.45cm。焼成は良好で胎土は緻密である。器表色調は浅い黄橙色を呈する。底部から浅く内湾気味に立ち上がり、口縁部は垂直に立ち上がる。口縁端部は真直ぐな三角形を呈する。

（4）は口径14.55cm（復元）、器高2.2cm。焼成は良好である。胎土は緻密でわずかに砂粒を含む。器表色調は浅い黄橙色を呈する。口縁部は端反状にやや外反し、口縁端部はやや丸い。

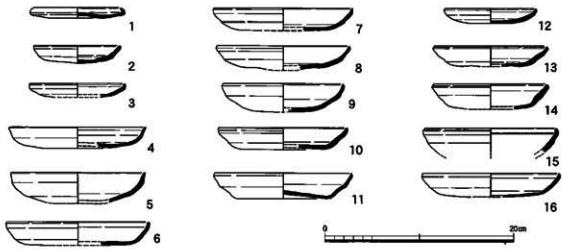


図5　池堤土出土土器実測図（1：4）

（5）は口径14.3cm（復元）、器高3.3cm。焼成は良好である。胎土は緻密でわずかに砂粒を含む。器表色調はにぶい黄橙色を呈する。体部から口縁下部までやや内湾し口縁はやや外反する。体部と口縁の境目がやや肥厚する。

（6）は口径15.25cm（復元）、器高2.5cm。焼成は良好で胎土は緻密。器表色調はにぶい黄橙色を呈する。底部からやや内湾気味に立ち上がり，体部は凹み口縁は上方向に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。

（7）は口径14.85cm（復元）、器高2.35cm。焼成は良好で胎土はやや粗い。器表色調は灰白色を呈し、黄橙色が部分的に発色する。底部から丸く内湾して立ち上がり、口縁は上方向に上がる。口縁端部はやや長めの三角形を呈する。外面のオサエとナデの境目は明瞭な段が付く。

（8）は口径14.3cm（復元）、器高2.6cm（推定）。焼成は良好で胎土は緻密。器表色調はにぶい黄橙色を呈する。体部はやや外反して立ち上がるが、口縁でやや内湾する。口縁端部は内傾した三角形を呈する。

（9）は口径13.0cm（復元）、器高3.0cm。焼成は良好、胎土は緻密で砂粒を少量含む。器表色調はにぶい黄橙色を呈する。体部はやや外反しながら立ち上がり、口縁にかけて内湾する。口縁端部は内傾した三角形を呈する。

（10）は口径13.8cm（復元）、器高2.3cm。焼成は良好である。胎土はやや粗く砂粒を含む。器表色調はにぶい黄橙色を呈し，外面底部から体部にかけての一部が灰色に変色する。体部の立ち上がりはやや角度をつけて外反気味に立ち上がり、口縁は上方向に上がる。口縁端部はやや丸く上方向に立ち上がる。

（11）は口径14.8cm（復元）、器高2.7cm。焼成は良好で胎土はやや粗い。器表色調はにぶい黄橙色を呈する。体部は角度をつけて立ち上がり強く外反する。口縁にかけてはわずかに内湾し，口縁端部は

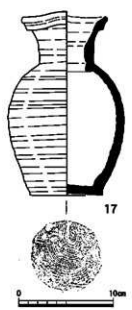


図6　須恵器壷実測図（1：4）

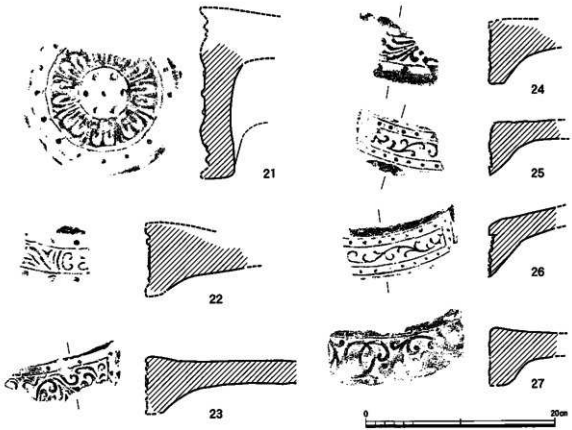


図7　軒瓦拓影・実測図（1：4）

内傾気味にやや長めの三角形を呈する。

(12) は口径9.85cm（復元）、器高1.6cm。焼成は良好、胎土は緻密でわずかに砂粒を含む。器表色調はにぶい黄橙色を呈する。体部は内湾気味に浅く立ち上がり、口縁部でやや外反する。口縁端部は三角形を呈する。

(13) は径12.3cm（復元）、器高2.1cm。焼成は良好で胎土は緻密である。わずかに雲母粒を含む。器表色調はにぶい黄橙色を呈する。体部はやや外反しながら口縁部で内湾する。口縁端部は内傾した三角形を呈する。

(14) は口径12.4cm（復元）、器高2.65cm。焼成は良好で胎土は緻密である。わずかに砂粒と雲母粒を含む。器表色調はにぶい黄橙色を呈する。体部は約45度の角度でわずかに外反しながら口縁部まで立ち上がり厚い造りとなる。口縁端部は明瞭な三角形を呈する。内面底部の調整痕は確認できないが、底部と体部の境目及び体部に爪痕が残る。

(15) は口径14.4cm（復元）、器高3.2cm（推定）。焼成は良好で胎土はやや粗い。器表色調はにぶい黄橙色を呈し、黄橙色がまだらに発色している。体部から口縁まで強く内湾し、口縁端部は内傾した三角形を呈する。外面のオサエとナデの境目は明瞭に段が付く。

(16) は口径14.8cm（復元）、器高2.5cm。焼成は良好で胎土は緻密。器表色調はにぶい黄橙色を呈する。体部は内湾に立ち上がり、口縁端部は内傾でやや長めの三角形を呈する。器厚は全体に薄くつくられている。

(17) は須恵器の壷である。口縁径9.1cm、最大胴径12.4cm、底部径7.75cm、高さ19.4cm。焼成は良好、胎土も堅緻である。色調は灰色を呈する。口縁は外反し緩やかな高低差を付けて巡る。体部は明瞭なロクロ目が立ち、底部は左回転の糸切り痕が顕著に残る。壷の中に銭貨（図版27-18～20）が3枚納められていた。欠損及び腐食が著しく完形を保つ（図版27-18）のみが『延喜通寶』と確認できた。地鎮めなどの祭祀に関連する遺物と考えられるが不明である。

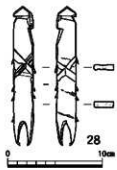


図8　人形実測図
（1：4）

軒瓦は（21～24）が洲浜から出土したもので（25～27）は残土からの採集品である。(21) は複弁八葉蓮華文軒丸瓦で『平安京古瓦図録』[註4]19に類似する瓦当文である。胎土は細い砂粒を含み、焼成は甘く、灰白色を呈する。(22・24・27) は均整唐草文軒平瓦である。(22) の胎土は砂粒を多く含み、焼成は甘く、青灰色を呈する。(24) は『平安京古瓦図録』[註4] 370・371に類似する瓦当文である。胎土は砂粒を含み、焼成は甘く、青灰色を呈する。(27) の胎土は5㎜大の小石を多数含み、焼成は良好、淡緑灰色を呈する。(23) は瓦当の一部の破片で唐草文軒平瓦である。瓦当の左側は笵ずれを起こしている。胎土は精良、焼成はやや甘く、淡黄灰色を呈する。(25・26) も唐草文軒平瓦であり、共に胎土は砂粒を含み、焼成は良好、褐灰色を呈する。

木製品も池の埋土から加工痕のあるものを数点検出しているが、形状の分かるものは（28）の人形である。高さ14.7cm、幅2.1cm、厚さ0.6cmを測る。上端は三角に削り、烏帽子風に見せている。上端から2.5cmの側面に切り込みを入れ首を形成しており、横向きを表わしていると思われる。表と裏面の中央には浅い切り込みで「×」を表わしている。材質はヒノキである。

ま と め

今回検出した池跡は、埋土から平安時代後期から鎌倉時代の遺物が出土しており、平安時代後期にこの地に邸宅があったとされる権大納言源国信の邸宅に関連する遺構と考えることができる。池の検出地点が一町の北側にあたることから、邸宅は南側に存在する可能性がある。また池から人形の出土や銭貨の入った壷を採集したことは、ここで何らかの祭祀が行われていたと考えることができる。この付近は東北側や南側の調査例にあるように平安時代の遺構の残存状態も良く今後の調査に期待したい。

（堀内　寛昭・吉本　健吾）

註1　家崎孝治「８左京四条一坊」『昭和58年度　京都市埋蔵文化財調査概要』京都市埋蔵文化財研究所　1985年

註2　馬瀬智光・堀大輔「Ⅲ－１平安京左京四条一坊三町跡」『京都市内遺跡試掘調査概報　平成15年度』京都市文化市民局　2004年

註3　小森俊寛・上村憲章「京都の都市遺跡から出土する土器の編年的研究」『研究紀要　第３号』京都市埋蔵文化財研究所　1996年

註4　『平安京古瓦図録』平安博物館　1977年

2　平安京右京六条四坊三町・西京極遺跡（04HR304）

調査経過（図９）

調査地は、右京区西院六反田町4-1、4-3、4-4、4-5、4-6に所在する。当地にマンション建設工事が計画されたため、2004年５月31日に試掘調査を行い、工事に伴い立会調査を実施することになった。調査地は平安京右京六条四坊三町の中央部東側に位置し、また弥生時代から奈良時代にかけての集落跡である西京極遺跡の中央部にあたる。

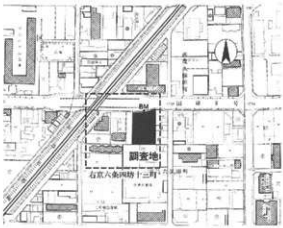


図９　調査位置図（１：5,000）

事前の試掘調査では敷地の大半が湿地堆積であることが確認されていたが[註1]、2004年12月21日に実施した立会調査では調査地北端で弥生時代の土器を含む東西溝を検出した。翌日には溝の南側で多量の弥生土器を含む土壙を検出した。更に2005年１月13日には土壙の南側で北東から南西方向の弥生時代の土器を含む溝状遺構を検出した。調査は2004年12月21日から2005年１月18日までの間、都合12回行った。

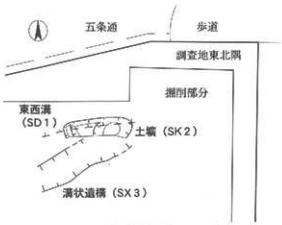


図10　遺構位置図（１：200）

遺　構（図10～14）

試掘調査で確認できたように調査地はその大半がBM-0.9m前後まで現代盛土で、その直下から湿地状堆積である。しかし、今回の調査で、調査地北東部にBM-1.3m前後で黄褐色系の堅く締った細砂の地山が残存していることがわかり、その上面で弥生土器を含む溝（SD１）、土壙（SK２）と溝状遺構（SX３）を検出した。

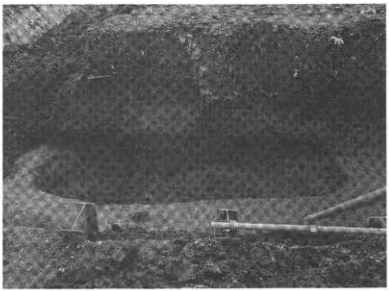


図11　土壙（北から）

溝（SD１）　調査地の北端、BM-1.4mでにぶい黄褐色細砂の地山の面で検出した。溝は、幅2.0m以上、深さ0.96m

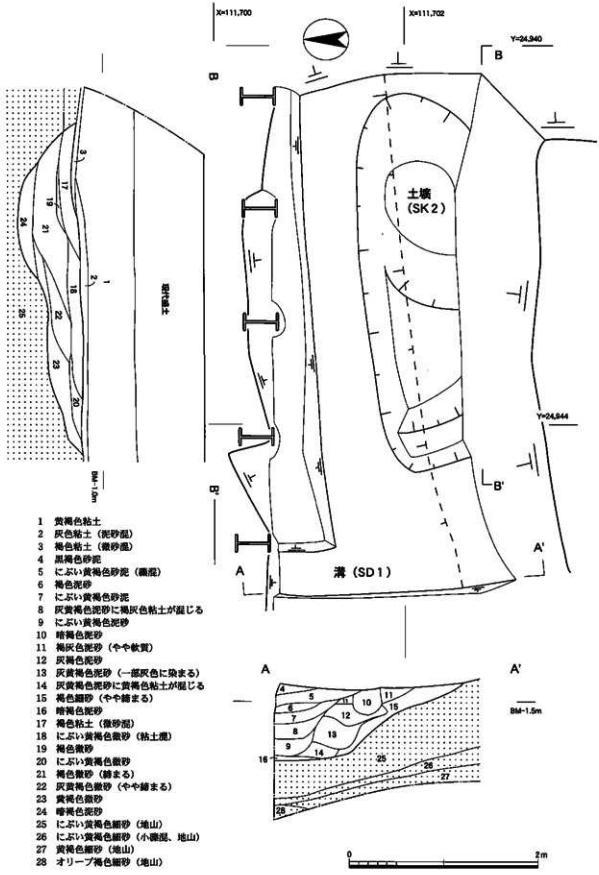


図12 溝（SD1）及び土壙（SK2）平面・断面図（1：40）

を測り、検出長は東西約７ｍである。溝の北半分は工事掘削範囲外となり確認できなかった。溝の断面は西と東の２箇所で確認した。西側断面では溝の肩はなだらかな傾斜を持ち、底部は約0.4mに渡って平坦面を持っている。溝の埋土は中心部がレンズ状で均一に堆積し、肩部付近とは堆積が異なっている。溝が２時期ある可能性を示唆している。中心部の埋土は上層が黒褐色砂泥であるが、下の５層は褐色系の泥砂層である。肩部付近の埋土は上層は灰色系の泥砂であるが、下は褐色系の泥砂層となる。肩部の際は細砂である。東側の断面では、深さ0.57mを測ることから、底部は東から西に向かって傾斜しており、西流する溝と見られる。溝の埋土からはＶ様式から庄内式の土器が出土している。

土壙（SK２）　溝（SD１）のすぐ南側、BM-1.21mでにぶい黄褐色微砂の地山を切る東西幅4.1m、南北幅1.3m以上、深さ0.7mの土壙を検出した。東西方向に長く西側が浅く、東側が深い土壙である。土壙の埋土は上層が褐色粘土、最下層が暗褐色泥砂で、中間は微砂層に大別できる。この土壙からはⅡ様式からⅣ様式の弥生土器が多量に出土している。なお、この土壙の検出の後、南側で後述する溝状遺構（SX３）を検出した。この溝状遺構の延長部がこの土壙の東側にあたる可能性があり、東側で一段深くなる部分は、この溝状遺構の一部である可能性が強い。このため、取り上げた遺物には、一部で両遺構のものが混在している可能性がある。

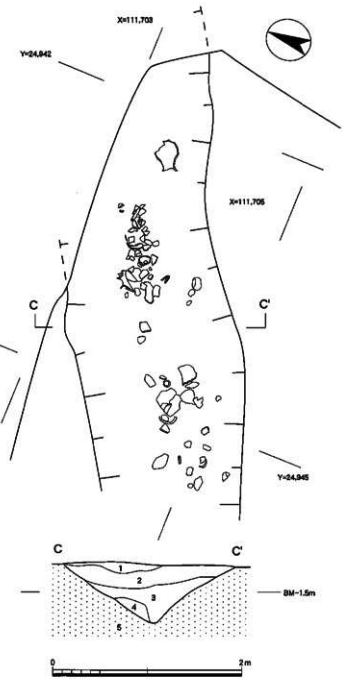


図13　溝状遺構（SX３）平面・断面図（１：40）

溝状遺構（SX３） 土壙（SK２）の南側、BM-1.28ｍで東北から南西方向に４ｍに渡って検出した溝状遺構は黄褐色細砂の地山を切って幅1.8m、深さ0.64mを測る。溝状遺構の断面は幅広のV字状を呈し、埋土は上下２層に大別でき、上層がにぶい黄褐色泥砂、下層は粘質の砂泥である。この溝からはⅡ様式からⅢ様式の弥生土器が出土している。特に上層に土器が多く含まれ、下層には炭が多く含まれていた。

図14　溝状遺構（北から）

遺　物（図版28～31、図15～23）

遺物は整理箱に20箱分出土した。１箱を除き東西溝（SD１）、土壙（SK２）、溝状遺構（SX３）からの出土である。東西溝からはⅤ様式から庄内式の土器と石器、土壙からはⅡ様式からⅣ様式の土器と石器、溝状遺構からはⅡ様式からⅢ様式の土器が出土している。

溝状遺構（SX３） Ⅱ様式からⅢ様式の壺形土器、甕形土器などが出土している。主要な土器を報告する。

壺形土器は、広口壺（30・31・32・34・35）と長頸壺（33）及び無頸壺（29）がある。文様が施されていない（32）を除いて全て櫛描文で装飾されている。櫛描文を施されている土器は、口縁部に端面を形成して櫛描波状文を施し、頸部から胴部にかけて櫛描直線文のみで装飾するもの（34）、口縁部に端面を形成するが文様を施さず、頸部から胴部にかけて櫛描直線文を施し、最下帯が櫛描波状文になるもの（35）、口縁部は端面を形成せず丸みを持たせ文様を施さず、頸部から胴部にかけては、最上部のみが１帯の櫛描直線文と１帯の櫛描波状文であるが、以下２帯の櫛描直線文と１帯の櫛描波状文を１単位として、３単位からなる文様構成のもの（33）がある。これらは、内外面共にハケ目調整の確認できるもの（31・32・34）と外面だけに確認できるもの（30・33）がある。（30）は口縁部内面に一部ヘラミガキ調整が見られる。（36・37・38）の３点は、壺形土器の胴部の破片であるが、外面に複合櫛描文を施しているので報告する。（36・37）は２本歯の櫛を３つ束ねた３帯複合櫛描で、下部に行くに従い徐々に櫛の間隔が拡がっている状態がみられる。（38）は櫛描格子文直下は２帯複合櫛描であるが、その下は３帯複合櫛描であるので、２帯複合櫛描の部分は１帯が消えたか、描けなかった可能性がある。無頸壺（29）は緩やかに内湾し細まり口縁とする。

甕形土器は、短く丸みを持って外反した口縁部の端部が丸くおさめられているもの（39・42・43）と端部に面を形成しているもの（40・41・44・45）がある。口縁端部にハケメ原体による刻

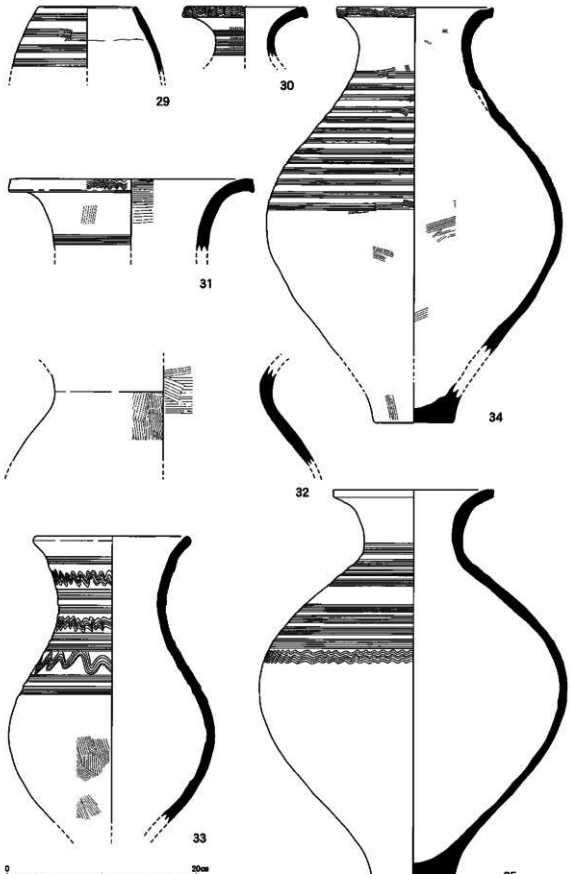


図15 溝状遺構（SX３）出土土器実測図（１：４）

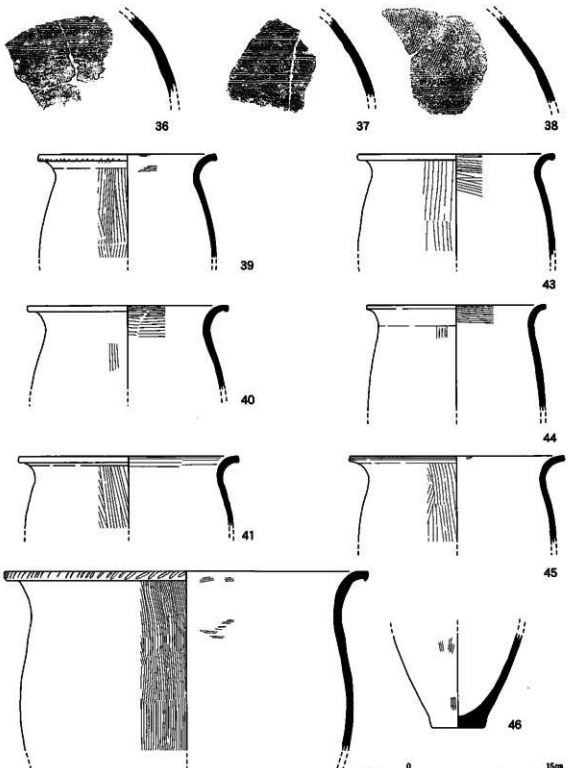


図16　溝状遺構（SX３）出土土器拓影・実測図（１：４）

みを施すもの（39・42）と浅い凹線文状を施しているもの（45）がある。調整は外面が縦方向のハケメ、内面は横方向のハケメが確認できる。甕の口径は、全体に直径20cm前後であるが、（42）のみ38.0cm と大型のものである。

土壙（SK２）　Ⅱ様式からⅣ様式の壷形土器、甕形土器、鉢形土器、蓋形土器、水差形土器、

高杯形土器、石器などが出土している。主要なものを報告する。

壷形土器は、広口壷と細頸壷（64）がある。広口壷には漏斗状に口縁部が開くもの（47・50・53・55・57・58・59）、頸部が直線的に立上がり口縁部で水平近く外反するもの（48・49・51・52・54・56・65）、頸部から外反し口縁部が垂直に立ち上がるかやや内湾しているもの（60・61・62・63）、口頸部が「く」の字状に外反するもの（66）がある。

口縁部の文様は、端面に擬描波状文を施しているもの（47・48・54・57）、刺突文を施しているもの（49）、刻み目文を施しているもの（50・53・55）、凹線文を４条施し、縦方向に15本の刻み目を入れ、更に二つの円形浮文を四箇所に配したと考えられるもの（58）、凹線文を４条施し、５本の棒状浮文を四箇所に配したと考えられるのも（59）がある。口縁部内面には瘤状突起を配したもの（53）、瘤状突起が退化し円形浮文にみえるものを配したもの（48・49・54・57）があり、（48・49・54）は三箇所に配していることが確認できる。更に内面には刺突文と扇形文を施したもの（59）、羽状文のみを施したもの（54・56）、波状文を施したもの（58）がある。

頸部には刻み目突帯文を配したもの（54･63）、断面三角形の突帯文を配したもの（59）がある。頸部から胴部にかけては刺突文を配しているもの（49・55・66）があり、うち（49・66）は、３帯で文様構成している。また１帯の擬描直線文と１帯の擬描波状文を１単位として、２単位まで確認できるもの（47）がある。

調整は、内外面共にハケメ調整の確認できるもの（47・49・52・53・55・63）と外面だけに確認できるもの（48・51・57・59・60・61）がある。なお（60・62）は口縁部外面に横方向のハケメ調整が見られる。(63）の口縁部外面と端面には板ナデによる平滑な仕上げが確認できる。

細頸壷（64）は口頸部のみの破片である。口縁部から３条の凹線文、下方に４帯の擬描直線文を配している。(65）は小型の壷である。今回の調査で唯一ほぼ完形で出土した。口縁部は端部をナデにより上方につまみ出し面を作っているが文様は装飾していない。外面は全体にきれいなヘラミガキを施している。口縁部から頸部と胴部から底部にかけては縦方向、頸部から胴部にかけては横方向で磨いている。(66）の上部と底部は同一個体と考えられる。

甕形土器は、口縁部が受け口状を呈するもの（67・68・69・70・71・72)、頸部で丸みを持ち、口縁部が短く外反するもの（73・74・82・83)、頸部が短く「く」の字状に屈曲して口縁部が外反するもの（75・76・77・78・79・80・81・84・85）がある。文様は、口縁端部に刻み目を施すもの（67・73・74・83・84・85)、凹線を施しているもの（70・76・79・80・81）がある。受口状口縁をもつ甕は、擬描直線文を施すもの（69)、刺突文を２列に配するもの（68)、上部から刺突文１帯、擬描直線文１帯、刺突文２帯、凹線文１条、刺突文１帯で構成されるもの（67)、ランダムに擬描直線文が配されているもの（72）がある。(67）の刺突文は原体を器面に押し当て横方向に離すことにより擬描直線文や擬描波状文の効果を演出している。

胴部の成形と調整には、ハケメ、タタキ、ナデがみられる。ハケメには内外面ともに確認できるもの（67・68・70～78）と外面だけに確認できるもの（69・81～83）がある。(84・85）では外面をタタキで成形した後、ハケメで調整し、内面はハケメである。(77）は外面がタタキで成形、

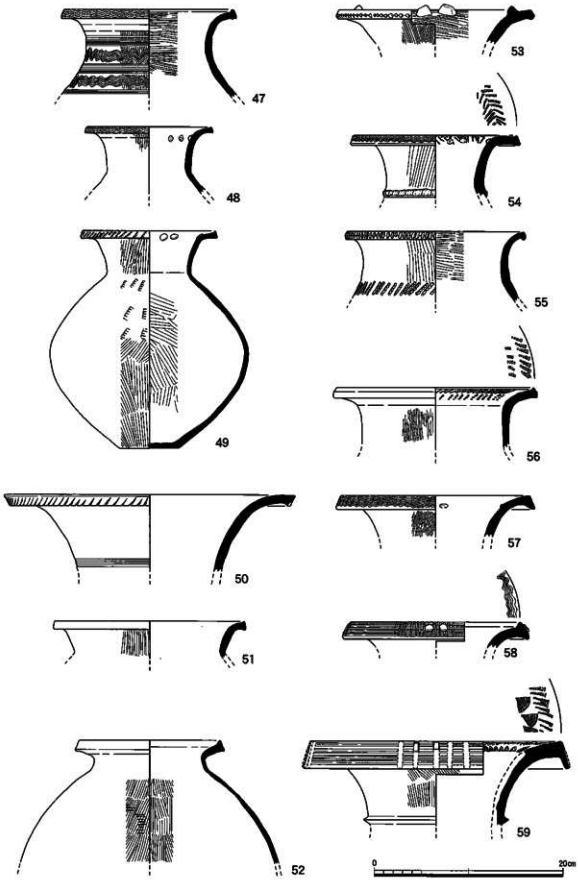


図17　土壙（SK２）出土土器実測図（１：４）

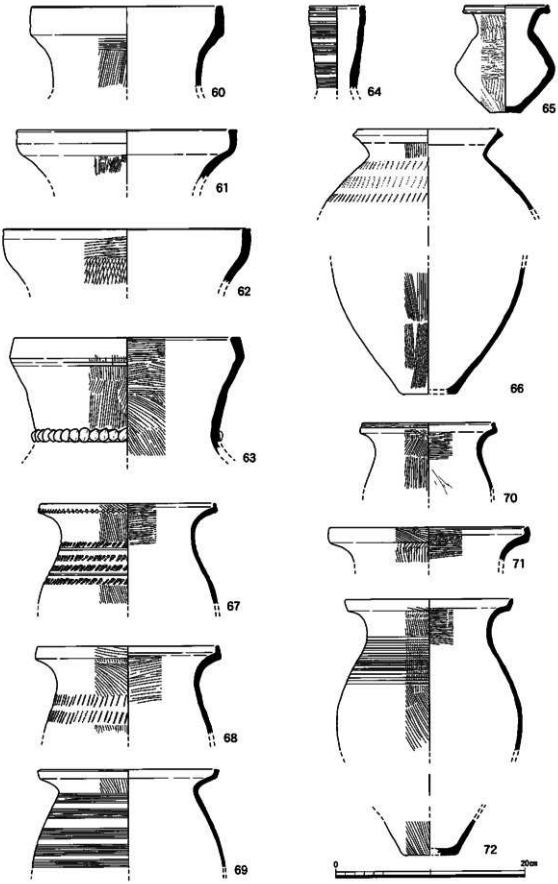


図18　土壙（SK２）出土土器実測図（１：４）

内面はハケメで調整している。(79) はナデのみが確認できる。底部では、ハケメに内外面ともに確認できるもの (88・105) と外面だけに確認できるもの (86・101・103・104) があり、(105) の内面のハケメは底から螺旋状に施している。(87) はタタキ、(102) はヘラミガキを施している。(102) は壷の底部の可能性がある。(72) の上部と底部は同一個体と考えられる。

蓋形土器 (89) は低い裁頭円錐状の円盤形をし、中央につまみが付き、つまみ上部はやや窪みを持つ。口縁端面には凹線が配されている。また口縁部内面には幅約1cmでベルト状に煤が多量に付着している。(90) はナデによる調整が確認できる。

鉢形土器は口縁部が外反するもの (91・92・93・94・95) と内湾するもの (98・99) がある。底部の確認できるものは全て台付 (93・96・97・99) であり、(99) には脚台に6個の大きな円孔が開いている。(91・99) は二孔一対の紐孔と考えられる小孔がある。(91) が口縁部に刻み目文、頸部から胴部にかけては櫛描波状文を施している。(98) は口縁部直下から凹線文を6条配している。(92) は刺突文を1列のみ配している。(99) は口縁部外面と胴部最大径付近に1条、底部外面に3条の凹線文を配している。

胴部の調整は、底部の一部を除き内外面全面に丁寧なヘラミガキを施すもの (99)、ハケメのみが確認できるもの (92・94・95)、底部から胴部にかけてヘラミガキを施し、胴部最大径付近にタタキメがみられるもの (98)、ハケメの後、台部から胴部にかけてヘラケズリを施すもの (93) がある。なお (93) は、底部内面ににクモの巣状にハケメを施し、それより上半は板ナデで調整している。

水差形土器 (100) は、直口の壷の肩部に一つの半環状把手が付き、口縁部の外面に7条の凹線文をめぐらし、胴部は無文でヘラミガキを施している。なお胴部最大径からから底部にかけては横方向のヘラミガキを観察できるが、上方は磨滅が激しくヘラミガキの方向は確認できなかった。胴部と把手の接合は胴部に穴を開け把手の両先端部を突挿入し、先端部の粘土を広げて固定している。

高杯形土器は、浅い鉢形の (110) と口縁部に平縁が付き、端部は屈曲しながら垂下し、内面にはこれをめぐる1本の隆起帯が突出しているもの (106・107・108・109) がある。(111) は脚部のみが残存する。文様は口縁部端面に凹線文を4条めぐらせ、その上に円形浮文を配するもの (108・109) がある。(109) は円形浮文を上8個、下9個の2列を1単位で構成し、それを四箇所に配する。(108) は破片で円形浮文の個数は確定できないが3列に配している。(106・107) は端部に文様の装飾はない。(113) の脚部端面には1条の凹線文が配されている。

調整は、磨滅が激しい (108) と板ナデを施す (112) 以外は全てヘラミガキが観察できる。

石器は石包丁、不定形石器、砥石等が出土している。

石包丁 (130) は小孔を二つ持つ直線両刃の磨製品である。表裏面共に使用痕が残る。特に小孔上部の背面には、溝状の使用痕が数箇所に渡って確認できる。材質は粘板岩である。不定形石器 (132) は内湾する部分を刃部として使用した打製の掻器と考えられる。材質はサヌカイトである。砥石 (134・135) は共に2面を使用していた痕跡がある。材質は砂岩である。

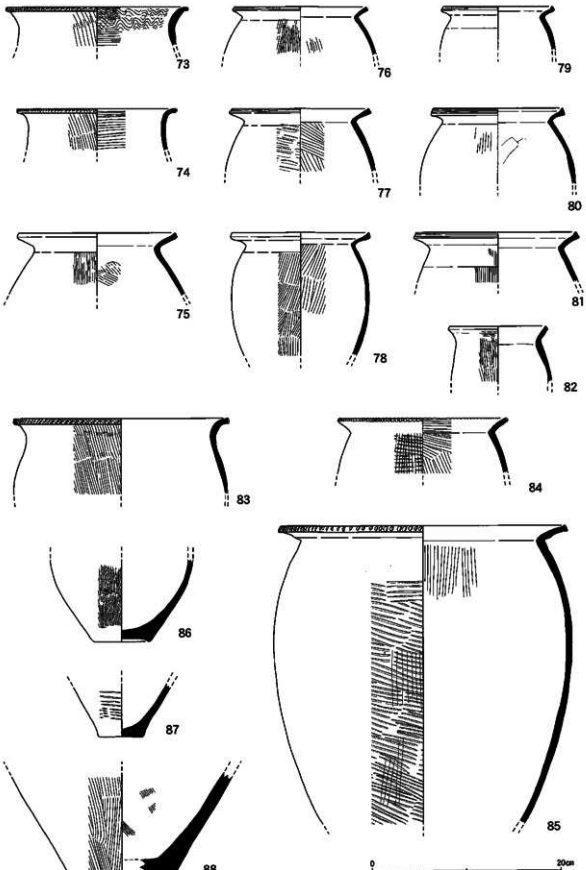


図19　土壙（SK2）出土土器実測図（1：4）

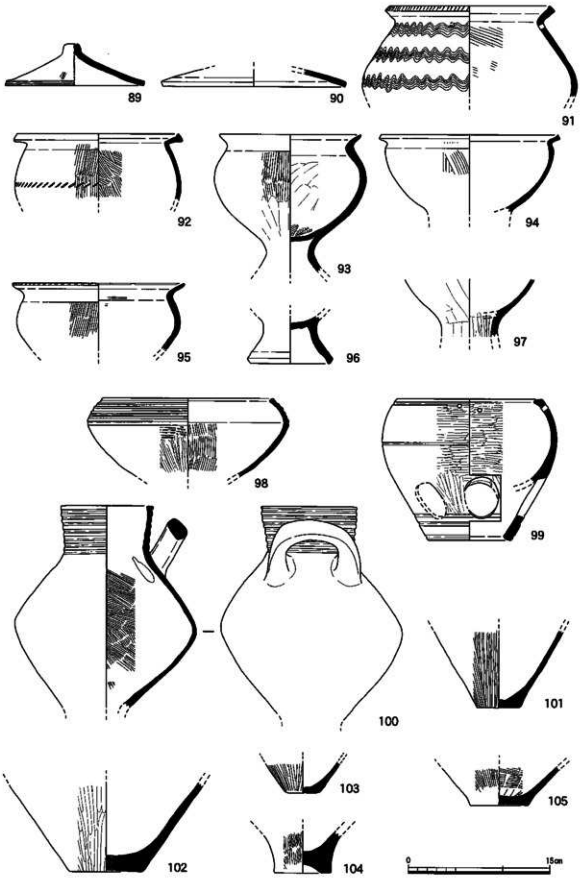


図20　土壙（SK２）出土土器実測図（１：４）

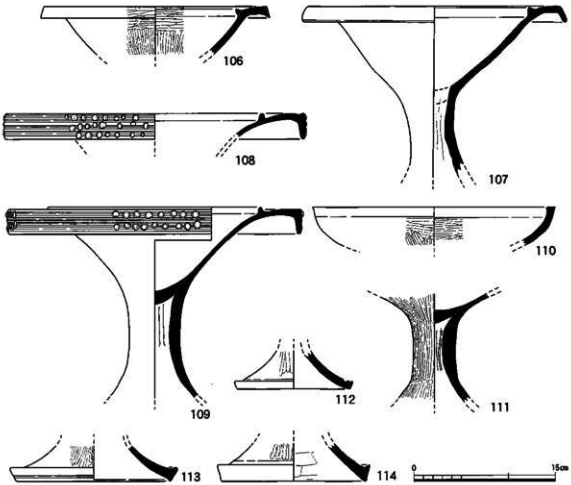


図21　土壙（SK２）出土高杯形土器実測図（１：４）

溝（SD１）　Ⅴ様式から庄内式の壷形土器、甕形土器、鉢形土器、器台形土器、石器などが出土している。主要なものを報告する。

壷形土器には、長頸壷（115）がある。口縁部と底部は残存していないが、直行気味の口縁に球形の胴部を持ち、文様は装飾せず、胴部から底部にかけてタタキが確認でき、それを消すようにナデ調整を施している。

甕形土器は、口縁部が受け口状を呈するもの（118・120・121）、頸部が短く「く」の字状に屈曲し口縁部が外反するもの（116・117）がある。（118）は口縁部の受け口の張り出し部分に刺突文を配している。胴部の調整には、内外面共にハケメ（121）、外面にハケメ（120）、外面をタタキで成形し、ナデ調整を行っているもの（116・117・118）がある。（116）は内面の頸部付近を横方向に板ナデを施している。（119）は外面にタタキの残る底部の破片である。（118）の上部と底部は同一個体と考えられる。

鉢形土器は口縁部が受け口状を呈し端部が直口している。口縁部下端に刺突文を配し、頸部から胴部にかけては上から櫛描直線文、刺突文、櫛描直線文が配する（122）と無文の（123）がある。

高杯形土器は、杯底部から脚部にかけての破片（124）、脚部のみの破片（127・128）がある。（124）は脚部の四箇所に透孔を持ち、脚裾部はナデによりつまみあげ端面を形成し刻み目を配している。

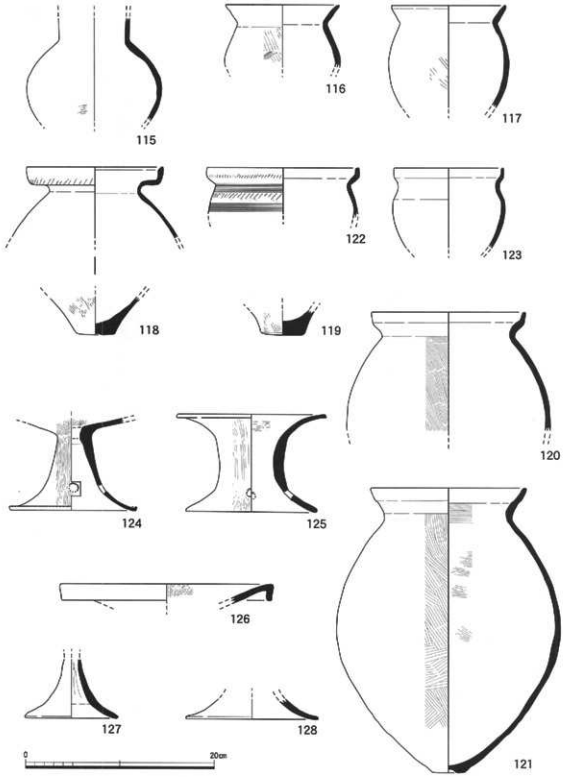


図22　溝（SD１）出土土器実測図（１：４）

外面と杯部内面はヘラミガキが施されている。

器台形土器は、受端部が素縁の（125）と下方に垂下し、端面をもつ（126）がある。（125）は筒部の四箇所に透孔がある。いずれもヘラミガキを施している。

石器は石包丁、フレーク等が出土している。

石包丁（129）は背面と表面の一部が残る磨製品である。背面の一部を凹ませている。表面には使用痕が残る。（図版31-131）は一部両刃の石包丁であるが破損し原形をとどめていない。共に材質は粘板岩である。（図版31-133）はグリーンタフのフレークである。

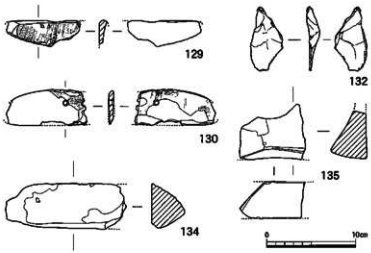


図23　石製品実測図（1：4）

ま と め（図24、表2）

調査地付近における弥生時代の遺構の検出は、湿地に面する微高地と見られる部分で、京都市埋蔵文化財研究所が1978年の発掘調査[注2]（1）でⅡ様式～Ⅳ様式の土器を含む溝を、1989年の発掘調査[注3]（9）ではⅣ様式からⅤ様式前半にかけての土器を含む竪穴住居跡5基を検出している。また北西部では1994年の発掘調査[注4]（11）で弥生時代後期の方形周溝墓2基と竪穴住居跡6基を検出している。調査地の隣接地付近では、2005年に古代學協会が発掘調査[注5]（14）を行い弥生時代～古墳時代にかけての竪穴住居跡を数基検出している。また西隣を1987年[注6]（6）に、更にその西隣を1979年[注7]（2）に試掘調査を行い、弥生土器を多量に含む溝と弥生から古墳時代の遺物を包含する落込を検出している。また調査地の西及び南側では、1983年試掘調査[注8]（3）、1984年試掘調査[注9]（4）、1986年試掘調査[注10]（5）、1988年試掘調査[注11]（8）、1993年立会調査[注12]（10）で湿地状堆積を検出。1987年試掘調査[注6]（7）では飛鳥時代の土壙、1996年立会調査[注13]（12）、1997年立会調査[注14]（13）では粘土層の地山を検出している。これらの調査により西京極遺跡を西から南東へかけて分断する大規模な湿地状堆積が拡がっていることが分かっている。

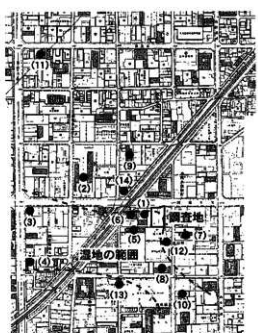


図24　付近調査位置図（1：10,000）

このように微高地とみられる北側に弥生時代中期から古墳時代に至る集落が広範に拡がり、その南方に湿地が存在していたことが分かる。今回の調査地がその集落域と湿地の境に位置し、弥生時代中期前半から古墳時代初頭の遺構を検出したことは、集落の領域が湿地付近にまで拡がることが分かった。

（吉本　健吾）

番号	調査年	方法	調査団体	調査記号	住　所（京都市右京区）	概　　要
1	78	発掘	京都市埋蔵文化財研究所	77HKYD	西院月双町110-1他	Ⅱ様式からⅣ様式の土器を含む溝。
2	79	立会	京都市埋蔵文化財研究所	79K350	西院六反田町1	Ⅱ様式からⅢ様式の土器を含む東西溝。肩部に多量の弥生土器を含む落込。
3	83	試掘	京都市埋蔵文化財研究所	83BBHR53	西京極東大丸町2他	-1.24m以下、湿地状堆積。
4	84	試掘	京都市埋蔵文化財研究所	84BBHR79	西京極東大丸町32-2	-2.0m以下、湿地状堆積。
5	86	試掘	京都市埋蔵文化財研究所	86BBHR71	西院六反田町21	-1.48m以下、湿地状堆積。
6	87	試掘	京都市埋蔵文化財研究所	86BBHR186	西院六反田町2	弥生土器を多量に含む東西溝。肩部に多量の弥生から古墳時代の土器を含む落込。
7	87	試掘	京都市埋蔵文化財研究所	87BBHR31	西院六反田町47	-0.5mにて飛鳥時代の土壙。
8	88	試掘	京都市埋蔵文化財研究所	87BBHR185	西院六反田町13-1他	-1.0m以下、湿地状堆積。
9	89	発掘	京都市埋蔵文化財研究所	89HKQI	西院清水町1・2	Ⅳ様式からⅤ様式前半の土器を含む竪穴住居跡5基。
10	93	立会	京都市埋蔵文化財研究所	93BBHR83	西京極豆田町32	-1.1m以下、湿地状堆積。
11	94	発掘	京都市埋蔵文化財研究所	93HKQN	西院月双町3	弥生時代後期の方形周溝墓2基と竪穴住居跡6基。古墳時代末期と奈良時代の建物跡。
12	96	立会	京都市埋蔵文化財研究所	95BBHR392	西院六反田町11	-0.84m以下、褐色砂質の地山。
13	97	立会	京都市埋蔵文化財研究所	96BBHR503	西院六反田町他	No.10地点-1.0m以下、灰色粘土の地山。
14	05	発掘	古代学協会		西院清水町	弥生土器を多量に含む溝。弥生時代から古墳時代の竪穴住居跡。

表2　付近調査一覧表

註1　『京都市内遺跡試掘調査概報　平成16年度』京都市文化市民局　2005年

註2　未報告。

註3　上村和直・西大條哲「26平安京右京六条四坊・西京極遺跡」『平成元年度　京都市埋蔵文化財調査概要』京都市埋蔵文化財研究所　1994年

註4　伊藤潔「14平安京右京五条四坊」『平成5年度　京都市埋蔵文化財調査概要』京都市埋蔵文化財研究所　1996年

註5　未報告。

註6　『京都市内遺跡試掘立会調査概報　昭和62年度』京都市文化観光局　1988年

註7　『京都市内遺跡試掘・立会調査報告　昭和55年度』京都市埋蔵文化財調査センター　1981年

註8　『京都市内遺跡試掘立会調査概報　昭和58年度』京都市文化観光局　1984年

註9　『京都市内遺跡試掘立会調査概報　昭和59年度』京都市文化観光局　1985年

註10　『京都市内遺跡試掘立会調査概報　昭和61年度』京都市文化観光局　1987年

註11　『京都市内遺跡試掘立会調査概報　昭和63年度』京都市文化観光局　1989年

註12　『京都市内遺跡立会調査概報　平成5年度』京都市文化観光局　1994年

註13　『京都市内遺跡立会調査概報　平成8年度』京都市文化市民局　1997年

註14　『京都市内遺跡立会調査概報　平成9年度』京都市文化市民局　1997年

Ⅲ　その他の遺跡

1　植物園北遺跡（05RH276）

調査経過（図25）

左京区下鴨水口町57-1のマンション新築工事に伴う調査である。周辺の発掘調査では、北区上賀茂岩ヶ垣内町98番地（現FM京都）で古墳時代前期の竪穴住居9棟と平安時代後期の掘立柱建物などが検出されている。[注1] 立会調査では、この南側マンション建設地から竪穴住居が2棟確認されている。[注2] また2002年5月～9月にかけて実施した立会調査においても古墳時代の竪穴住居跡5棟を検出している。[注3]

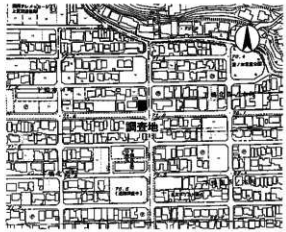


図25　調査位置図（1：5,000）

調査は2005年11月4日と11日の2日間で行われ、時期不明の竪穴住居と推定できる遺構及び庄内式土器を包含したピット、落込を検出した。

遺　構（図26～28）

No.1地点　BM-0.31mで褐色粘土の地山を掘り込んだ幅3.2m以上、深さ0.35mを測る竪穴住居と考えられる遺構を検出した。南北両端に壁溝とみられる落込がある。残存する竪穴の深さは0.17mで、床面に床土とみられる層が確認できる。床土の上面に焼土がわずかに認められる。

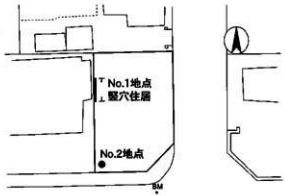
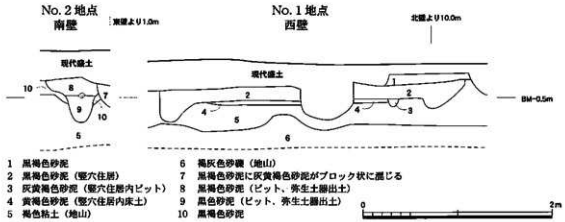


図26　遺構位置図（1：500）



1　黒褐色砂泥
2　黒褐色砂泥（竪穴住居）
3　灰黄褐色砂泥（竪穴住居内ピット）
4　黄褐色砂泥（竪穴住居内床土）
5　褐色粘土（地山）
6　褐灰色砂礫（地山）
7　黒褐色砂泥に灰黄褐色砂泥がブロック状に混じる
8　黒褐色砂泥（ピット、弥生土器出土）
9　黒色砂泥（ピット、弥生土器出土）
10　黒褐色砂泥

図27　No.1・2地点遺構断面図（1：40）

図28　№1地点竪穴住居（東から）

また一部に幅0.12m、深さ0.09mの掘込みがあり柱穴の可能性がある。遺物が確認できず時期の特定はできなかった。断面での検出のため、全体の形状は不明である。

№2地点　BM－0.29mでオリーブ褐色砂泥の地山を掘り込んだ幅0.54m以上、深さ0.48mの2層に分かれる遺構を検出した。埋土は2層に分けられるが、両層から庄内式土器を検出している。

他にも庄内式土器を包含する落込み遺構を1基検出している。

遺　物（図29）

今回の調査ではNo.2地点のピットから櫛描文が微かに残る壺と甕の底部（136）を検出している。（136）の胎土はやや粗く、直径0.5㎜～2㎜前後の石粒を多く含む。器表内面は褐灰色、外面はにぶい黄橙色を呈し煤が付着する。焼成は軟質である。全体に摩滅しているため調整等は不明瞭だが、外面は縦方向にハケメと、タタキが微かに確認できる。

図29　土器実測図
（1：4）

ま　と　め

今回検出した竪穴住居状の遺構は断面観察のため平面形状は不明で出土遺物もなく、時期不明であるが、隣接するピット、落込から庄内式土器を検出しており、これらと同じ時期の遺構と考えられる。調査過程で述べた1990年度及び1999・2002年度の調査で弥生時代末期から古墳時代前期にかけての竪穴住居が検出されており、これらに関連する集落群の一部となる可能性がある。周辺のさらなる発掘調査が望まれる。　（堀内　寛昭・吉本　健吾）

註1　高橋 潔「植物園北遺跡」『京都市文化財調査概要』京都市埋蔵文化財研究所　1994年

註2　吉本健吾・竜子雅彦「植物園北遺跡」『京都市内遺跡立会調査概報』京都市文化市民局　2000年

註3　堀内寛昭「植物園北遺跡」『京都市内遺跡立会調査概報』京都市文化市民局　2003年

Ⅳ　主要な出土遺物

1　平安宮大蔵省（05HQ31）

上京区仁和寺街道七本松東入一番町から仁和寺街道千本西入仲御霊町のガス管入替工事に伴う調査である。平安宮大蔵省に推定されるこの付近では、古代の遺構の検出例が殆ど無く、今回No.1地点の地表下-0.3mの現代盛土直下で奈良時代の瓦を含む落込を検出した。瓦は重郭文軒平瓦、丸瓦、平瓦が出土している。重郭文軒平瓦は小破片であるがこれを報告する。

図30　調査位置図（1：5,000）

重郭文軒平瓦（図31）

瓦当上部と凹面の一部のみの破片である。瓦当の突線はほぼ同じ太さの2条が残存し、その上面には布目痕が残る。瓦当笵とは別の圧痕であり、瓦当形成後に布目の圧痕が加えられている。胎土は精良、焼成は良好、色調は青灰色を呈する。　（吉本　健吾）

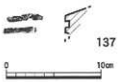


図31　軒瓦拓影・実測図（1：4）

2　平安京左京四条一坊一町（05HL83・100・109）

中京区壬生朱雀町1番地のマンション建設工事に伴う調査である。調査地は左京四条一坊一町の北側から三条大路の南半に位置する。調査地のほぼ全域で地表下-1.2mで平安時代前期から鎌倉時代にかけての遺物を包含する湿地状堆積を検出した。この堆積から木製品の盤を検出している。

木製品盤（図版27、図32）

器形は扁平で外傾する短い口縁部を挽きだしている。組板としても転用されたのか、底部内外面には刀傷が残っている。口径21.3cm。器高1.4cmを測り、材質はヒノキである。平安京右京八条二坊二町の発掘調査[註1]で平安時代前期の溝から類似品が出土している。　（吉本　健吾）

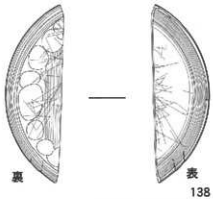


図32　木製品盤実測図（1：4）

註1　辻裕司・本弥八郎・加納敬二「17平安京右京八条二坊」『昭和60年度　京都市埋蔵文化財調査概要』京都市埋蔵文化財研究所　1988年

調査一覧表

Ⅰ　2005年　1～3月期（平成16年度）

平安宮（HQ）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
大蔵庁	上・仁和寺街道七本松西入二番町197-3、197-14	3/29、4/18	-0.4mまで現代盛土。	HQ401	1
宴松原	上・出水通六軒町東入七番町326、326-1、326-4、326-7	2/3・4・7	-0.25mで黒褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	HQ340	1
縫殿寮	上・上長者町通千本東入二丁目山王町501	1/11	-0.33mまで現代盛土。	HQ314	1
縫殿寮	上・上長者町通浄福寺西入新椋馬場鐘町523-5	1/11	-0.3mまで現代盛土。	HQ315	1
左近衛府	上・大宮通下長者下る清元町722-1の一部（D号地）	1/18	-0.3mまで現代盛土。	HQ318	1
左近衛府	上・大宮通下長者下る清元町　地先	3/10	-0.4m、江戸の包含層（土師器皿）。-0.64m、時期不明の包含層（土師器）。	HQ389	1
左近衛府	上・大宮通下長者通下る清元町722-1の一部（C号地）	3/16	-0.3mまで現代盛土。	HQ393	1
内裏	上・下立売通千本東入田中町460	3/4・7～9	-0.55mまで現代盛土。	HQ373	1
造酒司	中・泉楽廻松下町12-50	3/7・8	-0.43m以下、黄褐色砂泥の地山。	HQ376	1
典薬寮	中・西ノ京車坂町7-2	3/9	-0.15mまで現代盛土。	HQ387	1
豊楽院	中・泉楽廻中町42-1A（1A号地）	1/31、2/1	-0.55m以下、灰黄褐色砂礫の地山。	HQ335	1
豊楽院	中・泉楽廻中町42-3（3号地）	1/31、2/1	-0.3m、平安の瓦溜（丸・平瓦）。	HQ336	1
豊楽院	中・泉楽廻中町42-4（4号地）	1/31、2/1	-0.5mまで現代盛土。	HQ337	1
豊楽院	中・泉楽廻西町183	3/3	-0.4mまで現代盛土	HQ372	1
豊楽院	中・泉楽廻西町186-96	3/8・9	-0.45m、近代の炭殻層。	HQ382	1
豊楽院	中・泉楽廻西町186-97	3/8・9	-0.25mまで現代盛土。	HQ383	1
朝堂院	中・泉楽廻東町24-12	1/27、2/1	-0.2m、江戸末期～明治の包含層。	HQ332	1
朝堂院	中・泉楽廻南町24-11	3/18・22	-0.15mまで現代盛土。	HQ394	1
大炊寮	上・丸太町通大宮西入藁屋町535番67	3/8	-0.4mで褐色砂泥層を検出。遺構、遺物は検出できず。	HQ375	1
右馬寮	中・西ノ京冷泉町106番地	1/28	-0.35m、江戸末期の包含層。	HQ333	1

平安京左京（HL）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
一条二坊　九町	上・三丁目　他地内	2/17～9/27	№5；-0.25m、時期不明の焼土層。-0.47m、近世以降の包含層。№6；-0.8m、オリーブ灰色砂礫の地山を切って時期不明の土壌。	HL352	2
二条二坊十二町	中・油小路通夷川下る藁屋町582、585	1/21・24・25・27	№1；-0.3m、江戸末期の包含層。-0.55m、江戸後期の包含層。-1.10m、江戸中期の包含層。№2；-1.10m、江戸中期の包含層。№3；-1.86m、平安中期の包含層（土師器皿、緑釉陶器椀）。	HL323	2
二条二坊十六町	上・西洞院通丸太町上る夷川町378	3/22・23、2/21	-1.5mまで現代盛土。	HL398	2
二条三坊十六町	上・京都御苑3番地の一部	～25・28	-0.77m、時期不明の包含層（土師器）。-0.82m、平安末期～鎌倉の遺物を混入する包含層（土師器皿）。-0.9m、室町の包含層（土師器皿、須恵器、瓦器）。	HL354	3
二条四坊　四町	中・東洞院通二条上る藁屋町520番　他2筆	3/31、4/1・4～8・11	№1；-1.25m、湿地状の江戸初期の包含層（土師器皿、擦器椀）。-1.6m、湿地状の室町末期～桃山の包含層（土師器皿、施釉陶器皿）。№3；-2.0m、湿地状の近世の包含層。-1.6m、湿地状の時期不明の包含層（土師器皿）。	HL404	3
三条一坊　七町	中・西ノ京職司町67-50	3/31、4/1・4	№1；-0.9m以下、灰色砂泥の地山。№2；-0.7m、時期不明の包含層（土師器皿）。-1.15m以下、オリーブ褐色砂礫の地山。	HL405	2
三条三坊　一町	中・釜座通二条下る上松屋町704番1	04/12/8～05/3/28	巡回時、工事終了。	HL074	3

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
三条三坊十二町	中・烏丸通御小路下る場之町592番地 他	2/9・10	-1.45m、室町中期の包含層（土師器皿・青磁椀）。-1.84m、鎌倉後期の包含層（土師器皿）。	HL345	3
三条四坊 七町	中・御所八浦町240番地 他3筆	1/20・21・24・25・27、2/1	-0.2mで時期不明の暗赤褐色焼土層、-0.6mで褐灰色粗砂を検出。遺構、遺物は検出できず。	HL322	3
三条四坊 七町	中・柳池通柳馬場西入御所八幡町221 他1筆	2/28、3/1～4・7・14・23	№1；-2.0m、江戸前期の包含層（土師器皿）。№2；-1.0m、江戸後期の包含層（土師器皿）。-1.25m、江戸中期の包含層（土師器皿）。-1.85m、時期不明の包含層（土師器皿）。-2.2m、江戸初期の包含層（土師器皿、施釉陶器志野皿）。№3；-1.6m、平安中期～室町の包含層（土師器皿、輸入青磁椀）。	HL359	3
三条四坊 九町	中・柳馬場通二条下る等持寺町34-1、37-3	3/28、6/20～24・27	№1；-1.02m、桃山の包含層（土師器皿、施釉陶器瀬戸美濃系灰志野小椀）。-1.3m、鎌倉前期の包含層（土師器皿）。-1.45mで黄褐色砂泥の地山を切って平安末期のピット（土師器皿）。№2；-1.3m、江戸前期の包含層（土師器皿）。-1.48m、桃山の包含層（土師器皿、白磁、平瓦）。-1.85mで黄褐色微砂の地山を切って時期不明の落込。№3；-2.5m、平安後期の包含層（土師器皿）。-2.5m以下、黄褐色砂泥の地山。	HL359	3
三条四坊十三町	中・御幸町通三条上る丸屋町318	3/8・9	-0.1mで近世の焼土層。	HL379	3
三条四坊十四町	中・御幸町御池下る大文字町356番地	3/9・10	№1；-0.82m、鎌倉後期の包含層（土師器皿）。-1.97m、鎌倉前期の包含層（土師器皿）。№2；-1.57m、桃山の包含層（土師器皿）。-1.7m、時期不明の包含層（土師器）。	HL385	3
四条二坊十五町	中・小川通六角下る元本能寺町390番地	3/15	-0.6m・-0.82m、近世の包含層２。	HL392	4
四条三坊十五町	中・烏丸通六角下る七観音町630番地、六角通烏丸東入壹之前町51番地	2/28	-1.7m、平安～江戸の湿地状の包含層（土師器皿、焼締陶器擂鉢、平瓦）。	HL366	5
四条四坊 三町	中・錦小路通東洞院東入魚屋町604	3/14・15・23	-0.45m、時期不明の包含層（土師器皿）。-1.15mでオリーブ褐色微砂の地山を切って室町の落込（土師器皿、青磁―龍泉窯、平瓦）。	HL391	5
五条二坊 二町	下・風門通綾小路通下る塩屋町186	2/28	-0.25mまで現代盛土。	HL367	4
五条二坊 五町	下・高辻通堀川西入宮永町683、685番	1/24・25・27	№1；-0.3m、江戸末期の包含層。№2；-1.7m以下、褐色砂礫の地山。№3；-1.05m、室町中期の包含層（土師器皿・鉢、焼締陶器壺）。	HL325	4
五条二坊十二町	下・醒ヶ井通高辻下る住吉町484、東堀川通高辻下る五軒町373	2/24・25・28	-0.55m、江戸前期の包含層（土師器皿、施釉陶器鉄釉天目椀）。	HL357	4
五条三坊 八町	下・室町通四条西入月鉾町61	3/28・30・31、4/1・4	№1；-2.06m以下、オリーブ褐色砂礫の地山。№2；-1.62m、室町中期の落込（土師器皿、白磁椀、瓦器椀）。	HL400	6
五条三坊十五町	下・東洞院通綾小路下る扇酒屋町282	1/24・25・27・31、2/1・3・4・10	№1；-0.4m、江戸中期の包含層。№2；-1.3m、室町末期の包含層（土師器皿）。-1.96m以下、暗灰黄色粘土の地山。	HL324	5
五条四坊十二町	下・柳馬場通高辻下る吉文字町441番地	04/12/6、05/1/6・11・12・14	№1；-1.55m、江戸中期～後期の包含層（土師器皿、肥前染付磁器椀）。№2；-1.20m、江戸中期～後期の包含層。-2.25m、平安前期の包含層（土師器皿）。	HL292	5
六条三坊 二町	下・西洞院五条上る八幡町535	3/31、4/1・4	-0.9m・1.2m・-1.4m、江戸以降の包含層3。	HL403	5
六条三坊 八町	下・室町通松原下る元両替町250番地	2/21～23	-0.8m、室町の包含層（土師器皿、瓦器椀）。-1.08m、平安中期～鎌倉の包含層（土師器皿）。	HL355	5
七条二坊十五町	下・東中筋通花屋町下る柳町319、321番地 他	2/14・15・17・18・21～25・28	№1；-0.75m、時期不明の包含層（土師器皿、須恵器甕）。№3；-0.72m、桃山の包含層（土師器皿）。№5；-0.72m、鎌倉の土壙（土師器皿、灰釉陶器椀）。№6；-0.66m、平安末期の包含層（土師器皿、平瓦）。№8；-0.4m、室町の包含層（土師器皿、須恵器甕）。-0.76m、平安前期の包含層（緑釉陶器椀）。	HL347	6
七条二坊十六町	下・油小路通、五条通～七条通 他 地内	3/7～31、4/1～28、5/10～27、	№3；-0.8m、中世の包含層（土師器、瓦器）。-1.0m、時期不明の包含層（土師器、瓦。№8；	HL377	4-6

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
		6/2～28、7/12～25	-0.62m、中世の包含層（瓦器火鉢、平瓦）。No.15；-0.28m、時期不明の路面。		
七条三坊　三町	下・若宮通正面下る鍵屋町632	2/17	-0.16mまで現代盛土。	HL351	7
七条三坊　六町	下・新町通正面下る平野町787番、787番2、787番1の一部、787番3	1/26～28	-0.15m、江戸末期の包含層。	HL328	7
八条二坊　十町	下・油小路通塩小路下る南不動堂町1-1　他	1/24～27・31、2/1・3・4・10・14	No.1；-1.14m・-1.28m、平安末期の包含層（土師器皿、須恵器壺、緑釉陶器不明）2。No.3；BM+0.12m、室町前期の包含層（土師器皿、輸入白磁皿、瓦器椀、焼締陶器壺信楽・備前・他）。-0.51mで平安後～末期の包含層（土師器皿、須恵器壺）を切って鎌倉のピット（輸入白磁椀）。No.4；-0.97m、平安前期の包含層（緑釉陶器椀、灰釉陶器壺、製斗瓦）。No.5；-0.48m、鎌倉中期の包含層（土師器皿）。-0.9m、平安前期の包含層（土師器皿、須恵器杯）を検出。-1.08m、平安初～前期の包含層（須恵器鉢）。	HL327	6
九条一坊　五町	南・四ツ塚町　地先	04/12/13～05/2/22	-1.1mまで現代盛土。	HL296	6
九条一坊十六町	南・大宮通八条下る西入九条町411	1/7・12	-0.36m、江戸末期の包含層（土師器皿）。-0.78m、江戸後期の包含層（土師器皿）。	HL311	6
九条三坊　八町	南・東九条室町63-1、62、64-3	04/12/14～05/2/3	-0.3m、現代盛土。	HL300	7
九条四坊　二町	南・東九条東山王町9-3、10-1	3/2	-0.45mまで現代盛土。	HL370	7

平安京右京（HR）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
一条二坊　三町	上・下立売通御前通西入突抜町429番	3/8	-0.4m、時期不明の包含層（土師器）。	HR381	9
一条三坊十一町	中・西ノ京馬代町9-1	3/2～4	No.1；-0.65m、時期不明の包含層（土師器）。No.2；-0.85m以下、褐色砂泥の地山。	HR369	8
二条二坊　三町	中・西ノ京冷泉町98-1、98-2	2/21～25・28	No.1；-0.72m、室町の包含層（土師器皿、焼締陶器壺、平瓦）。No.2；-0.82m、時期不明の包含層（土師器）。	HR356	9
二条三坊十二町	中・西ノ京小堀池町17、20番地	04/12/21・24、05/1/11・12・14	-0.75m、時期不明の包含層（土師器皿）。-0.82m、平安中期の包含層（土師器皿）。-1.46m以下、灰黄褐色砂礫の地山。	HR306	8
三条二坊十五町	中・西ノ京東中合町1（市立西京高校）	04/11/15～17・22、05/3/22・24・25	No.2；-1.55m以下、灰色粗砂の地山。No.4；-0.5m、時期不明の包含層（土師器）。-1.72mでにぶい黄褐色粘土の地山を切って時期不明の土壌。	HR271	9
三条二坊十六町	中・西ノ京東中合町1番地　地内（京都市立西京高等学校）	2/25～12/26	No.3；-0.95m、江戸後期の包含層。No.4；-2.0m、近代の混地状堆積。No.6；-0.7m、近代の混地状堆積。No.10；-0.5m、近代の包含層。	HR360	8
三条三坊　二町	中・西ノ京西中合町～西ノ京東中合町	04/6/1・3・15・17、05/12/26	No.1；-2.2m以下、暗緑灰色粘土の地山。No.2；-1.23m以下、灰白色粘土の地山。	HR068	8・9
五条二坊十二町	右・西院平野町4番1、4番3の一部	3/9・10	-0.3m、近世以降の包含層。-0.6m以下、黄褐色砂泥の地山。	HR386	11
六条一坊十二町	下・中堂寺粟田町91（一部）、92（一部）	2/28、3/1～31	-0.66m以下、褐色粘土の地山。	HR364	11
六条二坊　十町	右・西院南高田町18番1	2/24・25・28	No.2；-0.48m、時期不明の包含層（土師器）。No.3；-0.6m、時期不明の包含層（平瓦）。	HR358	11
六条四坊　三町	右・西院六反田町4-1、4-3、4-4、4-5、4-6	04/12/21～05/1/19	弥生時代の溝、土壌、溝状遺構。本報告９ページ。	HR304	10
七条二坊　七町	下・西七条西石ヶ壷町35番地	2/15・17・18・21・22	-0.4m、耕作土。-0.57m以下、灰色砂礫。遺構、遺物は検出できず。	HR349	13
七条三坊十五町	右・西京極町ノ坪町23-1、23-2の一部	2/7	-1.5mまで現代盛土。	HR343	12
七条四坊　二町	右・西京極町ノ坪町7番2	2/17	-0.33mまで現代盛土。	HR353	12
七条四坊　九町	右・西京極畔勝町40の一部	2/10・14	-0.4mまで現代盛土。	HR346	12
九条二坊十二町	南・吉祥院清水町32	1/6～15	-1.1m以下、褐色砂礫の地山。	HR202	13
九条二坊十二町	南・唐橋西平垣町44番地	1/6、3/16・18・22	No.1；-0.91mで灰色泥砂、-1.12mで灰黄褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	HR309	13

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
九条四坊十五町	南・吉祥院中河原里西町～吉祥院大河原町地先	04/10/7・13、05/3/28	-0.96mまで現代盛土。	HR234	12

洛北地区（RH）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
元稲荷古墳	左・岩倉幡枝町601-2	1/11	-0.4mまで現代盛土。	RH313	22-5
幡枝古墳群・南ノ庄田瓦窯跡	左・岩倉幡枝町433-7（5号地）	1/12	-0.3mまで現代盛土。	RH316	22-5
植物園北遺跡	北・上賀茂御田町30-1	2/28、3/1	-0.61m以下、褐色砂泥の地山。	RH362	21-1
植物園北遺跡	左・松ヶ崎本町19、20、24-2、今海道町5-5	3/10・14	-1.16mまで現代盛土。	RH388	21-1
御土居跡	北区小山元町～上賀茂桜井町 地内	04/6/16～05/2/10	№2；-1.0m、江戸の包含層。№3；-1.75m以下、灰褐色砂礫の地山。№6；-0.47m、室町末期の包含層（土師器皿）。	RH084	21-1
御土居跡	北・紫竹上堀川町 地内	3/9、6/15・17・20	-2.9m、粗製状の暗褐色砂礫。遺構、遺物は検出できず。	RH384	23-2
一条室町殿跡	上・武者小路通新町東入武者小路町425番	3/22・24	-0.3m、江戸末期の包含層。-0.67m、江戸後期の包含層。	RH397	16

太秦地区（UZ）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
蛇塚古墳	右・太秦面影町20-25	1/7	-0.23mまで現代盛土。	UZ310	21-2

北白川地区（KS）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
岡崎遺跡・白河街区跡	左・北門前町、岡崎円勝寺町（仁王門通、東大路通～岡崎通）	3/18～31、4/1～19、5/12～30、6/1～23、7/14～29、8/1～31、9/1～30、10/11～31、11/1～15	№3；-0.84m、室町末期の包含層（土師器皿）。№4；-0.9m以下、灰黄褐色粘土の地山。№10；-0.72m、時期不明の土坡（土師器皿・瓦）。№11；-0.4m、平安後期の包含層（土師器皿）。-0.6m、平安の包含層（瓦）。№12；-0.35m、江戸末期～明治の土坡。№16；-0.96m、江戸末期の包含層。№20；-0.46m、江戸の包含層（瓦）。-1.04m、平安後期の包含層（土師器皿・瓦）。№21；-0.85m、時期不明の包含層（瓦製品）。-1.15m、平安の包含層（瓦）。№23；-0.84m、江戸の包含層。	KS396	17
白河街区跡	左・聖護院西町20-1	2/25・28、3/1・2	№1；-0.25m、室町の包含層（土師器皿）。№2；-0.15m、時期不明の包含層（土師器、平瓦）。№3；-0.3m、時期不明の包含層（土師器皿）。-0.65m、時期不明の包含層（土師器）。	KS361	17
白河街区跡	左・黒谷町11番	1/18～21	-1.24m、時期不明の整地層。-0.5m以下、明黄褐色粘土の地山。	KS319	17
白河街区跡	左・丸太町通川端東入東丸太町21-4	3/8～10	№1；-0.4m、近世以降の包含層。№2；-0.6m、近世の包含層。	KS380	17
白河街区跡	左・仁王門通新東洞院西入東洞院町252	2/28、3/1～3	BM+0.5m～-0.3mまで現代盛土。	KS368	17
白河北殿	左・聖護院河原町12	2/14・15・17・21	№1；-0.85m、鎌倉の包含層（土師器皿）。№2；-0.95m、鎌倉の包含層（土師器皿、丸・平瓦）。	KS348	17

洛東地区（RT）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
六波羅政庁跡	東・本町五丁目175、177、179	1/7・20・21	No.1；-1.37m、時期不明の包含層（土師器）。No.2；-0.75m、室町前期の包含層（土師器皿）。	RT312	18
法住寺殿跡・六波羅政庁跡	東・茶屋町527	3/4	-0.55mまで現代盛土。	RT374	18
法住寺殿跡・六波羅政庁跡	東・茶屋町527	1/18	-0.6mまで現代盛土。	RT317	18
法住寺殿跡・六波羅政庁跡	東・茶屋町527	3/14	-0.3mまで現代盛土。	RT390	18
法性寺跡	東・本町十五丁目785-1番地	1/24～26、31	-0.7m以下、橙色岩盤。	RT326	18
中匠遺跡	山・東野舞台町97-31（2号地）	3/23	-0.3mまで現代盛土。	RT399	22-1
中匠遺跡	山・西野山中臣町72-65	1/28	-0.8m・-0.87mで黒褐色砂泥2。-1.09mで暗褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	RT334	22-1
勧修寺境内	山・勧修寺西北出町～勧修寺下ノ茶屋町　地内	1/26・27・31、2/1・3・7・9・10・14・17・18・21	No.2；-1.6m以下、灰色粘土の地山。No.8；-0.8mで湿地状の灰色粘土を検出。遺構、遺物は検出できず。	RT329	23-8

鳥羽地区（TB）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
唐橋遺跡	南・吉祥院西定成町～吉祥院定成町　地先	04/9/16・17・22・28、05/3/28	No.1；-0.28m・-0.34m・-0.48mで褐色系の砂泥3。-0.64mでオリーブ黒色砂泥を検出。No.2；-0.2m、耕作土。-0.37mで灰オリーブ色砂泥。-0.5mで灰オリーブ色砂礫を検出。いずれも遺構、遺物は検出できず。	TB201	24-3
上鳥羽遺跡	南・上鳥羽勝田11-1　（保-55C）	3/18～6/13	1.29m、飛鳥の造物（土師器皿）を含む湿地状堆積。	TB395	24-4
鳥羽離宮跡	伏・竹田西橋ノ井町25番地より分筆	3/2	-0.45mまで現代盛土。	TB371	19

伏見・醍醐地区（FD）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
伏見城跡・金森出雲遺跡・御香宮旧寺跡	伏・桃山町金森出雲1-19	2/15・17・18・21	No.4；BM+2.95m、江戸後～末期の包含層（施釉陶器）。+1.85m、江戸後期の落込（施釉陶器）。No.5；BM+0.21m以下、黄褐色砂礫の地山。No.6；BM+0.6m、江戸末期の包含層（施釉陶器）。+0.3m、江戸後期の包含層（肥前染付碗）。-0.1m以下、明黄褐色砂礫の地山。	FD350	14
伏見城跡	伏・両替町十四丁目165、新町十四丁目270	1/19～21	-1.1mまで現代盛土。	FD321	14
伏見城跡	伏・桃山最上町18番8	1/31、2/1	-0.32mで褐色粘土、-0.47mで褐色砂泥、-0.63mで黄褐色粘土質砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	FD338	14
伏見城跡	伏・京町大黒町115-3、114-4　他2筆	2/1・3・4・7・9・10	-0.5mで黄褐色砂礫の地山を切って近世以降の土壙。	FD339	14
伏見城跡	伏・両訪町331-29、331-27、331-28	2/3・4	-1.4mまで現代盛土。	FD341	14
伏見城跡	伏・桃山遠山81-6	2/9・10	-1.3mまで現代盛土。	FD344	15
伏見城跡	伏・桃山町丹後29-1の一部（B棟）	1/26・31	-1.10m以下、オリーブ灰色粘土の地山。	FD330	15
伏見城跡	伏・桃山町丹後29-1の一部、29-2（A棟）	1/26・31	-1.02m以下、明黄褐色砂泥の地山。	FD331	15

長岡京地区（NG）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
左京一条四坊三町・東土川遺跡	南・久世東土川町　地先	1/18～21・24・26・31、2/1・3・4	№２；-1.06m、弥生時代中～後期の包含層（弥生土器壺・高杯・器台）。№４；-0.9m、時期不明の包含層（不明土器）。№５；-1.5m、時期不明の落込。№６；-1.15m、弥生中～後期の包含層（弥生土器壺・不明品）。№９；-0.88m、時期不明の包含層（不明土器）。-0.94m、時期不明の包含層（不明土器）。	NG320	20
左京四条四坊十三町・長黒遺跡	伏・羽束師志水町128-1	2/3	-1.3mまで現代盛土。	NG342	20
右京一条四坊一町	西・大原野上里南ノ町　地先	04/12/27、05/1/7・14・18～21・24・26・31	№１；-0.6m以下、褐色砂泥の地山。№２；-0.23m・-0.42m、時期不明の路面２。-0.83m、褐色粘土の地山。	NG307	25-5

南・桂地区（MK）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
上久世遺跡	南・久世上久世町63-1	2/28	-0.3m以下、黄褐色砂泥の地山。	MK363	25-1
上久世遺跡	南・久世上久世町88の一部、90の一部、93の一部、95-2の一部	3/7	-0.48m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。	MK378	25-1
上久世遺跡	南・久世上久世町156番・156番3の各一部（A棟）	04/12/7、05/1/24	-0.14mで灰黄褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	MK294	25-1
上久世遺跡	南・久世上久世町156番・156番3の各一部（B棟）	04/12/7、05/1/24	遺回時、工事終了。	MK293	25-1
中久世遺跡	南・久世殿城町50番地　他	3/31、4/8、8/2	-0.75mでオリーブ褐色砂泥を検出。以降、遺物は検出できず。	MK402	25-3

Ⅱ　2005年　4～12月期（平成17年度）

平安宮（HQ）

遺　跡　名	所　在　地	調査日	調　査　概　要	調査No.	図版
大　蔵　省	上・仁和寺街道六軒町西入四番町150番4	5/6	-0.5mまで現代盛土。	HQ050	1
大　蔵　省	上・仁和寺街道七本松東入一番町～仁和寺街道千本西入仲御霊町　地先	4/19～28、5/10～27、6/1～17	奈良の落込。本報告27ページ。	HQ031	1
大　蔵　省	上・中立売通千本西入四番町　地先	6/2～28、7/25	遥回時、工事終了。	HQ086	1
大　蔵　省	上・仁和寺街道六軒町西入四番町134-2の一部（1号地）	8/22	-0.5mで黒褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	HQ176	1
大　蔵　省	上・仁和寺街道六軒町西入四番町134-2の一部（2号地）	8/22	-0.5mで黒褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	HQ177	1
大　蔵　省	上・七本松通仁和寺街道上る一番町101	9/6・12	-0.3mまで現代盛土。	HQ196	1
大　蔵　省	上・中立売通六軒町四番町122-11	9/21・22・26	-0.55mで褐色砂泥の地山を切って時期不明の土壙。	HQ216	1
大　蔵　省	上・仁和寺街道六軒町西入四番町134-2の一部（3号地）	10/3・4	-0.55mまで現代盛土。	HQ232	1
大　蔵　省	上・仁和寺街道六軒町西入四番町134-2の一部（4号地）	10/3・4	-0.6mまで現代盛土。	HQ233	1
大　蔵　省	上・千本通一条下る西側西中筋町19番15（A号地）	11/18	遥回時、工事終了。	HQ298	1
大　蔵　省	上・千本通一条下る西側西中筋町19番15（C号地）	11/18	遥回時、工事終了。	HQ300	1
大　蔵　省	上・千本通一条下る西側西中筋町19番15（B号地）	11/18	遥回時、工事終了。	HQ299	1
大　蔵　省	上・仁和寺街道六軒町西入四番町134-2の一部（5号地）	11/28～30	-0.5mまで現代盛土。	HQ308	1
大　蔵　省	上・神泉苑通一条下る東西侠屋町642-23（4号地）	4/26、8/2	遥回時、工事終了。	HQ043	1
大　蔵　省	上・神泉苑通一条下る東西侠屋町642-32（3号地）	4/26、8/2	遥回時、工事終了。	HQ042	1
大　蔵　省	上・神泉苑通一条下る東西侠屋町642-28（8号地）	11/28	-0.18mで時期不明の整地層。	HQ307	1
大　蔵　省	上・神泉苑通一条下る東西侠屋町642-27（7号地）	12/9	-0.35mまで現代盛土。	HQ330	1
大　蔵　省	上・神泉苑一条下る東西侠屋町642-25（5号地）	12/26	-0.36mまで現代盛土。	HQ344	1
茶　　園	上・中立売通日暮東入新白水丸町457-4	6/20・21	-0.85mまで現代盛土。	HQ107	1
茶　　園	上・中立売通日暮東入新白水丸町459、461、中立売通松屋町東入新元町212	10/17	-0.5m、室町中期の包含層（土師器皿）。-0.8m、時期不明の土壙。	HQ257	1
正　親　町	上・二番町200	5/25	-0.6mまで現代盛土。	HQ077	1
右　近　衛　府	上・御前通下立売上る三丁目西上之町278番地46	5/24	-0.12m、時期不明の包含層（土師器甕）。	HQ074	1
右　近　衛　府	上・御前仲ノ町285-3	7/15	-0.8m以下、褐色砂泥の地山。	HQ136	1
右　近　衛　府	上・御前通下立売上る三丁目西上之町261-1	7/27	-0.15まで現代盛土。	HQ145	1
右　近　衛　府	上・下長者町通七本松西入風帽町232-8	9/20	-0.15mまで現代盛土。	HQ215	1
宴　松　原	上・七本松通仁和寺街道下る二番町211-10	8/19	-0.4mまで現代盛土。	HQ171	1
宴　松　原	上・下長者町通六軒町西入利生町294-17（C号地）	9/1	-0.3mまで現代盛土。	HQ192	1
掃　部　寮	上・下長者町通六軒町西入利生町294-17	7/1	-0.25m、近世の包含層。-0.66m、平安の包含層（緑釉陶器、瓦）。-0.88m以下、明黄褐色砂礫の地山。	HQ121	1
掃　部　寮	上・下長者町通六軒町西入利生町294-17	10/28	-0.22m、江戸後期の包含層。-0.42m、平安の包含層（平瓦）。-0.92m以下、黄褐色砂泥の地山。	HQ271	1
掃　部　寮	上・六軒町通下長者町七番町305-3、306-2（5号地）	11/8	-0.45mまで現代盛土。	HQ280	1
掃　部　寮	上・六軒町通下長者町七番町304-3、305-2（4号地）	11/8	-0.6mまで現代盛土。	HQ281	1

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
掃部寮	上・六軒町通下長者町七番町303-6の一部(6号棟)	11/17	-0.25mまで現代盛土。	HQ293	1
掃部寮	上・六軒町通下長者町七番町303-6の一部(7号棟)	11/17	-0.25mまで現代盛土。	HQ294	1
掃部寮	上・六軒町通下長者町七番町303-6の一部(8号地)	11/22	-0.45mまで現代盛土。	HQ295	1
掃部寮	上・六軒町通下長者町七番町303-6の一部(9号地)	11/17・22	-0.45mまで現代盛土。	HQ296	1
掃部寮	上・六軒町通下長者町七番町305-3、306-2(3号地)	11/21・22	-0.2m以下、褐色粘土の地山。	HQ301	1
内蔵寮	上・千本通上長者町下る革堂前之町121番、123番2	9/30、10/3	-0.3m、江戸前期の包含層(土師器皿)。	HQ228	1
縫殿寮	上・下長者町通浄福寺東入上る坤高町58-1	10/5	-0.2m、江戸末期の包含層。	HQ241	1
左近衛府	上・清元町736-7	4/14・18	-0.22mまで現代盛土。	HQ025	1
左近衛府	上・下長者町通智恵光院東入西辰巳町116	5/16・19	-0.3mまで現代盛土。	HQ062	1
内裏	上・浄福寺通下長者町下る白銀町255	9/26	-0.35m、近世～近代の包含層。	HQ221	1
内裏	上・下立売通土屋町下る小山町908-82	12/26	巡回時、工事終了。	HQ346	1
造酒司	中・聚楽廻松下町12-35	9/8・12	-0.44mで黄褐色砂礫を検出。遺構、遺物は検出できず。	HQ197	1
内匠寮	中・西ノ京左馬寮町21番15	8/1	-0.1mまで現代盛土。	HQ149	1
左馬寮	中・西ノ京左馬寮町11-36、11-37	5/9	-0.2m以下、黄褐色粘土の地山。	HQ052	1
左馬寮	中・西ノ京左馬寮町11-20	11/8	-0.35mまで現代盛土。	HQ279	1
朝堂院	上・聚楽町863-36	5/13	-0.3mまで現代盛土。	HQ061	1
朝堂院	上・千本通竹屋町下る聚楽町852-1 他	6/27	BM+0.68m～+0.23mまで現代盛土。	HQ117	1
中務省	上・丸太町通千本東入中務町491-74 他	9/20～22	-1.23mで黄褐色砂泥の地山を切って古墳後期～飛鳥の落込(土師器壁)。	HQ212	1
中務省	上・竹屋町通千本東入主税町1137番地	10/12	-0.15m、時期不明の整地層。	HQ244	1
主水司	上・丸太町通智恵光院下る東入主税町936	4/25	-0.5mまで現代盛土。	HQ040	1
大膳職	上・日暮通椹木町下る北伊勢屋町736-5	4/25・26	-0.3m、江戸末期の包含層。	HQ041	1
大膳職	上・日暮通丸太町下る南伊勢屋町756	7/5・8	-0.87m以下、褐色粘土の地山。	HQ122	1
大炊寮	上・日暮通丸太町下る南伊勢屋町773-6	4/13	-0.15mまで現代盛土。	HQ021	1
式部省	中・西ノ京式部町22-8	9/26	巡回時、工事終了。	HQ223	1
判事	中・西ノ京内畑町13-57の一部(1号地)	4/14	-0.2mまで現代盛土。	HQ023	1
判事	中・西ノ京内畑町13-57の一部(2号地)	4/14	-0.25mまで現代盛土。	HQ024	1
判事	中・西ノ京内畑町18-8	5/23	-0.3mまで現代盛土。	HQ069	1

平安京左京(HL)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
北辺二坊 二町	上・黒門通下長者町上る南小大門町～黒門通中立売下る新元町 地先	5/16～27、6/1～28、7/7・8	No.4；-0.95m、平安の包含層(灰釉陶器壺)。No.8；-0.87m、近世の包含層。出土地点不明採集品として鎌倉の唐草文軒平瓦。	HL064	2
北辺二坊 五町	上・堅富田町 他地内	6/27～10/31	No.1；-0.36m、時期不明の包含層(土師器)。No.5；-4.55mまで現代盛土。	HL115	2・16
北辺三坊 二町	上・新町通中立売仕丁町328 他	4/19・21・26	-1.34m、江戸初期の包含層(土師器皿、輸入染付皿)。	HL030	3
北辺三坊 四町	上・一条通室町西入東日野殿町395、396番地	8/9・12	-0.46mまで現代盛土。	HL162	3
北辺三坊 五町	上・烏丸通中立売上る竜前町～烏丸通今出川下る梅屋町 地先	5/9～24	-1.15m、近世以降の包含層。	HL054	3・16
一条二坊 二町	上・大宮通下長者町下る清元町722-1の一部(A号地)	4/4	-0.4mまで現代盛土。	HL007	2
一条二坊 九町	上・油小路上長者町下る亀屋町147の一部	4/22	-0.35m、江戸末期の包含層。	HL037	2
一条二坊十二町	上・椹木町通堀川東入西山崎町23番2 他1筆	5/6・10～13	No.1；-1.54m、江戸初期の落込(土師器皿)。-1.94m以下、褐色砂泥の地山。No.2；-1.05m、平安中期の包含層(土師器皿・鉢、灰釉陶器椀)。No.3；-1.24mで平安前期の包含層(土師器皿)を切って江戸前期の土壌(土師器皿・甕・鍋、瀬戸	HL049	2

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
			系灰釉皿)。No.4；-0.5m、鎌倉前期の包含層(土師器皿、平瓦)。-1.24m、平安後～末期の包含層(土師器皿、平瓦)。-1.34m、時期不明の包含層(土師器)。		
一条三坊　五町	上・室町通椹木町上る武衛陣町234-2	4/1・4	-0.93mで江戸後期の包含層(土師器皿)を切って江戸以降の落込(丸・平瓦)。	HL002	3
二条四坊　四町	中・東洞院通二条上る壺屋町524、525番地	8/3～30、12/26	巡回時、工事終了。	HL153	3
二条四坊　六町	中・堺町通夷川上る絹屋町129、夷川通柳馬場西入百足屋町142、145	9/9・12～14	No.1；-0.25m、江戸末期の包含層。-0.7m、時期不明の土壌。No.2；-1.7m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。No.3；-1.17m、鎌倉中期の包含層(土師器皿、須恵器甕)。No.4；-0.92m、鎌倉後期の包含層(土師器皿)。	HL198	3
二条四坊　七町	中・竹屋町通堺町西入和久屋町101	7/20～22・25	No.1；-1.3m、時期不明のピット(土師器)。No.2；-0.45m、室町の包含層(土師器皿、瓦器火鉢)。-1.38m、弥生後期の包含層(弥生土器甕、鉢)。	HL140	3
二条四坊十三町	中・御幸町通二条上る達磨町607番、608番	9/27・29・30、10/3	No.1；-0.85m、江戸前期の包含層(土師器皿、平瓦)。No.2；-0.4m、近世の包含層。	HL224	3
二条四坊十五町	中・甦屋町通竹屋町上る舟屋町411-1番地、412番	10/3・5・11・13・14	-1.65m、江戸後期の包含層(肥前染付椀、瀬戸美濃系施釉陶器椀)。	HL230	3
三条一坊　三町	中・西ノ京職司町26	9/28～30	-0.61m、江戸後～末期の包含層。	HL226	2
三条一坊十三町	中・姉大宮町西側85	8/9	-0.05mまで現代盛土。	HL161	2
三条一坊十五町	中・大宮通御池上る市之町179番地	9/28・29、10/12	巡回時、工事終了。	HL227	2
三条二坊　六町	中・岩上通御池下る上巴町415番	8/3・4・17	-0.95mまで現代盛土。	HL151	2
三条二坊十四町	中・小川通御池下る壺屋町453番地	8/30・31、9/1・2・6	No.3；-1.0m、江戸末期の包含層。-1.2m、江戸後期の瓦溜。-1.5m、時期不明の包含層(平瓦)。No.4；-0.78m、室町末期の土壌(土師器皿・鍋、瀬戸灰釉鉢)。	HL189	2
三条二坊十四町	中・小川通御池下る壺屋町448　他	9/1・2・6～8・12・13・15	No.1；-0.56m、近世以降の包含層。No.2；-0.9mで褐色粘土の地山を切って桃山～江戸初期の土壌(天目椀、瓦質土器火鉢)。	HL191	2
三条二坊十六町	中・二条通西洞院西入西大黒町340番地、西洞院二条下る二条西洞院町655番地1	5/16・17・19・20・24・25・27	-1.6m、近世の包含層。-1.8m、室町の包含層(土師器皿)。	HL063	2
三条三坊　三町	中・三条通西洞院上る塩屋町～御池通西洞院下る三坊西洞院町　地先	6/17～29、7/1～27、8/1～23、9/8・12	No.3；-0.98m、時期不明の路面及び整地層。No.6；-0.29m、時期不明の路面。-0.34m、近世以降の包含層。-0.55m、江戸後～末期の路面(肥前染付、美濃系鉄釉皿)。-0.86m、時期不明の包含層(鉄製品釘)。	HL101	3
三条三坊　五町	中・室町通姉小路下る役行者町359-2　他	6/20・21・23	-0.1m、近世以降の包含層。	HL106	3
三条三坊十五町	中・烏丸通御池上る二条殿町542番、543番、車屋町通押小路下る塗師屋町331番3、332番、334番	8/3	-2.2m以下、暗褐色砂礫の地山。	HL152	3
三条四坊　一町	中・二条通高倉西入松屋町50番	8/12・18	-0.18m、江戸末の焼土層。-0.47m、江戸末の包含層。	HL163	3
三条四坊　六町	中・堺町通御池下る丸木材木町675-1、675-2	5/17～20・23～26・31、6/1・3	No.2；-2.25m、室町の包含層(土師器皿)。-2.83m、室町前期の包含層(土師器皿、不明土製品)。No.3；-2.65m、時期不明の落込(土師器甕)。-2.72m、弥生後期～鎌倉末期の包含層(弥生土器甕、土師器皿・鍋、瓦器)。No.4；-2.5mで鎌倉末期の落込(土師器皿、須恵器甕)と平安の土壌(緑釉陶器椀)。No.5；-1.4m、室町中期の包含層(土師器皿、瓦器椀)。-1.55m、室町の包含層(土師器皿)。No.6；-2.23m、室町中期の包含層(土師器皿)。No.7；-1.33m、室町の土壌(土師器皿、瓦器鍋)。	HL066	3
三条四坊　九町	中・二条通柳馬場東入晴明町656番	7/1・5	-1.47m、江戸初期の落込(土師器皿)。	HL120	3
三条四坊十二町	中・三条通柳馬場東入中之町1-2	4/5～8	-0.3m、江戸末期の包含層。	HL011	3
四条一坊　一町	中・壬生朱雀町1番地の先(C棟)	6/2～15	平安～鎌倉の湿地状堆積。本報告27ページ。	HL083	4
四条一坊　一町	中・壬生朱雀町1番地の先(B棟)	6/15～30、7/1～11	平安～鎌倉の湿地状堆積。本報告27ページ。	HL100	4
四条一坊　一町	中・壬生朱雀町1番地の先(A棟)	6/21～30、7/1～11	平安～鎌倉の湿地状堆積。本報告27ページ。	HL109	4

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
四条一坊 四町 四条一坊 九町	中・壬生猪熊ノ内町18-4の一部 中・神泉苑通三条下る今新在家西町15番地	8/23～25 7/6～8・11・12・14	平安後期の地層。本報告3ページ。 №1；-0.86m、江戸初期の包含層（土師器皿）。 №2；-0.5m、室町末期の包含層（土師器皿、輸入青磁碗、瓦）。№3；-1.6m以下、褐色砂礫の地山。	HL167 HL125	4 4
四条二坊 七町	中・岩上通六角下る岩上町751-1、751-3	12/12・13・15・19・20・21	№1；-0.7mで褐色微砂混粘土を検出。№2；-2.4m以下、湿地状堆積を検出。遺構、遺物は検出できず。	HL336	4
四条二坊十六町	中・油小路通三条下る三条油小路町171、169	4/8・11～13・15	№1；-1.25m、江戸初期の落込（土師器皿）。-1.45m、室町の落込（土師器皿）。-1.47m、緑釉の落込（土師器皿）。-1.5m以下、灰オリーブ色砂泥の地山。№2；-1.35m、江戸以降の包含層。-1.45mでオリーブ褐色粘土の地山を切って時期不明の落込。№3；-0.9m、室町後期の包含層（土師器皿）。-1.38mでにぶい黄褐色砂泥の地山を切って時期不明の落込。	HL014	4
四条二坊十六町	中・六角通西洞院西入本能寺町100、101	5/30・31、6/1・6・8・10	№2；-0.76m、平安中期の包含層（土師器皿）。-0.93m、時期不明の包含層（土師器）。№3；-1.2m、近世の包含層。	HL080	4
五条一坊 六町	中・壬生裏合町18-5、19-1	10/24～28	№1；-0.8m、江戸末期の包含層（肥前染付、京・信楽系施釉陶器）。-1.17m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。№2；-0.75m、江戸後期の包含層。-0.91m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。№4；-0.34m、江戸後期の包含層。	HL264	4
五条一坊 八町	中・壬生貴船町所町53-2、53-7	6/13・15	-1.2m以下、褐色砂泥の地山。	HL097	4
五条二坊 七町	下・猪熊通綾小路下る瀬戸屋町302番	7/25	-0.4m、近世以降の包含層。-0.7m、近世の包含層。	HL143	4
五条二坊 八町	下・猪熊通四条下る松本町256-1、261	5/27・30・31、6/1～3・6～8	№1；-0.87m、室町中期の落込（土師器皿・鍋）と室町前期の落込（土師器皿、須恵器甕、丸瓦）。-0.95m、時期不明の包含層（須恵器壺）。-1.53mで平安後期の包含層（土師器皿、緑釉陶器）を切って鎌倉末～室町初期の落込（土師器皿）。-1.64m、平安中期の包含層（土師器皿）。№2；-1.04mで鎌倉前期の包含層（土師器皿・甕）を切って鎌倉中～後期の落込（土師器皿、瓦器）。-1.24m、鎌倉前期の包含層（土師器皿）。№3；-1.04m、江戸の包含層（土師器皿、瓦器、肥前染付、不明土製品、石製品硯、鉄製品釘）。-1.2m、鎌倉の落込（土師器皿、輸入青磁）。№4；-0.62mで鎌倉中期の包含層（土師器皿、須恵器甕・壺）を切って時期不明のピット（土師器皿、平瓦）。-1.00m、平安後期の包含層（土師器皿、輸入青磁）。№5；-0.86m、平安後期の包含層（土師器皿・火舎、須恵器壺・鉢、灰釉陶器、白磁椀）。-1.28m以下、黄褐色粘土の地山。№6；-0.59m、平安後期の包含層（土師器皿、灰釉陶器壺）。-0.79m、平安中期の包含層（土師器皿）。-0.89m、平安前期の包含層（緑釉陶器椀、平瓦）。-0.99m以下、褐色粘土の地山。	HL079	4
五条三坊十三町	下・高辻通東洞院西入因幡堂町648、649	8/22・23・29～31、9/1・2・7	№1；-1.18mで近世の包含層を切って近世以降の瓦溜。№2；-1.89m、室町中期の包含層（土師器皿）。	HL175	5
五条三坊十三町 五条三坊十五町	下・東洞院通高辻下る稲荷町559番 下・烏丸通綾小路下る二帖半敷町651	11/11～30、12/8 10/18～21・24～27	-2.12m、時期不明の礎地状堆積。 №1；-0.6m、鎌倉中期の包含層（土師器皿、須恵器壺・甕）。№3；-1.35m、室町前期の包含層（土師器皿、須恵器甕）。-1.83m以下、黄褐色砂礫の地山。№4；-1.56m、室町初期～前期の土壙（土師器皿、瓦）。№5；-1.5m、江戸後期の包含層。	HL285 HL259	5 5

遺　跡　名	所　　在　　地	調査日	調　査　概　要	調査No.	図版
五条四坊　二町	下・綾小路通東洞院東入神明町242	10/11～13・17・19・21・24	-0.3mで焼土を含む暗褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	HL245	5
五条四坊　八町	下・相之町122	8/30・31、9/1	No.1；-0.96m、時期不明の包含層（土師器、土製品火客）。No.2；-0.6m、江戸末期の包含層。	HL188	5
五条四坊十三町	下・松原通鉄屋町西入石不動之町679	8/22・23・29	-1.63m、近世の包含層。-2.14m、平安中期の包含層（土師器皿）。	HL180	5
六条一坊　二町	下・中堂寺坊城町60番及び61番	4/1・6・7・11・26	-1.06m以下、褐色砂泥の地山。	HL001	4
六条一坊　七町	下・中堂寺壬生川町19-2、20-1、20-2	7/13～15	No.1；-0.85m、室町のピット（土師器皿、須恵器甕、瓦器鍋、焼締陶器擂鉢）。No.2；-0.55m、鎌倉～室町の包含層（輸入天目椀）。-0.9m以下、灰オリーブ色砂泥の地山。	HL133	4
六条一坊十一町	下・中堂寺前田町32番2、34番5	7/28	-3.3mまで現代盛土。	HL146	4
六条二坊　九町	下・醒ヶ井通松原下る篠屋町59	4/1・4	-0.46m、江戸の包含層。	HL004	4
六条二坊　十町	下・五条通油小路西入北側小泉町113	12/19～21・27	No.2；-1.8m以下、緑灰色砂礫の地山。	HL340	4
六条二坊十三町	下・東中筋通六条上る天使突抜四丁目471番地	8/26・29～31、9/1・2・6	No.1；-1.1m・-1.18m、鎌倉初期の包含層（土師器皿、瓦）2。-1.28m、平安末期の包含層（土師器皿、瓦）。No.2；-0.2m、江戸末期の包含層。No.3；-0.43m、江戸末期の包含層。-0.56m、江戸後期の包含層。	HL184	4
六条二坊十四町	下・油小路通五条下る中金仏町216番　他	4/15・18・27・28、5/10	No.2；-0.76m、江戸末期の包含層。No.3；-0.64m、江戸末期の包含層。	HL026	4
六条三坊十四町	下・東洞院通五条下る下万寿寺町500　他	12/12・13	-0m、江戸末期の包含層。	HL335	5
六条三坊十五町	下・万寿寺通烏丸東入大堀町497番地	6/10・13・17	-0.8m、近世の包含層。-1.1m、江戸の包含層。	HL094	5
六条四坊　一町	下・松原通東洞院東入本燈籠町4、高倉通松原下る樋ノ下町37-6	7/11～14・19～22・25～27・29	No.1；-1.13m、江戸中期の包含層。-1.87m以下、暗灰黄色砂礫の地山。No.2；-1.3m、中世の包含層（土師器皿、瓦器火舎）。No.3；-0.9m、鎌倉中期の包含層（土師器皿、瓦器羽釜）。No.4；-0.75m、鎌倉後期の包含層（土師器皿、瓦器釜、焼締陶器甕・擂鉢）。	HL129	5
六条四坊　七町	下・堺町通万寿寺下る俵屋町234	8/18・19・22・23	-1.09m、鎌倉の包含層（土師器皿）。-1.25m、時期不明の包含層（土師器）。	HL170	5
六条四坊十五町	下・鉄屋町通五条上る下鱗形町534-1	8/4・5・8・9	-1.23m、室町中期の包含層（土師器皿、瓦器羽釜・鍋）。	HL154	5
七条二坊　九町	下・油小路通六条下る西若松町269-1・2・6・7	8/4・5	-0.4m、江戸後期の包含層。	HL155	6
七条二坊十四町	下・油小路通正面下る玉本町188	12/1・5	-0.5m、江戸末期の包含層。	HL320	6
七条三坊　一町	下・若宮通旧花屋町上る西松屋町～若宮通六条下る若宮町　地先	6/6・10・17・21・23・24・28・30、7/5	No.2；-0.32m～-0.5m、時期不明の路面及び整地層（焼締陶器甕、鋳造関係品）4。No.4；-0.33m、時期不明の路面及び整地層。No.6；-0.48m、江戸後期の包含層。No.8；-0.83m、江戸後期の包含層。	HL089	7
七条三坊十三町	下・不明門通七条上る粉川町233、235　合併	10/19～21・24	No.2；-0.28m、焼土を含む近世の包含層。-0.86m、江戸初期の包含層（志野向付、輸入白磁椀）。No.3；-0.2m、江戸末期の包含層。	HL263	7
七条四坊　一町	下・花屋町通東洞院東入富田町～花屋町通柳馬場西入栄町　地先	6/23～30、7/7～29、8/1～18	No.1；-0.55m、室町後期の包含層（土師器皿）。No.4；-0.59m、時期不明の包含層（土師器皿）。No.5；-0.45m～-0.77m、時期不明の路面及び整地層5。-0.87m、時期不明の包含層（土師器皿）。	HL113	7
七条四坊　七町	下・上珠数屋町通柳馬場西入唐物町～上珠数屋町通河原町西入八軒町　地先	7/6～29、8/1～23	No.3；-0.8m～-0.85m、時期不明の路面及び整地層3。No.5；-0.8m、近世以降の包含層。	HL124	7
八条一坊　一町	下・観喜寺町　地内	10/11・13・14・17・18・25	-1.7mで褐灰色砂泥を検出。-2.1mで湿地状堆積の褐灰色泥土を検出。遺構、遺物は検出できず。	HL247	6
八条一坊十六町	下・大宮通木津屋橋上る上之町423-1	8/8・9	-1.7mまで現代盛土。	HL160	6
八条二坊　一町	下・七条通大宮東入大工町111番地	6/9・10・13・15	-0.56m、室町の包含層（土師器皿）。-1.08m、時期不明の湿地堆積（土師器、灰釉陶器）。	HL093	6
八条二坊　五町	南・西九条戒光寺町14-8	9/26・27	-1.1m、時期不明の包含層（土師器）。-1.4m、時期不明の包含層（土師器、瓦）。	HL220	6
八条二坊　七町	下・木津屋橋通大宮東入上之町～木津屋橋通西堀川西入川端町　地先	4/15・18・19・26、5/10・12・	No.2；-0.79m、平安の包含層（灰釉陶器）。No.3；-0.43m、時期不明の路面。No.6；-0.85m、鎌倉	HL027	6

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
		13・16・17・19・20・23・24	の包含層（瓦器皿）。-1.36m、平安後期の包含層（土師器皿）。No.8；-0.8m、平安の包含層（須恵器壺）。No.10；-0.95m、時期不明の結面。		
八条二坊十五町	下・木津屋橋通堀川東入油小路町～木津屋橋通西洞院西入南町　地先	5/9～31、6/2・3	No.10；-0.84m、時期不明の包含層（土師器）。No.11；-0.69m、平安の包含層（土師器皿、須恵器壺）。	HL055	6
八条三坊十六町	下・東洞院通七条下る塩小路町517	10/14・17	-0.64m、室町中期の包含層（土師器皿、瓦器椀）。	HL255	7
八条四坊　二町	下・東塩小路向畑町20番7・8　他	9/21～30、10/14	-1.58m以下、褐色砂礫の地山。	HL217	7
八条四坊　七町	下・小堀荷町79-3　他	6/6・7	-1.1m、近世の包含層。	HL088	7
九条一坊十五町	南・九条町554	8/26	-0.18m、江戸末期～明治の東西溝（京信楽系鉄釉仏飯器、肥前染付、色絵磁器）。	HL185	6
九条一坊十六町	南・大宮通八条下る九条町411-3	5/23	-0.35m、江戸の包含層（土師器皿、平椀Ⅰ）。	HL071	6
九条三坊　一町	南・西九条院町16、16-2	12/12	No.1；-0.67m、鎌倉後期の包含層（土師器皿）。No.2；-0.82m以下、灰黄褐色砂礫の地山。No.2；-0.85m以下、灰黄褐色砂礫の地山。	HL331	7
九条三坊　十町	南・東九条殿田町2	9/6～9・12	-1.7m以下、にぶい黄色粗砂の地山。	HL194	7
九条三坊十一町	南・東九条北烏丸町　地先	8/11～29	-0.45m、銚山の包含層（土師器皿、鉄釉天目椀）。	HL165	7
九条三坊十二町	南・東九条烏丸町11-3、11-7	7/11・12・14・15・19・21	-0.38mで時期不明の包含層（土師器皿・鍋）。-0.58m以下、褐色砂泥の地山。	HL130	7
九条四坊　二町	南・東九条東山王町27　他（京都市立山王小学校）	11/2・9・16	-0.9mで黄褐色砂泥を検出するが、遺構、遺物は検出できず。	HL273	7
九条四坊　三町	南・東九条南山王町11、12、13-3	4/14・15	-0.85m、中世の包含層（土師器皿・壺、須恵器壺、焼締陶器壺）。	HL022	7
九条四坊十二町	南・東九条西岩本町～東九条柳下町　地先（一般国道24号）	8/22・30、9/1～27	No.2；-0.62m、江戸前期の包含層（美濃天目椀、須恵器）。	HL181	7
九条四坊十三町	南、下・九条通両側、河原町通～猪川　他地内	12/26	遺構時、工事終了。	HL345	7

平安京右京（HR）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
北辺三坊　八町	北・大将軍坂田町7番14、7番15	4/27・28、5/10	-0.8m以下、明褐色粘土の地山。	HR047	8
一条三坊　二町	中・西ノ京御輿岡町8-1	9/27・29	No.1；-0.5m、近世の包含層。-0.7m、時期不明の包含層（土師器）。-1.05m以下、黒色砂泥の地山。No.2；-0.17m、近世以降の包含層。-0.66m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。	HR225	8
一条三坊　五町	中・西ノ京伯楽町14番32、14番33の各一部	11/16-21	No.1；-0.2m以下、黄褐色粘土の地山。	HR288	8
二条二坊十四町	中・西ノ京北畠井町51	10/12～24	撹乱探-1.3mまで現代盛土。	HR250	9
二条二坊十六町	中・西ノ京円町7番地	6/15・17・20・22・23、8/2	No.1；-0.86m、時期不明の包含層（土師器）。No.2；-0.8m以下、灰黄褐色粗砂の地山。	HR103	9
二条二坊十六町	中・西ノ京円町5	9/12～14	No.1；-1.35m以下、灰黄褐色砂礫の地山。No.2；-1.12m以下、褐灰色粘土の地山。	HR200	9
二条三坊　四町	中・西ノ京南壺井町29番	10/19・21・24	-1.1mまで現代盛土。	HR262	8
二条四坊十二町	右・太秦安井二条南町18-1の一部	9/30	-0.65m以下、灰黄褐色微砂の地山。	HR229	8
三条二坊　二町	中・西ノ京朝日町63番地	11/10・11・14	No.1；-0.38mでにぶい黄色粘土の地山を切って平安中期のピット（土師器皿、須恵器杯）2。No.2；BM-0.4mでにぶい黄色粘土の地山を切って平安中期のピット（土師器皿・壺、黒色土器椀）2。	HR283	9
三条二坊　三町	中・西ノ京樋口町35、36-31、36-32	4/21・26	-1.2mまで現代盛土。	HR032	9
三条二坊　三町	中・西ノ京樋口町11、12、13、34、22	8/23	No.1；-1.05mで平安前期の包含層（土師器皿、須恵器壺・壺、緑釉陶器椀、灰釉陶器椀）を切って平安中期の東西溝（土師器皿、須恵器壺・鉢、緑釉陶器椀）。-1.35m以下、にぶい黄橙色粘土の地山。No.2；-1.0m、平安末期の掘地状の包含層（土師器皿・壺、須恵器壺・鉢、緑釉陶器椀、灰釉陶器椀・壺）。-1.35m以下、緑灰色砂礫の地山。	HR182	9

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
三条二坊十二町	中・西ノ京三条坊町14番1 他	6/20～23	-0.8m、時期不明の包含層（須恵器甕）。-0.88m、時期不明のピット（土師器）。	HR105	9
三条二坊十三町	中・西ノ京下合町～西ノ京三条坊町	10/24～28、11/1～22	-0.99m、平安前～中期の包含層（須恵器鉢、平瓦）。-1.19mで砂礫層を検出。佐井川の堆積層。	HR267	8・9
三条四坊 一町	右・太秦安井水戸田町13-1	11/25	№1；-0.2m以下、にぶい黄橙色砂礫の地山。№2；-0.45m以下、明黄褐色粘土の地山。	HR305	8
三条四坊十三町	右・太秦安井松本町22-2の一部	4/27	-0.25mまで現代盛土。	HR044	8
四条一坊 六町	中・壬生花井町3番地	10/18	-0.38mまで現代盛土。	HR261	11
四条一坊十六町	中・壬生中川町 地先	4/4～27	-0.64m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。	HR010	11
四条二坊十一町	右・西院東淳和院町24-10 他	9/26・27・29、11/25・28	№2；-0.4m以下、にぶい黄橙色砂礫の地山。№3；-1.52m、時期不明の盛地状堆積（平瓦）。-2.1m以下、灰白色砂礫の地山。	HR218	11
五条二坊 二町	中・壬生上路ノ内町～壬生東上路ノ内町 地先	10/24～27・31、11/1	-0.15mで近代以降の包含層。-0.4m以下、オリーブ褐色砂礫の地山。	HR269	11
五条二坊十二町	右・西院平町31番地、31番地の1	5/9・10	-0.3mまで現代盛土。	HR057	11
五条三坊 九町	右・西院坤町91の一部	10/24～27	-0.78m、室町末期の包含層（輸入青磁椀）。	HR266	10
五条四坊 三町	右・西院日照町74	9/16	-1.0m、時期不明の包含層（土師器）。-1.7mで灰オリーブ色泥土の地山を切って時期不明の落込（土師器）。	HR210	10
六条四坊 八町	右・西院月双町 地先	8/5・8・9・10	-0.71m、時期不明の包含層（土師器）。	HR156	10
五条四坊十一町	右・西院安塚町83	6/6	-0.75m、耕作土。	HR091	10
五条四坊十一町	右・西院安塚町85-2	11/14	-0.15m、耕作土。	HR284	10
六条二坊 九町	右・西院高田町30番2	8/8～11・18	№1；-1.0m、時期不明の包含層（不明土器）。№2；-0.25m、室町末の包含層（土師器皿、瀬戸鉄釉）。-0.4m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。№3；-0.4m、平安前期の包含層（須恵器甕、緑釉陶器甕、灰釉陶器甕、不明土器）。-0.68m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。	HR159	11
六条二坊十二町	右・西院東中水町13番1	10/4・5・7・11	-0.53m以下、オリーブ灰色砂礫の地山。	HR234	11
六条四坊 五町	右・西京極東大丸町26	6/2・3・6	-0.6m以下、オリーブ褐色砂礫の地山。	HR085	10
六条四坊 六町	右・西京極東大丸町22	6/13～15・17・23・28・29	-0.7mで盛地状の褐灰色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	HR095	10
六条四坊 六町	右・西京極畔勝町3	8/29	-0.64mまで現代盛土。	HR187	10
七条一坊 七町	下・七本松通関側 花屋町通～七条通 他地内	4/6～26、5/13～20	-1.36mまで現代盛土。	HR012	13
七条一坊十二町	下・西七条北東野町110番、111番	6/23	-0.35mまで現代盛土。	HR114	13
七条二坊 二町	下・西七条東石ヶ坪町 地先	6/6～8・10・17・20・21・23・28・30、7/7・14・19・20・22	№1；-0.4m、耕作土。-0.55m以下、灰オリーブ色砂泥の地山。№8；-0.9mで黄褐色砂礫を検出。№12；-0.38mで盛地状の灰黄褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	HR090	13
七条二坊 五町	下・西七条北衣田町～西七条市部町 地先	4/21・26、5/10～31、6/2	№2；-0.29m以下、灰黄褐色礫砂の地山。№8；-0.43m、耕作土。-0.5m、時期不明の包含層（土師器）。	HR035	13
七条二坊 七町	下・西七条西石ヶ坪町73-1	6/15・17・20・21・23	№1；-0.4m、時期不明の包含層（土師器、須恵器甕）。№3；-0.3mに下、褐色細砂の地山。	HR102	13
七条二坊十五町	下・七条御所ノ内北町～西七条掛越町 地先	10/4～28、11/1～28、12/8	№2；-0.54m、時期不明の包含層（須恵器）。-1.35mで褐色砂礫を検出。佐井川の堆積層。№5；-0.5m、時期不明の包含層（平瓦）。№12；-0.33m以下、黄褐色粘土の地山。№16；-1.3mでにぶい黄橙色粗砂。-1.5mで褐色砂礫を検出。共に佐井川の堆積層。	HR235	12・13
七条三坊 三町	下・西七条名倉町27	5/25・26	-1.3m、時期不明の盛地状堆積（土師器）。	HR076	12
七条四坊 二町	右・西京極町ノ坪町7番2	12/12	-0.18mまで現代盛土。	HR333	12
七条四坊 八町	右・西京極畔勝町69番1の一部	9/9・12	№1；-0.55m、耕作土。-0.8mでオリーブ褐色砂礫を検出。№2；-0.5mで耕作土。-0.8mで黄褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	HR199	12
七条四坊 十町	右・西京極東池田町27	11/14～16	№1；-0.18m以下、黄灰色砂礫の地山。№3；-0.62m以下、にぶい黄褐色粘土質砂泥の地山。	HR286	12
七条四坊十六町	右・西京極西大丸町 地先	4/13～26	-1.29mで時期不明の包含層（土師器）。	HR020	12

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
八条二坊　八町	下・西七条南西野町76番及び77番の一部	10/12・13	-0.12mで灰黄褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	HR249	13
八条二坊　九町	下・西七条南衣田町31	10/24	-0.5m、時期不明の包含層。-0.95m以下、オリーブ褐色細砂の地山。	HR268	13
八条二坊十二町	下・七条御所ノ内本町89-3の一部	8/22	-0.3mまで現代盛土。	HR174	13
八条三坊　一町	下・西七条南月読町　地先	4/18～26、5/10～26	-0.52mで灰黄褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	HR029	12
八条四坊　九町	右・西京極南方町70-1　他	9/7	-0.76m、室町末期の包含層（土師器皿）。	HR195	12
八条四坊十四町	右・葛野中通、花屋町通～八条通	9/13～11/15	-1.1m以下、黄褐色砂泥の地山。	HR204	12
八条四坊十六町	右・西京極西川町39-7　他数筆	8/25	-1.45m、耕作土。-1.9mで氾濫堆積の褐色砂礫を検出。遺構、遺物は検出できず。	HR183	12
九条一坊　七町	南・唐橋井圃町47-3	5/9	-0.45m、耕作土。	HR056	13
九条一坊　十町	南・唐橋門脇町36-5	11/29	-0.33m、平安末期の包含層（土師器皿、須恵器杯、瓦）。	HR311	13
九条一坊十一町	南・唐橋花園町16の一部	4/18・19	-0.06m、耕作土。	HR028	13
九条一坊十四町	南・唐橋西寺町29番2	6/21・22	-0.3m、時期不明の包含層（土師器、不明土製品）。	HR110	13
九条一坊十六町	下・梅小路西中町　地内	5/11～12/26	№2；-1.9m以下、オリーブ褐色砂礫の地山。	HR060	13
九条二坊　九町	下・七条御所ノ内南町95-3	5/25～27・30・31	-0.89m、時期不明の包含層（土師器）。	HR075	13
九条二坊　九町	下・七条御所ノ内南町80番	7/7・8・11	-0.7m、近世以降の包含層。	HR126	13
九条二坊　九町	下・七条御所ノ内南町100-1	10/28・31、11/1・7	№2；-1.05m、時期不明の包含層（土師器、須恵器）№3；-0.85m、古墳の包含層（土師器、須恵器蓋）。	HR270	13
九条二坊十六町	下・七条御所ノ内南町48、49	4/4～6	-0.54m、江戸以降の包含層。-0.64m、中世の包含層（瓦質土器奈良火鉢）。-0.77m、時期不明の包含層（土師器）。	HR005	13

洛北地区（RH）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
岩倉忠在地遺跡	左・岩倉大鷺町～岩倉忠在地町　地先	11/16～18・21・22	№2；-0.43m、時期不明の湿地状堆積。遺構、遺物は検出できず。	RH289	22-6
上賀茂中山町遺跡	北・上賀茂中山町16番地	12/1・2	-0.26m以下、明黄褐色粘土の地山。	RH319	22-4
角社瓦窯跡	北・西賀茂角社町137、143-1　他	8/19	-0.35mまで現代盛土。	RH173	22-3
植物園北遺跡	北・上賀茂烏帽子ヶ垣内町1　地内（京都市立上賀茂小学校）	12/2・7	-1.3mまで現代盛土。	RH322	21-1
植物園北遺跡	北・上賀茂榊田町2-3	6/6	-0.33m以下、褐色砂泥の地山。	RH087	21-1
植物園北遺跡	左・下鴨水口町57-1	11/4・7	時期不明の竪穴住居。本報告25ページ。	RH276	21-1
植物園北遺跡	北・上賀茂岩ヶ垣町102-1、102-2番地	9/14～16	№1；-0.55m以下、褐色砂礫の地山。№3；-0.3m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。	RH206	21-1
植物園北遺跡	北・上賀茂桜井町52	11/17・18・21	№1；-0.31m、時期不明の包含層。-0.43m以下、褐色砂泥の地山。	RH290	21-1
御土居跡	北・桑野郷ノ上町36　他（京都市立桜野小学校）	11/21	-1.1mまで現代盛土。	RH302	23-1
御土居跡	北・小山北上総町31番地	12/13・14	-0.53mでにぶい黄褐色砂礫の流れ堆積を検出。遺構、遺物は検出できず。	RH337	16
尊重寺跡	上・五辻通浄福寺西入る一色町12、14	7/25・27・29、8/1	-0.53m、近世以降の包含層。-0.73m、江戸初期の包含層（土師器皿）。-1.15m、時期不明の包含層（土師器）。-1.25m以下、黄褐色砂泥の地山。	RH142	16
上京遺跡	上・寺之内通堀川東入百々町543、542	9/14	-1.6mでにぶい黄褐色砂礫の地山を切って近世以降の石組の井戸。	RH205	16
上京遺跡	上・大宮通寺之内半丁下る東入西北小路町450番	7/7	-0.35mまで現代盛土。	RH127	16
上京遺跡	上・石薬師町　地内	12/1	-0.65mまで現代盛土。	RH318	16
相国寺旧境内	上・室町通寺之内上る三丁目上柳原町127	6/21	-0.3m、時期不明の包含層。	RH112	16
相国寺旧境内	上・下之町通烏丸東入相国寺門前町　地先	4/4～28、5/10～27、6/1～13	№11；-0.4m、時期不明の包含層（埠）。№13；-0.2m、時期不明の包含層（土師器）。-0.45m、時期不明の包含層（土師器）。№19；-1.3m、室町の包含層（土師器皿、埠）。	RH009	16

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
室町殿跡	上・室町通上立売下る裏築地町80	8/31、9/1	-0.6m、江戸前期の包含層（土師器皿、焼締陶器丹波壺）。	RH190	16
北野遺跡	北・平野宮本町19-6	8/8～12	-1.9mまで現代盛土。	RH158	24-2

太秦地区（UZ）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
御堂ヶ池古墳群・梅ヶ畑遺跡・梅ヶ畑祭祀遺跡	右・梅ヶ畑向ノ地町　地先	6/20・21・24・28・29、7/1・5・8・14	No.2；-0.92m以下、赤褐色砂泥の地山。No.3；-1.2m以下、黄褐色泥砂の地山。	UZ108	24-1
常盤柏ノ木古墳群	右・常盤下田町2-5	4/8	遥回時、工事終了。	UZ013	21-2
常盤柏ノ木古墳群	右・常盤下田町2-23	6/27	遥回時、工事終了。	UZ119	21-2
太秦馬塚町遺跡	右・太秦乾町13-7	7/20・22・25	-0.07m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。	UZ134	21-2
常盤東ノ町古墳群・常盤仲之町遺跡	右・常盤東ノ町16-11	8/26	-0.15mまで現代盛土。	UZ186	21-2
多藪町遺跡	右・太秦石垣町39-1の一部	10/7	-0.18m、江戸末期の包含層。	UZ243	21-2

北白川地区（KS）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
大原延暦寺別院境内	左・大原勝林院町637-1	9/26、10/3	-0.1mでオリーブ褐色砂泥、-0.22mで黄褐色細砂を検出。遺構、遺物は検出できず。	KS222	23-3
大原延暦寺別院境内	左・大原勝林院町（後鳥羽天皇陵）	7/12	-0.27m、にぶい黄色微及び細砂の地山。	KS132	23-3
一乗寺向畑町遺跡・向畑古墳	左・一乗寺向畑町17-1、19	4/4・5	-0.2mまで現代盛土。	KS006	23-4
北白川廃寺跡	左・北白川大堂町16番地	7/19	BM+0.5m～+0.3mまで現代盛土。	KS139	23-6
北白川廃寺跡	左・北白川大堂町28	4/27	-0.35m、時期不明の包含層（土師器）。	KS046	23-6
小倉町別当町遺跡	左・北白川下別当町	8/22・26・29	No.1；-1.3m、時期不明のピット。No.2；-0.45m、近世の包含層。	KS179	23-6
吉田泉殿町遺跡	左・吉田中阿達町、牛ノ宮町	4/21～28、5/10～24、6/1、7/15・19、12/26	No.1；-0.8m・-1.2mで褐色系の泥砂を2層検出。No.2；-1.3mで灰黄褐色砂泥を検出。いずれも遺構・遺物の検出ができず。	KS33	17
吉田二本松町遺跡・吉田上大路町遺跡	左・吉田二本松町15	9/6・20～22・26・27・29	No.1；-0.3mでにぶい黄色細砂の地山を切って時期不明の土壌（土師器）。No.2；-0.65m、室町前期の包含層（土師器皿、瓦器羽釜、焼締陶器壺）。	KS209	17
吉田本町遺跡・吉田二本松町遺跡・吉田上大路町遺跡	左・東山一条交差点～東一条通　地内	4/21～28、5/10～24、6/1、7/11～19	No.1；-0.24mで時期不明の路面を切って江戸後期の土壌（染付肥前磁器輪花鉢）。No.2；-1.25m以下、黄橙色粗砂の地山。	KS034	17
吉田上大路町遺跡・白河街区跡	左・吉田近衛町2番1、3番2	10/11	-0.8m、平安後期～鎌倉の落込（土師器、須恵器壺）。	KS248	17
岡崎遺跡・得長寿院跡	左・岡崎徳成町20番2	9/12・13	-0.83m、江戸末期の包含層。	KS203	17
岡崎遺跡・法勝寺跡	左・岡崎天王町31-2の一部	11/30、12/1	-0.22mまで現代盛土。	KS325	17
岡崎遺跡・法勝寺跡	左・二条通、岡崎通～白川通　他　地内	7/8・12・14・19・22・25・27	No.3；-0.62m・-0.93m、平安後期の遺物を混入する包含層（丸・平瓦）2。-1.05m、平安後期～明治の包含層（蓮華文軒丸瓦、鉄釉壺、京焼磁器）。No.4；-1.25m、平安後期の包含層（土師器皿）。	KS128	17
岡崎遺跡・成勝寺跡・円勝寺跡	左・岡崎円勝寺町124	5/9	-0.6m、江戸末期の包含層。	KS053	17
岡崎遺跡・円勝寺跡	左・岡崎円勝寺町124	11/24・25・28・30、12/1・8	No.2；-0.8m、近代の包含層。-1.4m、時期不明の整地層。	KS304	17
岡崎遺跡・円勝寺跡・白河街区跡	左・岡崎円勝寺町124	6/21・24、7/11・13～15・19・25	-0.28mでオリーブ灰色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	KS111	17

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
岡崎遺跡・白河街区跡	左・岡崎徳成町26番4	8/10・11	-0.6m、時期不明の包含層（土師器）。	KS164	17
白河北殿跡	左・聖護院川原町11	7/28	-0.4まで現代盛土。	KS147	17
白河北殿跡	左・聖護院川原町12-22	12/7	-0.2まで現代盛土。	KS326	17
白河北殿跡	左・新道上る東丸太町30-1	5/26	-0.05m、近世以降の包含層。	KS078	17
白河南殿跡	左・石原町279番地の1、279番地の5	12/2・5	-0.83m、江戸末期の包含層。-1.23m、平安末期の整地層（土師器皿）を切って鎌倉前期のピット（土師器皿、軒丸巴文瓦、輸入陶器）。	KS321	17
白河街区跡	左・黒谷町～岡崎東福ノ川町　地先	8/11・12、12/26	№2；-0.6m以下、明黄褐色粘土の地山。	KS166	17
白河街区跡	左・丸太町通川端東入東丸太町17番地	12/20	遠回時工事終了。	KS342	17
白河街区跡	左・新富小路通仁王門下る鐵州寺町202、203	7/25～27	-0.55m以下、氾濫堆積の細砂、砂礫層を検出。遺構、遺物は検出できず。	KS144	17
白河街区跡・神楽岡城跡	左・吉田下大路町58-5	7/29	-0.9mまで現代盛土。	KS148	17

洛東地区（RT）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
祇園遺跡	東・四条通大和大路東入ル祇園町北側347番41号	9/26・27	-0.32m、近世の包含層。-1.1m、鎌倉中期の包含層（土師器皿）。-1.2m、鎌倉前期の包含層（土師器皿）。	RT219	23-5
名勝円山公園・知恩院境内	東・林下町～丸山町　地内	8/18～31、9/1～30	№1；-1.05m以下、明黄褐色砂泥の地山。№2；-0.96m、鎌倉～室町の包含層（土師器皿）。№3；-0.2m、時期不明の落込。№6；-0.95m、近世の包含層。	RT169	23-5
六波羅政庁跡	東・渋谷通本町東入四丁目鐘鋳町413番地	10/14・17～19・21・24	-1.9mで湿地状堆積の灰色粘土を検出。遺構、遺物は検出できず。	RT253	18
法住寺殿跡・六波羅政庁跡	東・本町通五条下る新六丁目206番地2	5/23～26	-0.5m、近世の包含層。	RT068	18
法住寺殿跡・六波羅政庁跡	東・茶屋町527	9/16	-0.2mまで現代盛土。	RT211	18
法住寺殿跡	東・三十三間堂廻り町655	4/27・28、5/10・11	-0.2m、江戸後期の包含層（土師器皿、丸瓦）。-0.68m以下、にぶい黄褐色泥砂の地山。	RT045	18
妙法院境内	東・大仏馬町通伏見街道東入五丁目常盤町474-7	10/17～19	-0.2m以下、灰黄褐色砂泥の地山。	RT258	18
法性寺跡	東・本町十七丁目338番地	11/29、12/1・8・12	-0.66m、鎌倉中期の土壙（土師器皿）。-1.66m、平安末期の土壙（土師器皿）。	RT310	18
法性寺跡	東・福稲上高松町11番地	10/14	-1.25m、近世以降の包含層。-1.65m、近世の包含層（土師器）。-3.0m以下、にぶい黄橙色砂泥の地山。	RT254	18
法性寺跡	東・本町十五丁目778-2・11・36	10/6・7・11・13	-0.6m以下、明褐灰色粘土の地山。	RT242	18
法性寺跡	伏・深草正覚町　地先（鳥羽街道団地）	6/15・17	遠回時、工事終了。	RT104	18
法性寺跡・鳥辺野	東・今熊野本多山町1番地、今熊野南谷町16-21　他	4/1・4・5	-0.1m以下、灰白色粘土の地山。	RT003	18
山科本願寺跡	山・西野山階町30	10/14～31、11/1～15	-0.15m、山科本願寺の土塁。発掘調査済地点。『京都市内遺跡発掘調査報告　平成17年度』に報告。	RT252	22-2
山科本願寺南殿跡	山・音羽乙出町9-73	5/10	-0.25mまで現代盛土。	RT059	23-7
山科本願寺南殿跡	山・音羽乙出町9-3	5/17	-0.42mまで現代盛土。	RT065	23-7
大塚遺跡	山・大塚野溝町86-2	8/3・4	-1.4mまで現代盛土。	RT150	23-7
中臣遺跡・中臣十三塚	山・西野山中臣町44-47	12/5・8	-0.81m以下、暗褐色砂泥の地山。	RT323	22-1
中臣遺跡・中臣十三塚	山・西野山中臣町44（7号地）	11/29	-0.65m以下、暗褐色泥砂の地山。	RT313	22-1
中臣遺跡・中臣十三塚	山・西野山中臣町44（6号地）	11/29	-0.7m以下、暗褐色泥砂の地山。	RT315	22-1
中臣遺跡・中臣十三塚	山・西野山中臣町44（5号地）	11/29	-0.9m以下、暗褐色泥砂の地山。	RT314	22-1

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
中臣遺跡・中臣十三塚	山・西野山中臣町 地先	9/14	-0.6mで褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	RT207	22-1
中臣遺跡・中臣十三塚	山・西野山中臣町44（1号地）	12/15	-0.5m以下、褐色砂泥の地山。	RT339	22-1
中臣遺跡	山・東野森脚町2-39、2-40	5/24	-1.1mまで現代盛土。	RT073	22-1
中臣遺跡	山・東野舞台町97-34（1号地）	5/17	遥回時、工事終了。	RT067	22-1
中臣遺跡	山・東野森脚町2-21、2-16、2-15	11/2	-0.36mまで現代盛土。	RT274	22-1
中臣遺跡	山・西野山中臣町44（4号地）	11/17	-0.6mまで現代盛土。	RT292	22-1
中臣遺跡	山・西野山中臣町44（3号地）	11/17	-0.35mまで現代盛土。	RT291	22-1
中臣遺跡	山・検出番所ヶ口町38-5	12/12	-0.8m・-0.92m、時期不明の包含層２。	RT332	22-1
中臣遺跡	山・鯖寄西金ヶ崎200、201-4	5/23	-0.32mまで現代盛土。	RT070	22-1
中臣遺跡	山・鯖寄西金ヶ崎201-1、201-2、201-3	11/29・30	-0.3mまで現代盛土。	RT316	22-1
中臣遺跡	山・鯖寄西金ヶ崎249-3	7/20	-0.91m以下、褐色砂泥の地山。	RT141	22-1

鳥羽地区（TB）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
鳥羽離宮跡	伏・竹田西内畑町 地先	6/14	-1.6m、耕作土。	TB099	19
鳥羽離宮跡・鳥羽遊跡・竹田城跡	伏・竹田中内畑町43の一部	12/19・20	№１；-0.63m、平安の包含層（丸瓦）。№２；-0.4m、時期不明の包含層。	TB341	19
鳥羽離宮跡	伏・竹田田中宮町47-2	8/5	-0.24mまで現代盛土。	TB157	19
鳥羽離宮跡	伏・竹田田中宮町47-7（4号地）	9/12	-0.35mまで現代盛土。	TB202	19
鳥羽離宮跡	伏・竹田田中宮町47-9（2号地）	10/5・6	-0.35mまで現代盛土。	TB238	19
鳥羽離宮跡	伏・竹田田中宮町47-2の一部（1号地）	6/27	-0.23mまで現代盛土。	TB118	19
鳥羽離宮跡	伏・竹田田中宮町47-6（3号地）	4/12	-0.15mまで現代盛土。	TB018	19
鳥羽離宮跡	伏・竹田田中宮町47-5（2号地）	4/12	-0.15mまで現代盛土。	TB017	19
鳥羽離宮跡	伏・竹田田中宮町地先～竹田静善提院町地先	5/6・9・10	-0.67mで湿地状堆積の灰色粘土を検出。遺構、遺物は検出できず。	TB048	19
鳥羽離宮跡	伏・竹田田中宮町47-4（1号地）	10/5・6	遥回時、工事終了。	TB239	19
鳥羽離宮跡	伏・中島河原田町1番13	4/25	-2.1mまで現代盛土。	TB038	19
鳥羽離宮跡	伏・中島河原田町4-48	10/5・6	-0.7mまで現代盛土。	TB237	19
鳥羽離宮跡	伏・中島河原田町4-48	10/5・6	-0.77mまで現代盛土。	TB236	19
下鳥羽遺跡	伏・下鳥羽西芹川町41番1	7/19	-1.5mで湿地状堆積の暗褐灰色泥土を検出。-1.86mで暗赤灰色細砂を検出。遺構、遺物は検出できず。	TB138	19
下鳥羽遺跡	伏・下鳥羽西芹川町44、45番地	6/13～15、8/9	-0.64m以下、灰オリーブ色粘土の地山。	TB096	19
下鳥羽遺跡	伏・下鳥羽西芹川町74-2	4/11～15	№１；-0.64m以下、黒褐色砂泥の地山。№２；-0.6m、弥生後期の溝（弥生土器愛）。-0.85m以下、黒褐色砂泥の地山。事前に試掘調査を行い『京都市内遺跡試掘調査報告 平成17年度』に報告。	TB016	19
久我殿遺跡	伏・久我御旅町～久我本町 地先	7/5～9/15	-0.7m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。	TB123	25-2
木津川河床遺跡	伏・淀生津	9/18・21	遥回時、工事終了。	TB208	25-8

伏見・醍醐地区（FD）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
伏見城跡	伏・桃山町丹下30、41、43-1、46、46-10、桃山最上町31	11/29	-0.2mまで現代盛土。	FD312	14
伏見城跡	伏・桃山長岡越中北町9-1、10、19、20、21-1	9/6・8・9・12	BM+1.0m～+0.5mまで現代盛土。	FD193	14
伏見城跡	伏・両替町12丁目215-1の一部、216-2、217-2	11/9・10	-0.6m、江戸の包含層。	FD282	14
伏見城跡	伏・下板橋590番地の一部	6/13	-0.25mまで現代盛土。	FD098	14

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
伏見城跡	伏・京町六丁目71-1、71-4	10/24・31、11/2・7・8	№2；-1.3mで褐色砂泥の地山を切って江戸の落込（平瓦）。№3；-0.47m、江戸末期の包含層（土師器皿）。-0.6m、江戸後～末期の包含層（土師器皿、瓦器無紋椀、銅製品）。-0.85m、時期不明のピット。	FD265	14
伏見城跡	伏・土橋町344番2	11/18・21	-0.4m、時期不明の焼土を含む黒色泥土を検出。遺構、遺物は検出できず。	FD297	14
伏見城跡	伏・御屋町178、180、197-4	8/22・29	-2.2mまで現代盛土。	FD178	14
伏見城跡	伏・瀬戸物町719	10/3・4・7・11・13	№1；-0.6m、江戸時代後期以降の包含層。-0.77m、江戸時代後期の包含層（青磁染付椀）。-1.8m以下、黄色砂泥の地山。№2；-0.62m、近世以降の包含層。-0.94m以下、褐色砂泥の地山。	FD231	14
伏見城跡	伏・納屋町122番、151番7	8/17～19	-1.3mまで現代盛土。	FD168	14
伏見城跡	伏・濵岐町159-4・5、158-3・5	11/7・9	-0.4m以下、黄褐色砂礫の地山。	FD277	14
伏見城跡	伏・京町二丁目225番1・2、227番2	11/8・9・10	-0.42m、時期不明の包含層（土師器）。-1.0m以下、灰褐色砂礫の地山。	FD278	14
伏見城跡	伏・深草大亀谷万帖敷町418	5/30・31、6/3	-0.6mまで現代盛土。	FD081	15
伏見城跡	伏・桃山町大蔵　地内	5/31	-0.5m、時期不明の溝。-2.5m以下、オリーブ黄色粘砂の地山。	FD082	15
伏見城跡	伏・深草大亀谷安信町49-1、49-2、49-3、49-4	8/19	-0.13m以下、オリーブ色砂泥の地山。	FD172	15
伏見城跡	伏・桃山町伊波37番地、30-10番地、118番地、29-3番地	9/12・13	-1.8mまで現代盛土。	FD201	15
向島城跡	伏・向島庚申町117番地	4/8・11・18	-0.4mまで現代盛土。	FD015	25-7

長岡京地区（NG）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
左京北辺四坊十四町	南・久世築山町377-2	7/15・19	-0.8mで湿地状堆積の灰色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	NG135	25-4
左京一条三坊十四町・東土川遺跡	南・久世東土川町265番地	11/4・7	-0.63m、弥生中期の包含層（弥生土器壺）。-0.86m、時期不明の包含層（石製品）。-1.1m以下、暗褐色砂礫の地山。	NG275	20
左京一条三坊十六町	南・久世大藪町495-7	4/22・25・26	-1.0m、耕作土。-1.1mで褐色粘土を検出。遺構、遺物は検出できず。	NG036	20
左京三条三坊十町	南・久我西出町3-128	4/25・26	-0.6m、耕作土。-0.7mで灰色粘土を検出。遺構、遺物は検出できず。	NG039	20
左京五条四坊十六町・長黒遺跡	南・羽束師志水町126-3	12/28	-0.7mまで現代盛土。	NG348	20
左京六条三坊十四町	南・羽束師古川町578-3	10/31、11/2・4	-1.55mまで現代盛土。	NG272	25-6
右京北辺四坊五町・上里北ノ町遺跡	西・大原野上里北ノ町～大原野上里南ノ町地先	10/11～13・17・19・21・25・27・31、11/2・10	№1；-0.8m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。№2；-0.25m以下、明黄褐色細砂の地山。№7；-0.89m以下、黄褐色粘土の地山。	NG246	25-5

南・桂地区（MK）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
松尾十三塚古墳群	西・松室迫上ゲ町11番3	7/11	-0.3mまで現代盛土。	MK131	24-5
樫原遺跡	西・樫原畔ノ海道1-108　他	7/15・19・21	-0.5mで湿地状堆積の緑灰色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	MK137	24-6
下津林遺跡	西・下津林六反田1-43	12/7・8	-1.0m以下、灰色砂礫の地山。	MK328	24-8
福西古墳群	西・大枝東長町1-538	5/9・10	-3.1m以下、褐色粘土の地山。	MK051	24-7
蔵王堂境内	南・久世上久世町34-2、35の一部	10/12・13・17	-0.22m以下、褐色泥砂の地山。	MK251	25-1
上久世遺跡	南・久世上久世町332-2	5/24	遥囲時、工事終了。	MK072	25-1
中久世遺跡	南・久世中久世町4丁目12番1	4/4～15	解削探-0.6mまで現代盛土。	MK008	25-3

報告書抄録

ふりがな	きょうとしないいせきはっくつちょうさほうこく
書名	京都市内遺跡発掘調査報告　平成17年度
副書名	
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	堀内寛昭・吉本健吾
編集機関	財団法人　京都市埋蔵文化財研究所
所在地	〒602-8435　京都市上京区今出川通大宮東入元伊能町265-1　TEL 075-415-0521
発行機関	京都市文化市民局
所在地	〒604-0925　京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488　TEL 075-222-3108
発行年月日	西暦2006年3月31日

所収遺跡名	所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
平安京左京四条一坊四町跡	京都市中京区 壬生飯降ノ内町18-4	26100		35度 00分 05秒	135度 44分 47秒	2004/12/21～ 2005/1/19		マンション
平安京右京六条四坊三町跡・西京極遺跡	京都市右京区 西院六反田町4-1、4-3、4-4、4-5、4-6	26100	931	34度 59分 33秒	135度 43分 36秒	2005/8/23～ 2005/8/25		アパート
植物園北遺跡	京都市左京区 下鴨水口町57-1	26100	146	35度 03分 03秒	135度 46分 24秒	2005/11/4～ 2005/11/7		マンション
平安宮大蔵省跡	京都市上京区仁和寺街道 七本松東入一番町～仁和寺街道千本四入仲御霊町	26100		35度 01分 15秒	135度 44分 40秒	2005/4/19～ 2005/6/17		ガス工事
平安京左京四条一坊一町跡	京都市中京区 壬生朱雀町1番地	26100		35度 00分 05秒	135度 44分 48秒	2005/6/2～ 2005/7/11		マンション

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
平安京左京四条一坊四町跡	都城	平安～鎌倉時代	園池	土器類・瓦類・木製品・金属製品	
平安京右京六条四坊三町跡・西京極遺跡	都城 集落跡	弥生時代	溝・土壙・溝状遺構	土器類・石製品	
植物園北遺跡	集落跡	弥生～古墳時代	竪穴住居・ピット	土器類	
平安宮大蔵省跡	都城	奈良時代	落込	瓦類	
平安京左京四条一坊一町跡	都城	平安～鎌倉時代	湿地状堆積	木製品	

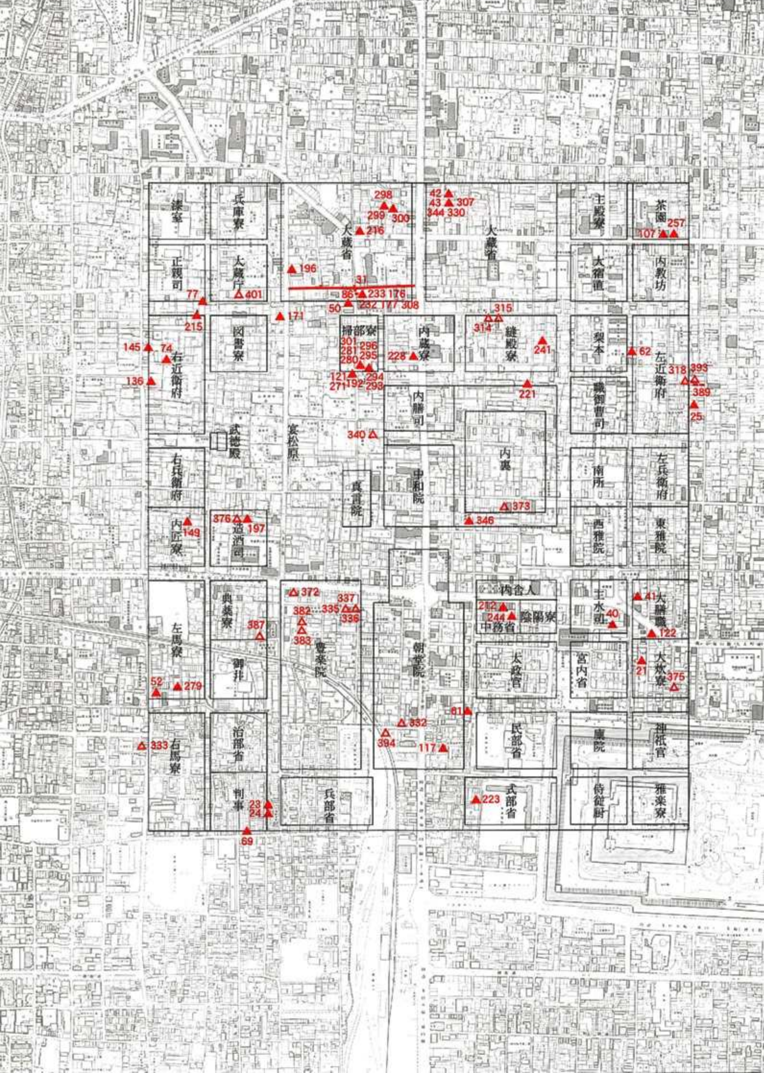
図　　版

凡　例

△ — — 2005年1～3月期（平成16年度）立会調査地点

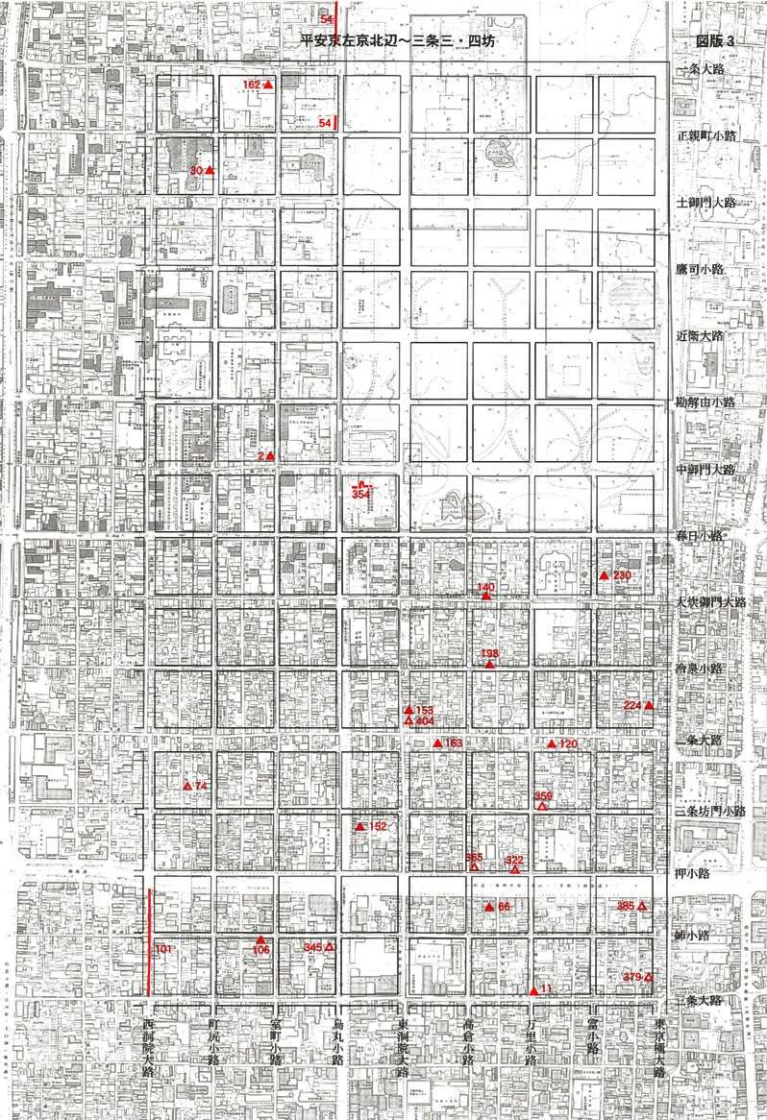
▲ —— 2005年4～12月期（平成17年度）立会調査地点

平安宮 図版1

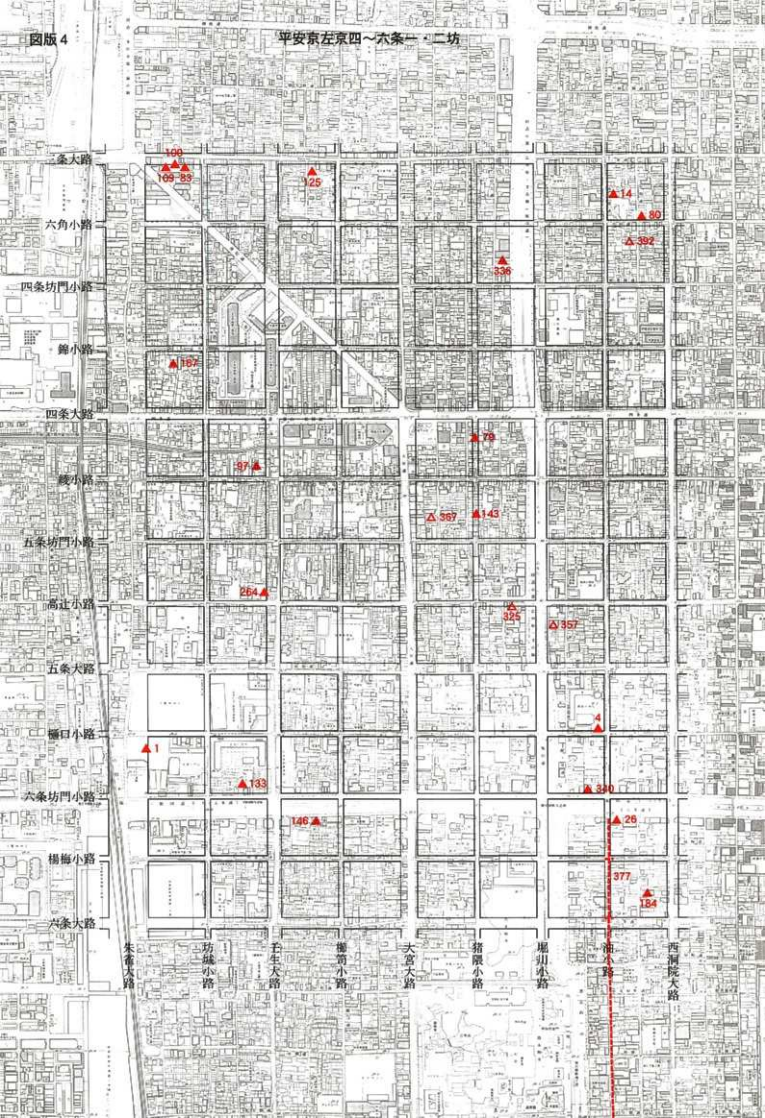


漆室
兵庫寮
大蔵省
大蔵省
主殿寮
茶園
正親司
大蔵庁
大宿直
内教坊
図書寮
掃部寮
内蔵寮
縫殿寮
梨本
右近衛府
左近衛府
内膳司
職御曹司
武徳殿
宴松原
右兵衛府
真言院
中和院
内裏
南所
左兵衛府
内匠寮
造酒司
西雅院
東雅院
典薬寮
豊楽院
内舎人
陰陽寮
中務省
主水司
大膳職
左馬寮
御井
朝堂院
太政官
宮内省
大炊寮
右馬寮
治部省
民部省
廩院
神祇官
判事
兵部省
式部省
侍従厨
雅楽寮

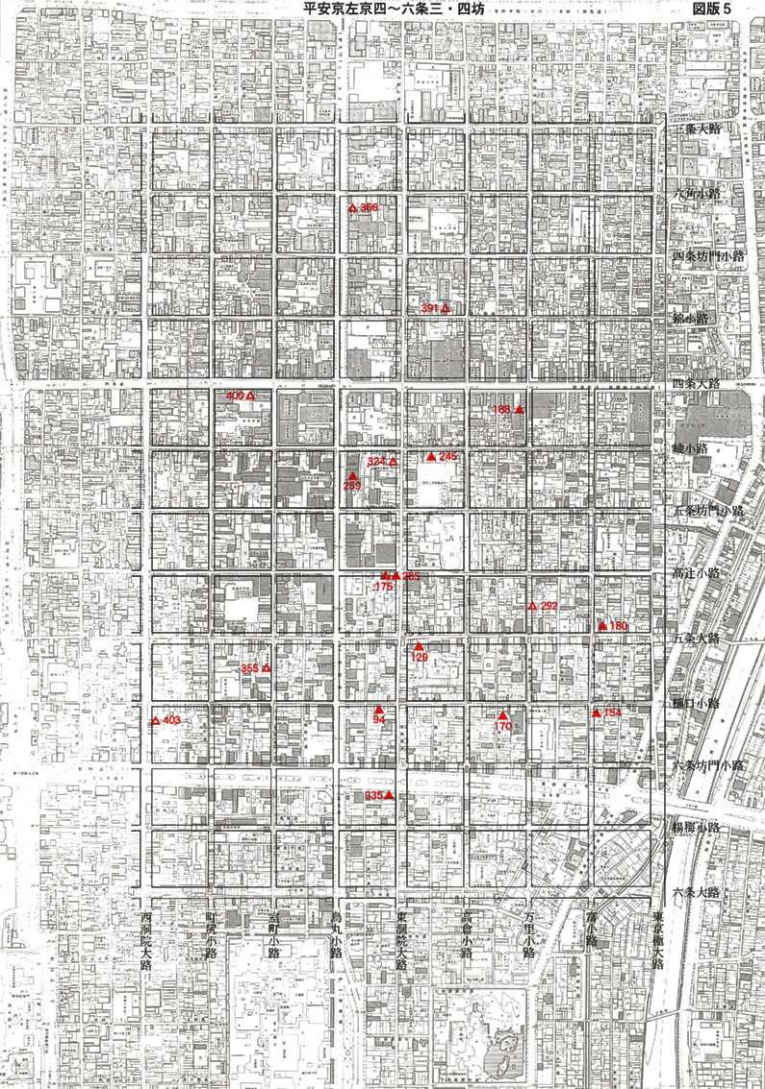
図版2　平安京左京北辺～三条一・二坊


平安京左京北辺〜三条三・四坊
図版 3
一条大路
正親町小路
土御門大路
鷹司小路
近衛大路
勘解由小路
中御門大路
春日小路
大炊御門大路
油小路
二条大路
三条坊門小路
押小路
姉小路
三条大路
西洞院大路
町尻小路
室町小路
烏丸小路
東洞院大路
高倉小路
万里小路
富小路
東京極大路
54
162
54
30
2
354
140
230
198
153
404
224
163
120
74
359
152
365
322
66
385
101
105
345
11
379

図版4

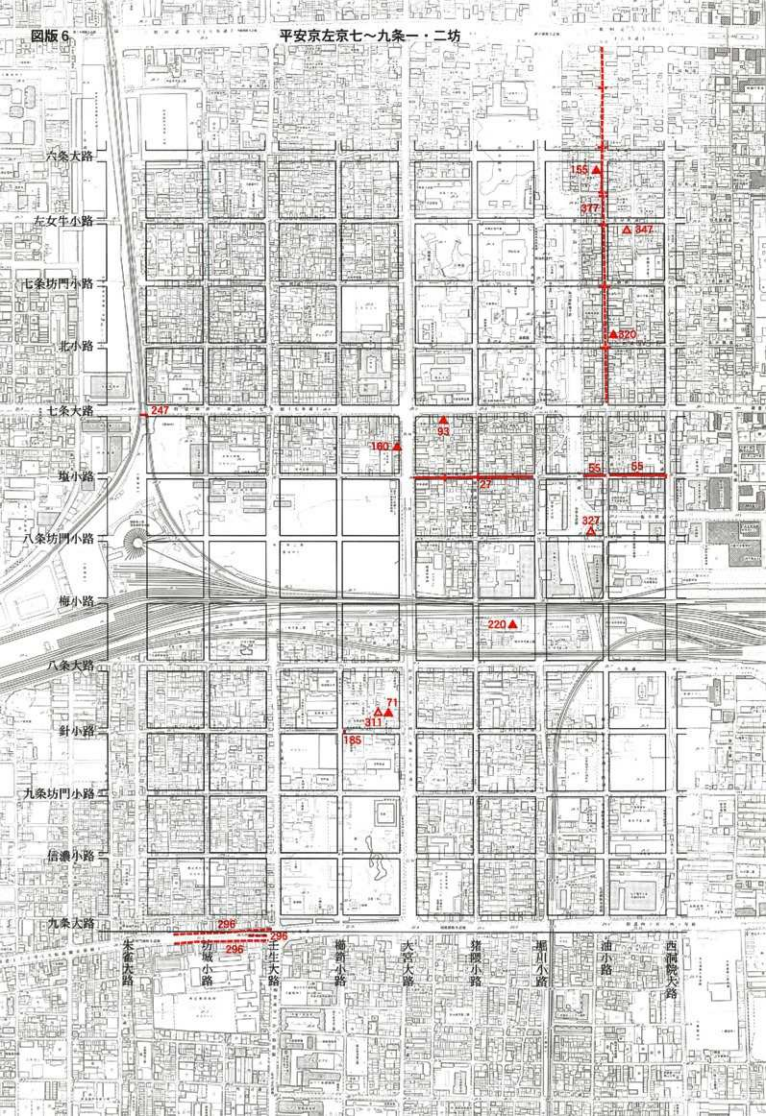

平安京左京四～六条一・二坊
一条大路
六角小路
四条坊門小路
錦小路
四条大路
綾小路
五条坊門小路
高辻小路
五条大路
楊口小路
六条坊門小路
楊梅小路
六条大路
朱雀大路
坊城小路
壬生大路
御前小路
大宮大路
猪隈小路
堀川小路
油小路
西洞院大路
100
169
83
125
14
80
392
336
182
79
87
367
143
264
325
357
4
1
133
330
146
26
377
184

平安京左京四～六条三・四坊

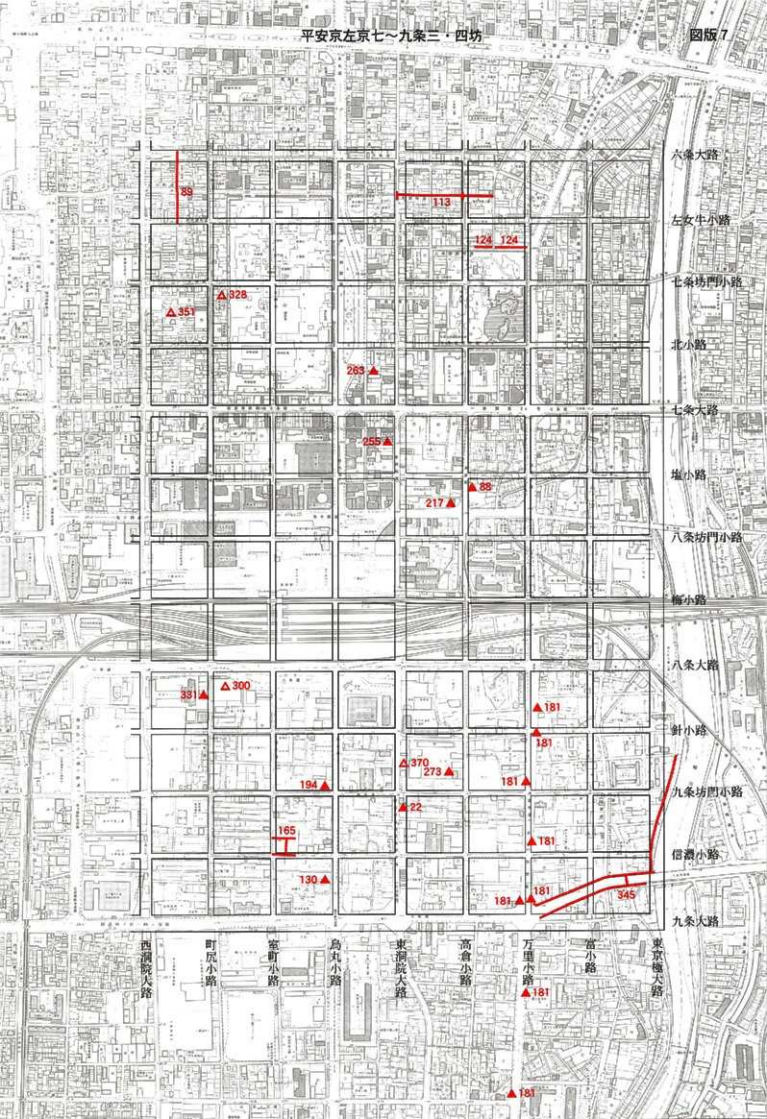


図版 6

平安京左京七～九条一・二坊

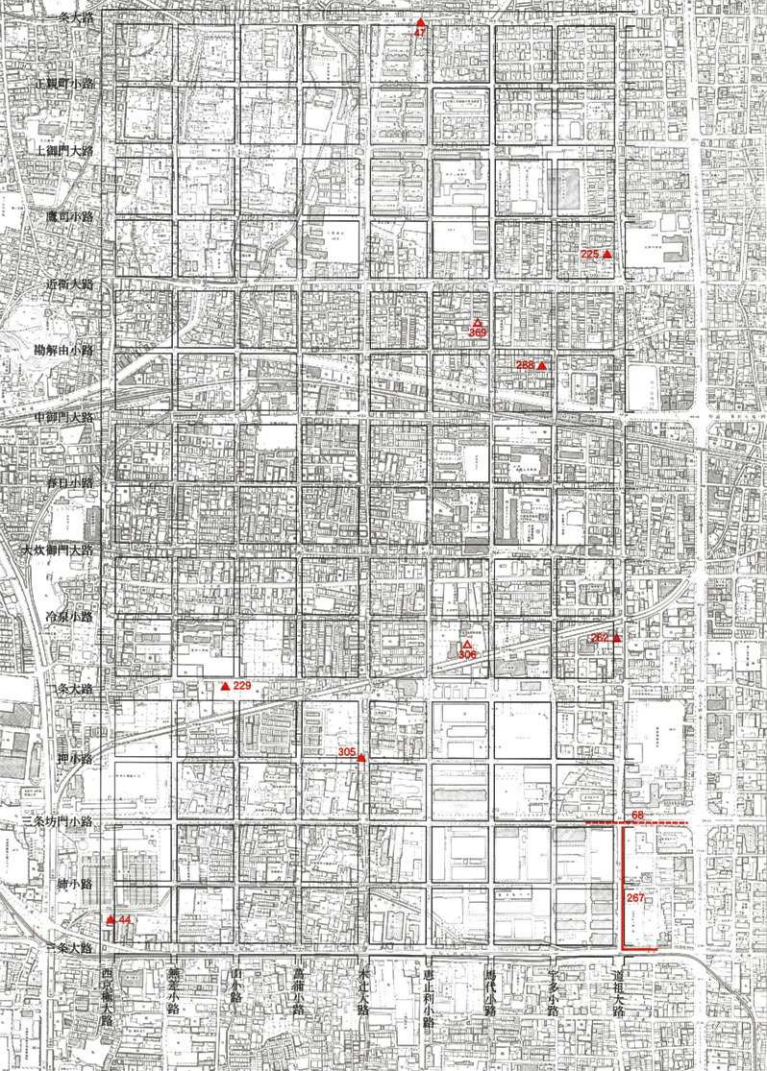


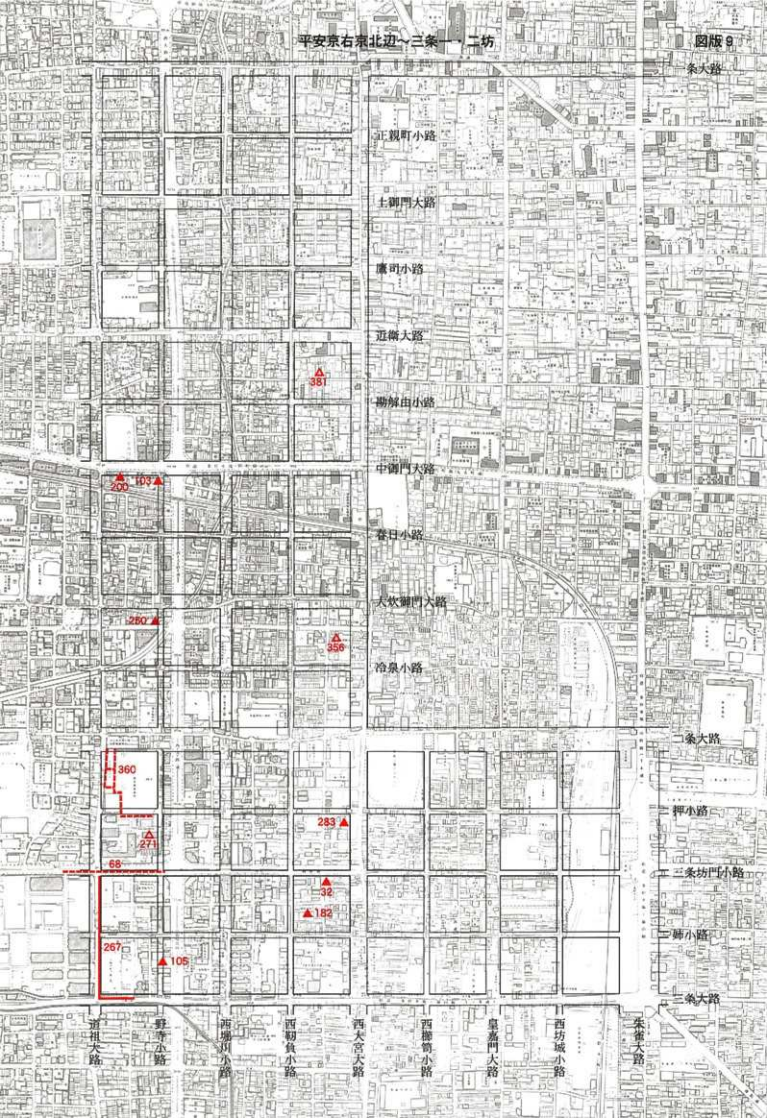
平安京左京七～九条三・四坊



図版 8

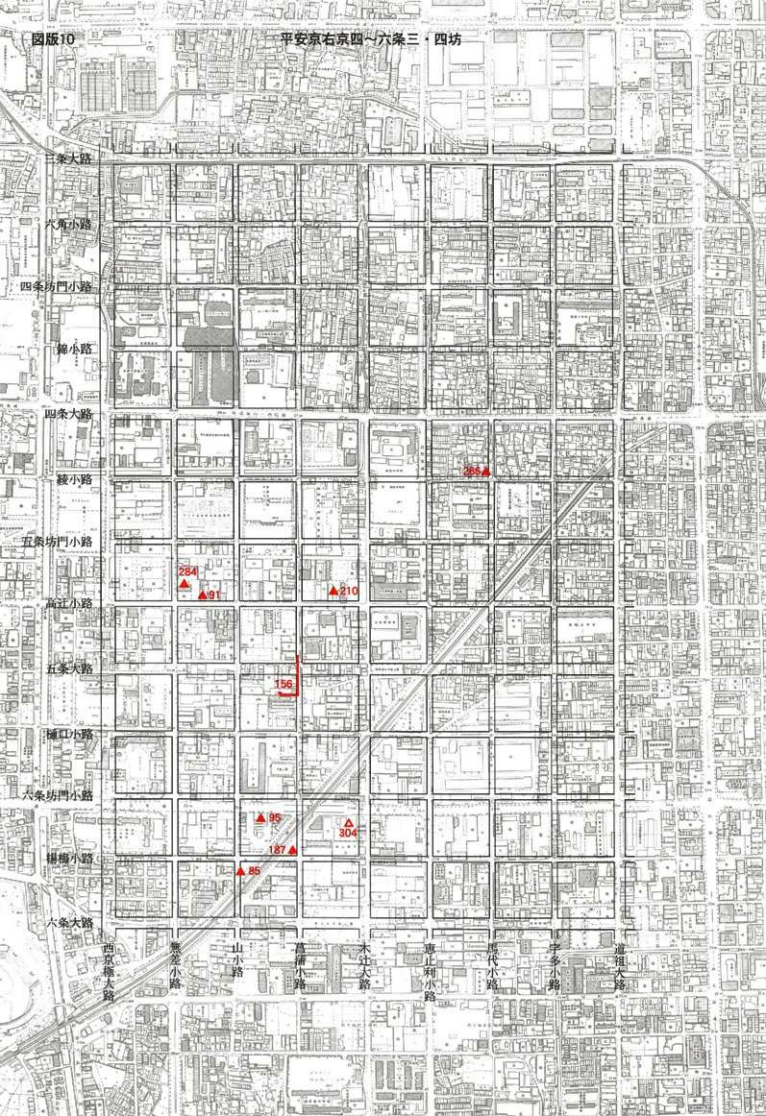
平安京右京北辺～三条二・四坊




平安京右京北辺～三条一・二坊
図版 9
一条大路
正親町小路
土御門大路
鷹司小路
近衛大路
381
勘解由小路
中御門大路
200
103
春日小路
大炊御門大路
250
356
冷泉小路
二条大路
360
押小路
283
271
68
三条坊門小路
32
182
姉小路
267
105
三条大路
道祖大路
野寺小路
西堀川小路
西靭負小路
西大宮大路
西櫛笥小路
皇嘉門大路
西坊城小路
朱雀大路

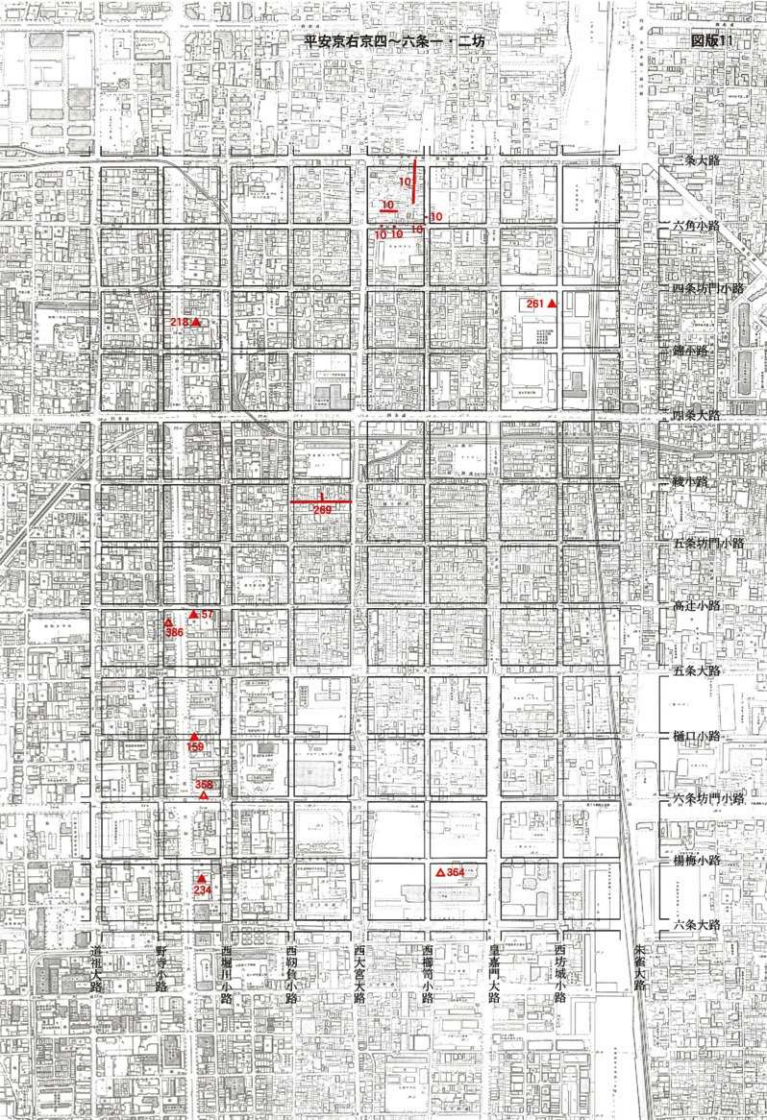
図版10

平安京右京四~六条三・四坊



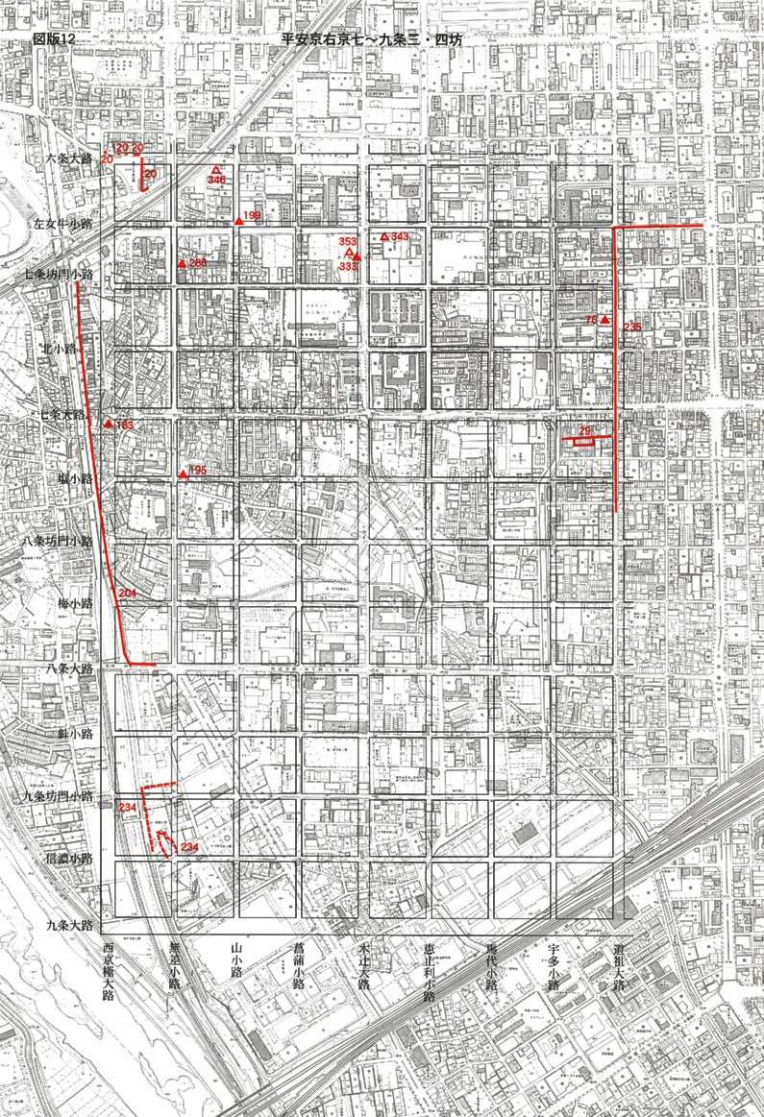
平安京右京四～六条一・二坊

図版11



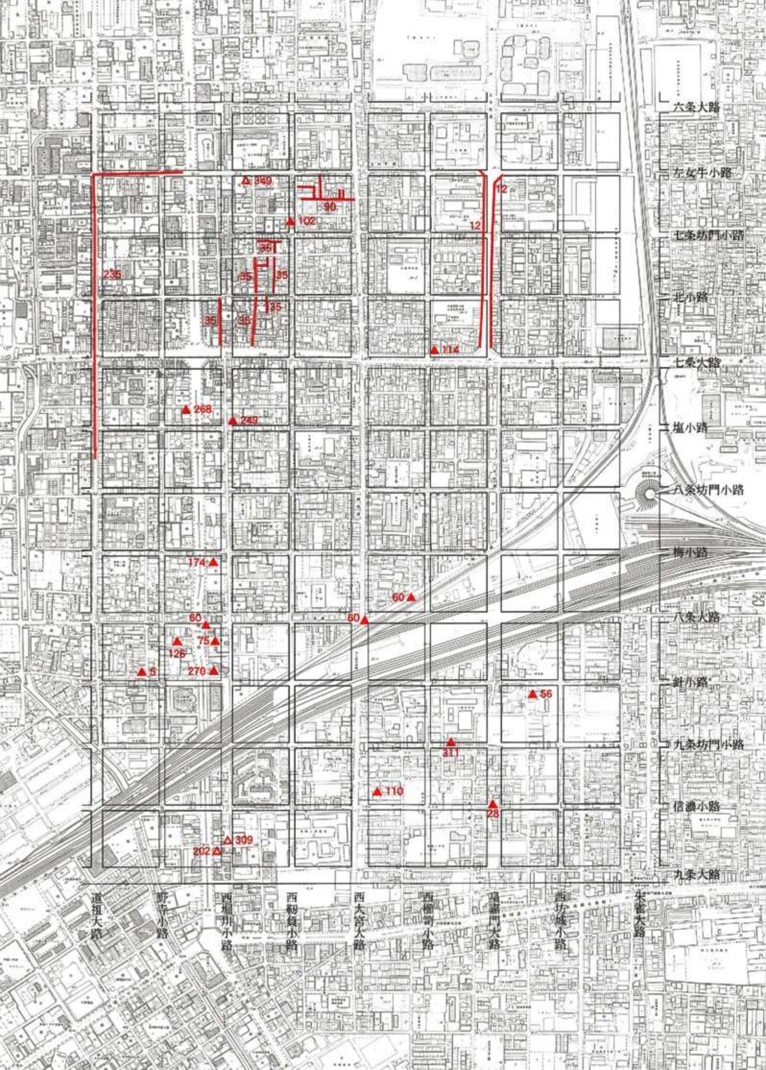
図版12

平安京右京七～九条三・四坊

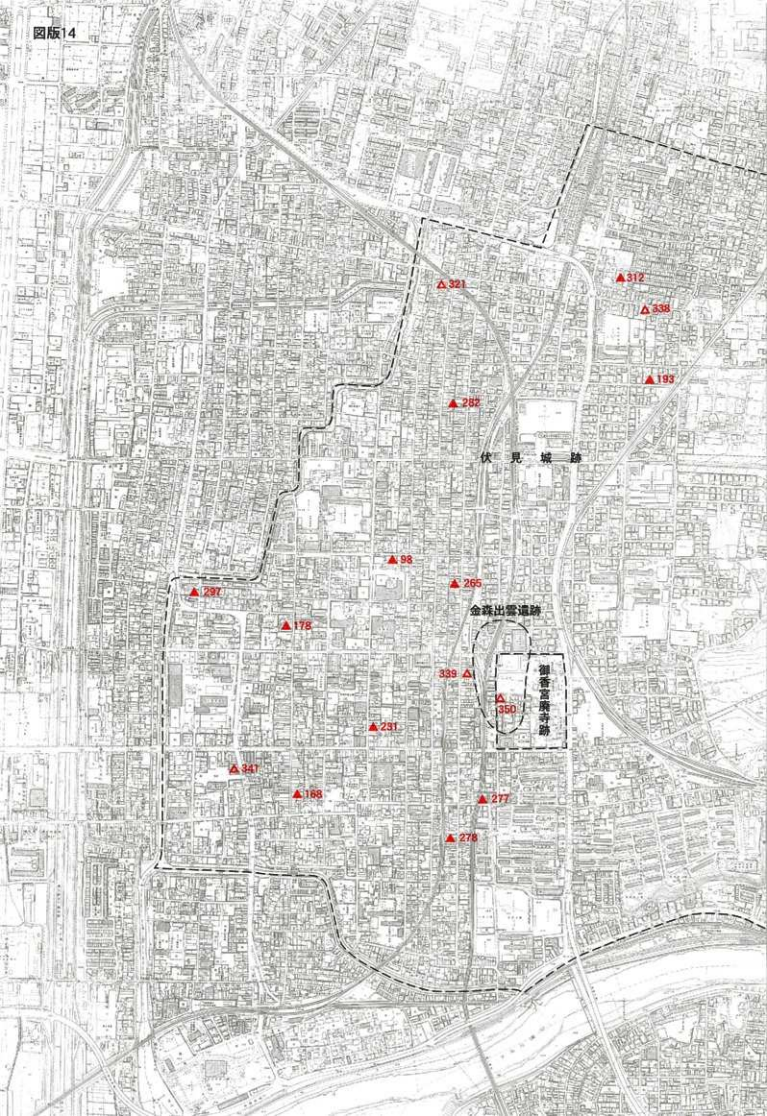


平安京右京七～九条一・二坊

図版13

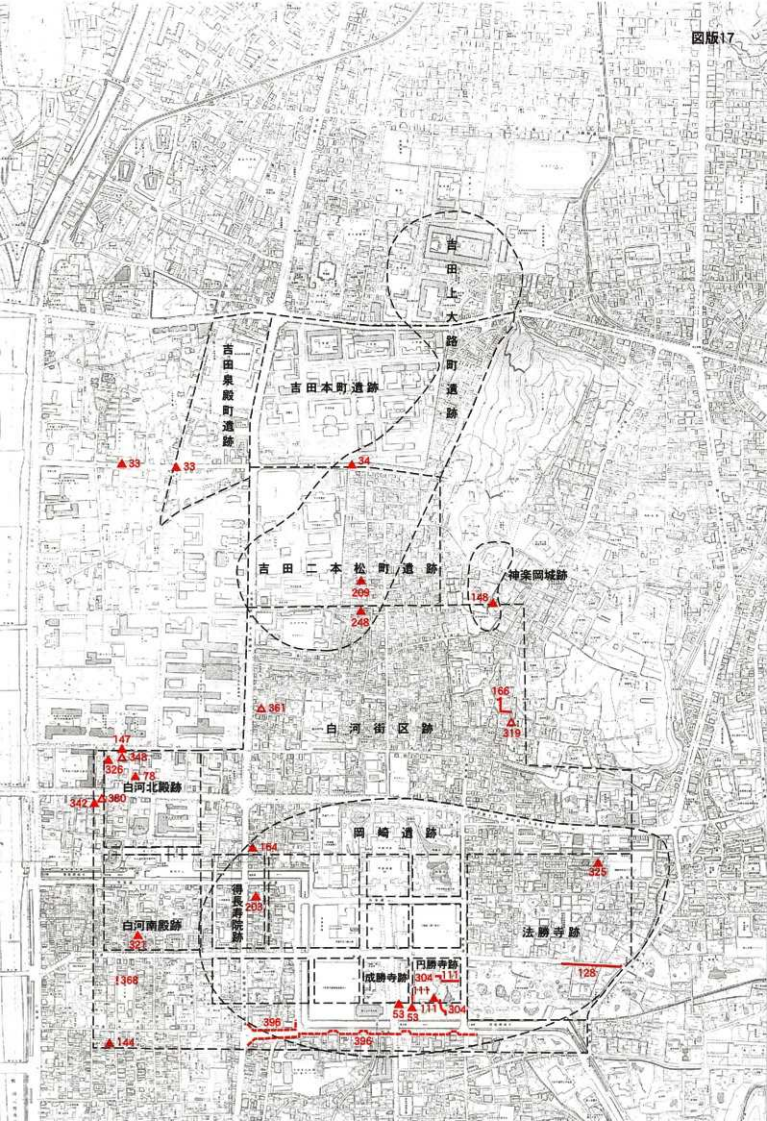


図版14

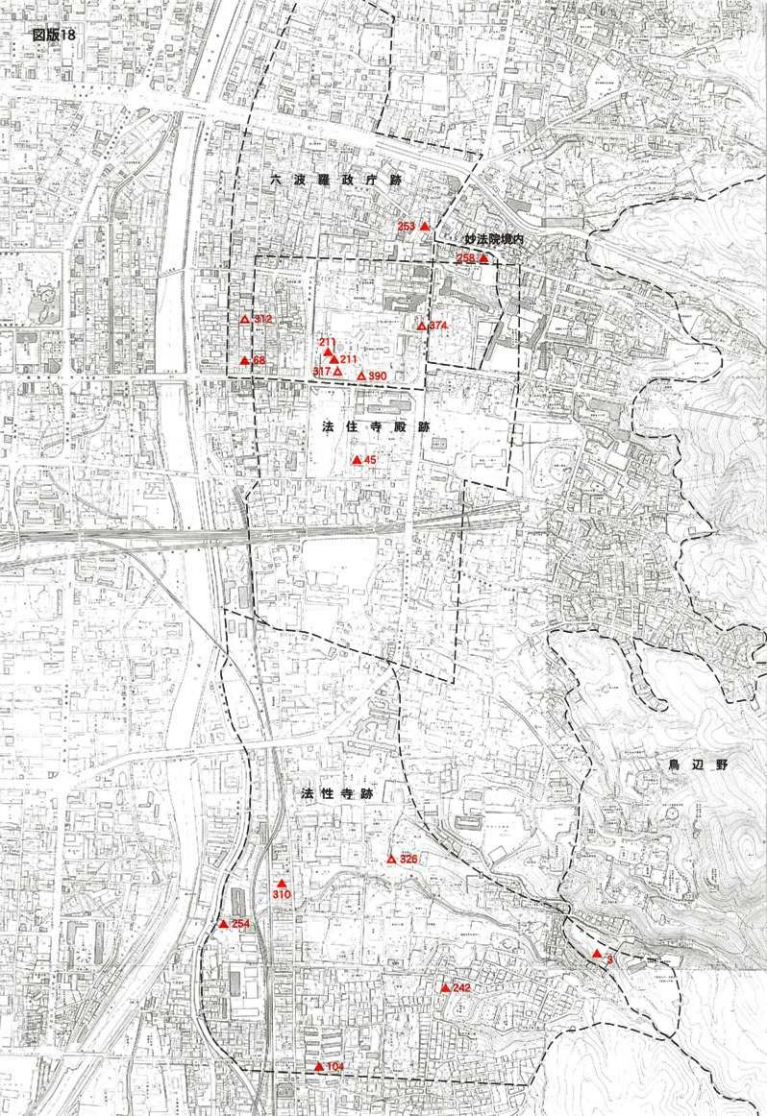

△321
▲312
△338
▲193
▲282
伏見城跡
▲98
▲265
▲297
金森出雲遺跡
▲178
339△
御香宮廃寺跡
△350
▲231
△347
▲188
▲277
▲278

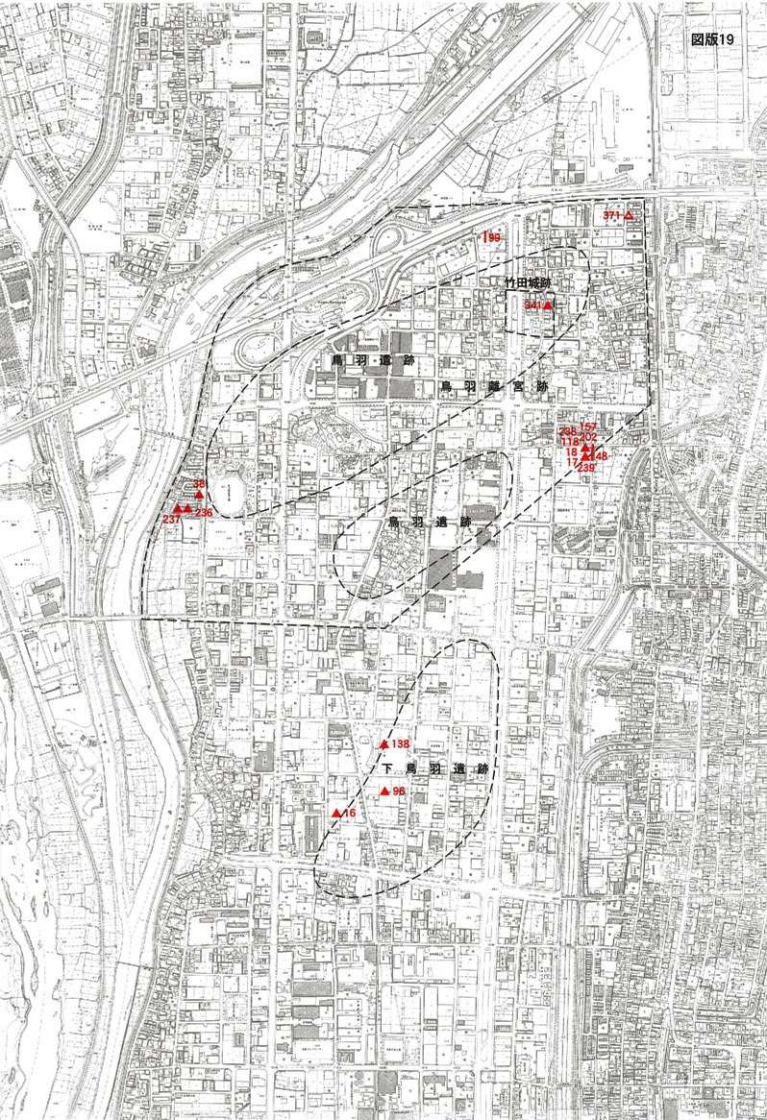
▲87
伏見城跡
▲82
▲172
▲201
△344
△231
△330

図版16
337
御土居跡
112
19
205
127
相国寺旧境内
上京遺跡
142
190
室町殿跡
115
一条室町殿跡
397
54
378
54
平安京跡

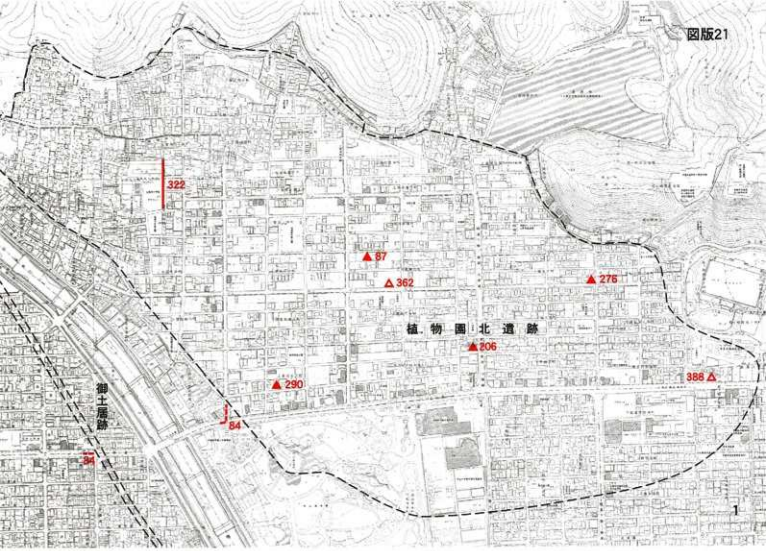

吉田上大路町遺跡
吉田泉殿町遺跡
吉田本町遺跡
33
33
34
吉田二本松町遺跡
209
248
神楽岡城跡
148
166
319
361
白河街区跡
147
348
326
78
白河北殿跡
342
380
岡崎遺跡
164
325
得長寿院跡
203
白河南殿跡
321
法勝寺跡
円勝寺跡
成勝寺跡
304
111
111
304
53
53
128
368
396
396
144

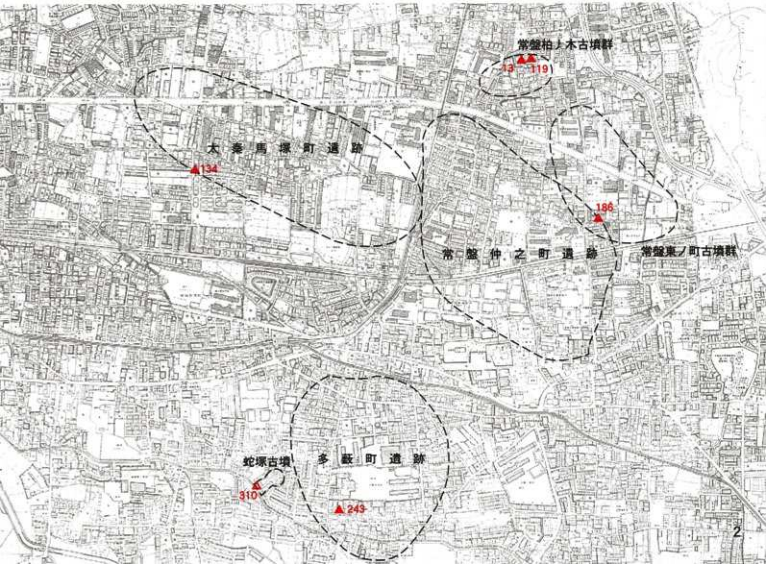
図版18


六波羅政庁跡
253
妙法院境内
258
312
374
211
211
68
317
390
法性寺殿跡
45
鳥辺野
法性寺跡
326
310
254
3
242
104


図版19
371
199
竹田城跡
341
鳥羽遺跡
鳥羽離宮跡
238
157
118
202
18
148
17
239
38
237
236
鳥羽遺跡
138
下鳥羽遺跡
96
16

図版20


322
87
362
276
植物園北遺跡
206
388
290
84
御土居跡
94


常盤柏木古墳群
13
119
太秦馬塚町遺跡
134
186
常盤仲之町遺跡
常盤東ノ町古墳群
蛇塚古墳
310
多藪町遺跡
243

図版22
73
274
67
399
323
313
315
314
207
339
292
291
中臣遺跡
334
332
中臣十三塚
70
316
141
1
山科本願寺跡
252
2
角社瓦窯跡
173
3
319
上賀茂中山町遺跡
4
元稲荷窯跡
313
316
南ノ庄田瓦窯跡
幡枝古墳群
5
岩倉忠在地遺跡
289
6

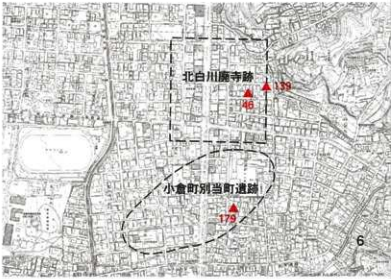
御土居跡
302
1

図版23
御土居跡
384
2

222
132
大原延暦寺別院境内
3

一乗寺向畑町遺跡
向畑古墳
6
4

知恩院境内
219
紙園遺跡
名勝円山公園
169
5


北白川廃寺跡
139
46
小倉町別当町遺跡
179
6

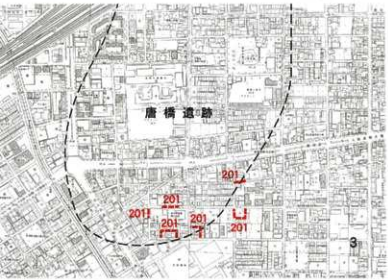
65
59
山科本願寺南殿跡
大塚遺跡
180
7

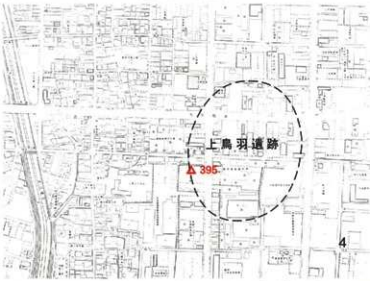
勧修寺境内
329
8

図版24

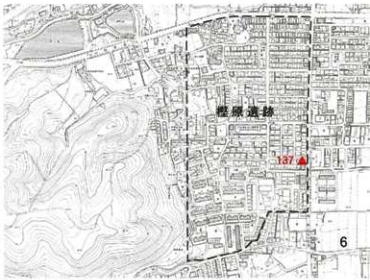
108
梅ケ畑祭祀遺跡
梅ケ畑遺跡
御堂ケ池古墳群
1

158
北野遺跡
2

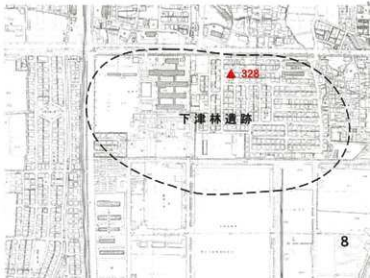

唐橋遺跡
201
201
201
201
201
201
201
3


上鳥羽遺跡
395
4

松尾十三塚古墳群
131
5

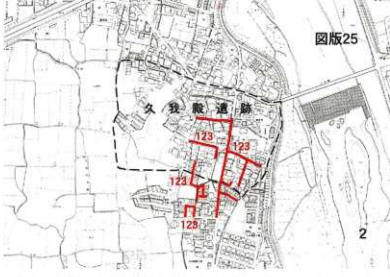

樫原遺跡
137
6

福西古墳群
51
7


328
下津林遺跡
8

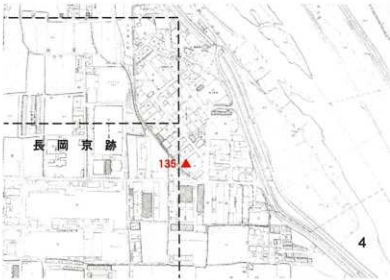
図版25

蔵王堂境内
251
363
378
294
293
72
上久世遺跡
1

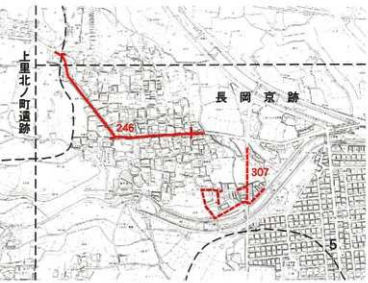


久我殿遺跡
123
123
123
123
2

8
中久世遺跡
402
3



長岡京跡
135
4



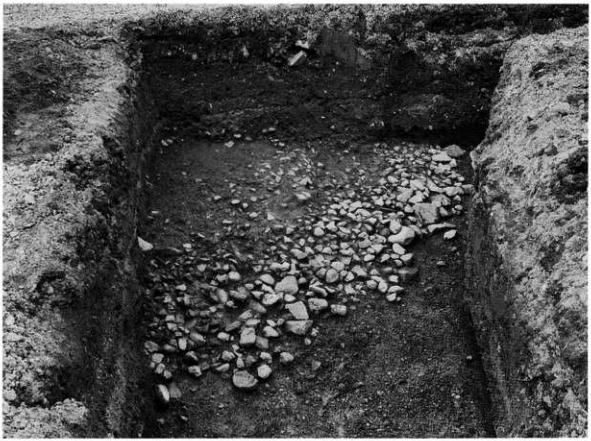
上里北ノ町遺跡
長岡京跡
246
307
5

長岡京跡
272
6

太閤堤
15
向島城跡
7

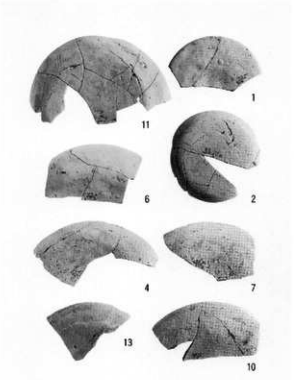
木津川川床遺跡
208
8

写　真



平安京左京四条一坊四町（05HL167）　洲浜全景（西上から）

平安京左京四条一坊四町（05HL167）　洲浜（西から）



1・2・4・6・7・10・11・13・17～21・23・26・28　平安京左京四条一坊四町（05HL167）
138　平安京左京四条一坊一町（05HL83・100・109）

54

56

49

33

34

35

平安京右京六条四坊三町・西京極遺跡（04HR304）

64

65

42

72

45

43

85

平安京右京六条四坊三町・西京極遺跡（04HR304）

82

89

93

92

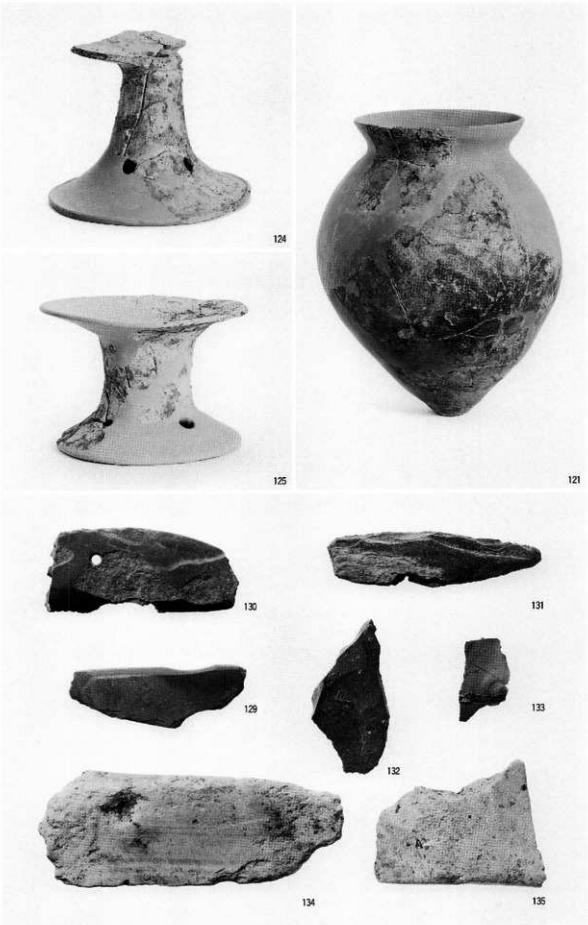
100

99

107

109

平安京右京六条四坊三町・西京極遺跡（04HR304）



平安京右京六条四坊三町・西京極遺跡（04HR304）

京都市内遺跡立会調査報告
平成17年度

発行日　2006年3月31日
発　行　京都市文化市民局
住　所　京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
編　集　(財)京都市埋蔵文化財研究所
住　所　京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1
TEL (075) 415-0521
印　刷　真　陽　社